

「静岡市子ども・子育て・若者プラン」実施計画
令和3年度 実施内容等一覧表

基本目標・施策目標	事業数					ページ数
	新規	拡充	継続	終了	総数	
基本目標1 すべての子ども・若者の成長を支援するまちの実現【子ども・若者支援】						
施策目標1 子どもの心身の健やかな育ちを支える環境づくり	1	4	56	1	62	1 ~ 10
施策目標2 知・徳・体のバランスのとれた子ども・若者をはぐくむ教育環境づくり	0	5	52	1	58	11 ~ 23
施策目標3 困難を抱えた子ども・若者を支える環境づくり	2	4	69	0	75	24 ~ 43
施策目標4 地域に愛着を持ち、すすんで行動する若者を創出する環境づくり	2	0	59	0	61	44 ~ 58
基本目標2 子育てに喜びや生きがいを感じることができるまちの実現【子育て支援】						
施策目標1 喜びと安心感をもって生み育てることができる環境づくり	0	1	51	1	53	59 ~ 66
施策目標2 子育てと仕事の両立を支援する環境づくり	0	0	14	0	14	67 ~ 72
基本目標3 地域全体で子ども・子育て・若者を支援するまちの実現【地域による支援】						
施策目標1 地域全体で子ども・子育て・若者を支える環境づくり	0	1	30	1	32	73 ~ 82
合計	5	15	331	4	355	

※「静岡市子ども・子育て・若者プラン 第6章静岡市子ども・子育て支援事業計画」に係る事業は、事業名欄に★を記載しています。本計画は、令和2年度（2020年度）から令和6年度（2024年度）を計画期間としているため、令和8年度（2026年度）末目標値欄には、計画に基づいた令和6年度（2024年度）末の目標値を記載しています。

※上表の事業数欄には、再掲事業を除いた事業数を記載しています。

※担当課に変更がある場合は、令和2年度の担当課名をカッコ書きにしています。

基本目標1 すべての子ども・若者の成長を支援するまちの実現【子ども・若者支援】

施策目標1 子どもの心身の健やかな育ちを支える環境づくり

基本施策1 子どもの健やかな心身をはぐむための支援

プラン No.	掲載 場所	区分	事業名	事業概要	対象者								令和2年度 取組内容・成果(見込み)	令和3年度 取組内容(予定)	令和3年度 当初予算額 (千円)	令和8年度末 目標値	担当課	SDGs 関連番号			
					乳幼児	小低	小高	中学	高校	青年	その他	保護者									
【重点事業】																					
再掲 (62)	1-1(1) 1-2(1) 2-2(1)	継続	認定こども園等の運営★	市立こども園において質の高い教育・保育を提供するとともに、子どものための教育・保育給付の円滑な支給等を図り、私立園における質の高い教育・保育を確保します。	●								●	●	●	市立こども園における教育・保育の実施及び施設の維持管理を図るとともに、国が定めた単価に基づき、私立こども園等に対して、適正に給付費を支弁する。 市立:61園(こども園54、特例保育施設(山間地)4、小規模(待機児童園)3) 私立:154園(幼稚園2、こども園51、保育所56、小規模41、事業所内4)	市立こども園における教育・保育の実施及び施設の維持管理を図るとともに、国が定めた単価に基づき、私立こども園等に対して、適正に給付費を支弁する。 市立:59園(こども園52、特例保育施設(山間地)4、小規模(待機児童園)3) 私立:166園(幼稚園9、こども園53、保育所56、小規模44、事業所内4)	【幼保支援課分】 市立こども園 2,861,918 私立こども園等 16,066,529 【こども園課分】 836,479	市立こども園・私立こども園、保育所等における質の高い教育・保育の実施	子ども未来課 幼保支援課 こども園課	4
1	1-1(1) 1-2(1) 2-2(1)	継続	認定こども園等の整備★	待機児童を解消するとともに認定こども園を普及するため、認定こども園等の定員拡大、新設、認定こども園への移行等のために必要な施設整備のための費用を補助します。	●								●	●	●	既存保育施設の定員増:▲10人 私立幼稚園の認定こども園移行:45人 認定こども園等の新設:0人 小規模保育事業等の新設:126人	既存保育施設の定員増:0人 私立幼稚園の認定こども園移行:45人 認定こども園等の新設:90人 小規模保育事業等の新設:0人	333,197	既存保育施設の定員増:▲8人 私立幼稚園の認定こども園移行:176人 認定こども園等の新設:90人 小規模保育事業等の新設:180人	子ども未来課	4, 5
351	1-1(1) 1-2(1) 2-2(1)	新規	私立こども園・保育所等 運営費補助金交付事業	私立認定こども園・保育所・小規模保育事業における教育・保育環境の向上や職員の処遇改善を図ることにより各施設の円滑な運営と振興を図ります。	●								●			(R3新規)	私立こども園・保育所等が実施する教育・保育環境の改善や職員の処遇改善・資質向上、多様な保育を支援のための事業に係る経費の一部を補助する。 153園(こども園53、保育所56、小規模44)	1,715,898	私立こども園、保育所等における質の高い教育・保育の実施	幼保支援課	4
再掲 (353)	1-1(1) 1-2(1) 1-3(2)	新規	私立こども園・保育所等 特別支援保育事業	障がい児や医療的ケア等の支援が必要な乳幼児が円滑に教育・保育施設を利用できるよう、私立こども園・保育所等の受入れ体制を支援する。	●								●			(R3新規)	①特別支援保育に係る職員支援事業 障害児保育に係る保育士及び医療的ケア児に係る看護師の人員費を助成する。 計148園(こども園49、保育所55、小規模44) ②巡回支援事業 発達が気になる幼児がいる私立こども園や保育所等をアドバイザーが巡回し、園児との関わり方等について、相談・助言を行う。 計99園(こども園49、保育所50)	271,502	特別な支援を必要とする子どもが円滑に教育・保育を受けることができる体制の確保	幼保支援課	4

基本目標1 すべての子ども・若者の成長を支援するまちの実現【子ども・若者支援】

施策目標1 子どもの心身の健やかな育ちを支える環境づくり

基本施策1 子どもの健やかな心身をはぐむための支援

プラン No.	掲載 場所	区分	事業名	事業概要	対象者								令和2年度 取組内容・成果(見込み)	令和3年度 取組内容(予定)	令和3年度 当初予算額 (千円)	令和8年度末 目標値	担当課	SDGs 関連番号		
					乳幼児	小低	小高	中学	高校	青年	その他	保護者								
【関連事業】																				
再掲 (183)	1-1(1) 1-3(6) 2-1(3)	継続	幼児期の教育・保育の負担の軽減★	令和元年10月から幼児教育・保育の無償化に伴い、3歳から5歳児すべての子どもたちと、0歳から2歳児で住民税非課税世帯の子どもたちの利用が無償化となりました。認定こども園等における幼児期の教育・保育に係る保育料について所得に応じた金額に設定し、低所得世帯の負担を軽減します。また、保育料の算定に当たっては、未婚・非婚のひとり親についても税法上の寡婦とみなして保育料を算定することにより、経済的負担を軽減します。	●									0歳から2歳の子どもの保育料を従前より国が定めている保育料の水準と比較して軽減している。また、多子世帯に対する保育料の軽減制度(第2子を半額、第3子以降無償)については、市独自に対象範囲を、国の所得階層よりも拡充している。さらに、未婚のひとり親世帯に対しては、地方税法(令和2年度)に規定する控除の対象として保育料を軽減している。	0歳から2歳の子どもの保育料を従前より国が定めている保育料の水準と比較して軽減する。また、多子世帯に対する保育料の軽減制度(第2子を半額、第3子以降無償)については、市独自に対象範囲を、国の所得階層よりも拡充する。さらに、未婚のひとり親世帯に対しては、地方税法(令和2年度)に規定する控除の対象として保育料を軽減する。(地方税法の改正により令和3年8月まで)		第2子を半額、第3子以降無償(ひとり親世帯は第2子以降無償)とする減額措置の適用における、第何子かを決定する際の算定対象となる子どもの年齢制限等を撤廃するに当たり、国の規定より適用対象世帯の範囲を拡大して実施する。	幼保支援課	4	
2	1-1(1) 1-2(3)	継続	親子参加型教室等の開催	気楽に親子でスポーツをする機会をつくり、子どもの健全な心身の育成と向上心を高めるとともに、同世代の親の交流を図ることを目的として、各体育館、運動場、プール等を利用し、指定管理者主催によるスポーツ教室を開催します。	●	●							●	年16回開催 参加者数1,000人	年52回開催 参加者数7,980人	(指定管理料の一部)	年52回開催 参加者数7,980人 (令和4年度にスポーツ推進計画の見直し等をする予定)	スポーツ振興課	3	
再掲 (28)	1-1(1) 1-1(2) 1-4(2)	継続	生涯学習施設における講座	市内生涯学習施設において、乳幼児・小中学生及びその保護者を対象に、各種講座を実施します。	●	●	●	●					●	無人館・山間地を除く32館全ての生涯学習施設で子どもや親子を対象とした講座を実施	無人館・山間地を除く32館全ての生涯学習施設で子どもや親子を対象とした講座を実施	(指定管理料に含む)	無人館・山間地を除く32館全ての生涯学習施設で子どもや親子を対象とした講座を実施	生涯学習推進課	4	
3	1-1(1)	継続	人権教育事業	就学前の子どもに対して、絵本の読み聞かせ等による人権教育を行い、命の尊さや友達と仲良くする心をはぐみ、一人ひとりが生きる喜びを感じる教育を行います。	●									●	園数:4園 人数:391人	園数:4園(累計:8園) 人数:500人(累計:891人)	224	園数:29園 人数:3,200人(※累積値)	福祉総務課	3, 4
4	1-1(1)	継続	国際理解講座	今後ますますの増加が予想される外国人住民と日本人とが、お互いの文化を理解し共生できる社会を目指し、国際感覚・多文化共生意識醸成のために国際理解講座を開催します。	●									●	こども園・幼稚園長会でのPRを行い、英語・中国語・フランス語国際交流員を派遣した。	こども園・幼稚園長会でのPRを行い、英語・中国語・フランス語国際交流員を派遣する。	39	講座の理解度(講座受講者アンケートの満足度平均)80%以上	国際交流課	10
5	1-1(1)	継続	ふれあいワンワン教室の開催(動物愛護教室の開催)	市内認定こども園等を訪問し、寸劇により犬とのふれあい方を学んだり、犬猫とふれあうことにより、幼児が犬に咬まれる事故の防止を図るとともに、命の尊さ、動物愛護精神を養います。	●	●	●							●	毎月1回以上イベント(犬のしつけ方教室など)を開催	毎月1回以上イベント(犬のしつけ方教室など)を開催		毎月1回以上イベント(犬のしつけ方教室など)を開催	動物指導センター	4
6	1-1(1)	継続	ブックスタート事業	各保健福祉センターで行われる6か月児育児相談において、おすすめ絵本などが入ったブックスタートバックをメッセージを添えて渡します。	●									●	全保健福祉センターにて135回実施予定 (新型コロナウイルスの影響により一部中止)	全保健福祉センターにて180回実施予定	5,531	市内全保健福祉センターで実施継続	中央図書館	4
7	1-1(1)	継続	ブックステップ事業	ブックスタート事業のフォローアップとして、保健福祉センターで行われる1歳6か月児健康診査において実施します。	●									●	全保健福祉センターで69回実施予定 (新型コロナウイルスの影響により一部中止)	全保健福祉センターで110回実施予定	616	市内全保健福祉センターで実施継続	中央図書館	4
8	1-1(1)	継続	ハローベビー 赤ちゃんのための読み聞かせ講座の開催	読み聞かせ初心者の保護者を対象とした読み聞かせ講座で、読み聞かせの大切さ、絵本の選び方・与え方の話やわらべ歌・手遊び、赤ちゃん絵本の読み聞かせの実演をします。	●									●	全12館にて26回実施予定 (新型コロナウイルスの影響により一部中止)	全12館にて50回実施予定	104	市内全図書館で実施継続	中央図書館	4

基本目標1 すべての子ども・若者の成長を支援するまちの実現【子ども・若者支援】

施策目標1 子どもの心身の健やかな育ちを支える環境づくり

基本施策1 子どもの健やかな心身をはぐむための支援

プラン No.	掲載 場所	区分	事業名	事業概要	対象者								令和2年度 取組内容・成果(見込み)	令和3年度 取組内容(予定)	令和3年度 当初予算額 (千円)	令和8年度末 目標値	担当課	SDGs 関連番号	
					乳幼児	小低	小高	中学	高校	青年	その他	保護者							
再掲 (97)	1-1(1) 1-2(3)	継続	図書館事業	定例おはなし会や読み聞かせボランティアの活用など、子どものときから本の魅力を知るための事業やヤングアダルトの支援を目的とした事業等を実施します。 また、南部図書館、清水中央図書館の視聴覚ホールにおいて、青少年育成に役立つアニメ・劇映画の上映会などの事業を実施します。	●	●	●	●	●	●	●	●	●	全館で定例おはなし会を実施。各館担当者を中心にヤングアダルトの支援を目的とした事業等を実施。 南部図書館、清水中央図書館の視聴覚ホールにおいて、青少年育成に役立つアニメ・劇映画の上映会などの事業を実施。 (新型コロナウイルスの影響により一部中止)	全館で定例おはなし会を実施。各館担当者を中心にヤングアダルトの支援を目的とした事業等を実施。 南部図書館、清水中央図書館の視聴覚ホールにおいて、青少年育成に役立つアニメ・劇映画の上映会などの事業を実施。	820	市内全館(12館)で子育て・子ども・若者の育成を目的とした事業の実施継続	中央図書館	4
9	1-1(1)	継続	「まちは劇場」推進事業 まちは劇場コンサート事業 親子コンサート	通常のコンサートでは入場できない未就学児とその保護者を対象にしたクラシックコンサートを開催し、子育て中の親子が気軽に音楽を楽しむことができる機会を提供します。	●									年間実施回数:4回	年間実施回数:4回	23,369千円の一部	年間実施回数:4回	文化振興課 (まちは劇場推進課)	4
10	1-1(1)	継続	「まちは劇場」推進事業 まちは劇場コンサート事業 こども園訪問コンサート	園児の音楽に対する関心を高め、情操教育に資するため、こども園を訪問し、生演奏を気軽に鑑賞することができる機会を提供します。	●									年間実施回数:23回	年間実施回数:14回	23,369千円の一部	年間実施回数:14回	文化振興課 (まちは劇場推進課)	4
11	1-1(1) 3-1(2)	継続	エスパルスハロープロジェクト事業	清水エスパルスと連携し、夢に向かって生きる子どもたちの成長をサポートし、子育てで繋がる地域コミュニティの推進を図るために、子育て関連事業を実施します。	●									・エスパルスオリジナルベビースタイ配布 約5,000枚 ・エスパルススクールコーチ等による親子ふれあい運動教室 実施予定 3回程度 ・エスパルススクールコーチ等によるファミリー教室 実施予定 1回程度	・エスパルスオリジナルベビースタイ配布 約5,000枚 ・エスパルススクールコーチ等による親子ふれあい運動教室 実施予定 3回程度 ・エスパルススクールコーチ等によるファミリー教室 実施予定 1回程度	—	・清水エスパルスと連携した子育て関連事業の実施。 ・毎年5回程度の運動教室の実施。	スポーツ交流課	3, 10, 11, 17
12	1-1(1)	継続	Jリーグアカデミーエスパルス 巡回スポーツ教室の開催	子どもを地域ぐるみで育て、健全な心身の発育を促すため、清水エスパルスと協働して市内認定こども園等にサッカーコーチが訪問し、サッカーやボール遊びによる運動教室を実施します。	●									実施場所 約130園 参加園児 4,000人	実施場所 約130園 参加園児 4,000人	(清水エスパルス交流事業補助金4,500千円の一部)	実施場所 約130園 参加園児 4,000人	スポーツ交流課	4, 11, 17
13	1-1(1) 1-1(2)	継続	陸上教室の開催	幼い頃から身体を動かす楽しさを学べるよう、未就学児から小学校低学年を対象に陸上教室を開催し、中・長距離を中心とした新規競技者層の拡大を図ります。	●	●								葵区・駿河区の小学校 4校 11回開催	各区の小学校において 計12回開催	357	各区において年1回開催 (令和4年度にスポーツ推進計画の見直し等をする予定)	スポーツ振興課	3
14	1-1(1) 1-1(2)	継続	幼児及び小学生対象スポーツ教室の開催	楽しく身体を動かしたり、バランス感覚を身につけるなど、子どもの体力向上を目的とした教室を開催します。	●	●	●							年81回開催 参加者数4,740人	年89回開催 参加者数9,050人	(指定管理料の一部)	年89回開催 参加者数9,050人 (令和4年度にスポーツ推進計画の見直し等をする予定)	スポーツ振興課	3
15	1-1(1)	継続	「あつまれ！ちびっこ消防隊」の実施	火災予防教育の一環として、市内各幼年消防クラブ員が集まり、運動会形式のイベント(救急搬送リレー等)を実施します。	●									新型コロナウイルス感染症予防のため中止。	葵・駿河・清水区の3回実施予定	—	各区計3回実施	予防課	4, 11
16	1-1(1)	継続	花火教室の開催	消防隊が市内認定こども園等を訪問し、花火の遊び方をはじめとする火災予防教育を実施します。	●	●	●							管内の幼稚園、保育園、こども園及び小学生以下の各団体からの依頼に応じて実施。	管内の幼稚園、保育園、こども園及び小学生以下の各団体からの依頼に応じて実施。	202	管内の幼稚園、保育園、こども園及び小学生以下の各団体からの依頼に応じて実施。	予防課	4, 11

基本目標1 すべての子ども・若者の成長を支援するまちの実現【子ども・若者支援】

施策目標1 子どもの心身の健やかな育ちを支える環境づくり

基本施策1 子どもの健やかな心身をはぐむための支援

プラン No.	掲載 か所	区分	事業名	事業概要	対象者								令和2年度 取組内容・成果(見込み)	令和3年度 取組内容(予定)	令和3年度 当初予算額 (千円)	令和8年度末 目標値	担当課	SDGs 関連番号		
					乳 幼 児	小 低	小 高	中 学	高 校	青 年	そ の 他	保 護 者								
17	1-1(1) 3-1(3)	継続	児童遊び場整備への補助	自治会や町内会が管理運営している児童遊び場の整備や遊具等の新設・修繕などへの補助を行います。									●	年間修繕等補助件数 10件	年間修繕等補助件数 10件	1,220	年間修繕等補助件数 10件	子ども未来課	3	
18	1-1(1)	継続	街区公園等の整備	歩いて行ける身近な場所において、子どもの遊び場や地域住民の健康運動の場となる公園等を計画的に整備します。	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	街区公園整備数 5公園 委託実施件数 5件 工事実施件数 5件	街区公園整備数 4公園 委託実施件数 2件 工事実施件数 4件	251,200	R2~R8 街区公園整備数 9公園	公園整備課	3, 6, 9
19	1-1(1) 1-2(2)	継続	食育推進事業	食育推進計画を推進し、進行管理を行います。	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	①食育応援団依頼件数:25件 ②食育推進計画を活用した情報 発信件数:10件	①食育応援団依頼件数:30件 ②食育推進計画を活用した情報 発信件数:10件	540	①年間30件以上 ②年間10件以上	健康づくり推進課	3

基本目標1 すべての子ども・若者の成長を支援するまちの実現【子ども・若者支援】

施策目標1 子どもの心身の健やかな育ちを支える環境づくり

基本施策2 子どもの健全育成促進と自立への支援

プラン No.	掲載 か所	区分	事業名	事業概要	対象者								令和2年度 取組内容・成果(見込み)	令和3年度 取組内容(予定)	令和3年度 当初予算額 (千円)	令和8年度末 目標値	担当課	SDGs 関連番号	
					乳 幼 児	小 低	小 高	中 学	高 校	青 年	そ の 他	保 護 者							
【重点事業】																			
20	1-1(2) 1-2(3) 1-3(6) 2-2(1) 3-1(2) 3-1(3)	拡充	放課後児童クラブの運営★	保護者が就労等により昼間家庭にいない児童の健全な育成を目的に、小学校や児童館等に専用室を設けて、家庭に代わる遊びや生活の場を提供します。		●	●						●	83か所(198室)での児童クラブ運営を実施	83か所(203室)での児童クラブ運営を実施	1,110,787	239室の運営 (受入可能人数 6,754人) ※民間補助児童クラブ分含む	子ども未来課	1, 2, 4, 16
21	1-1(2) 1-2(3) 2-2(1) 3-1(2) 3-1(3)	継続	放課後児童クラブの整備★	令和7年度当初のニーズ量に対応できるよう児童クラブ室を順次拡充していきます。		●	●						●	4か所(5室、185人分)の児童クラブ整備を実施	1か所(1室、35人分)の児童クラブ整備を実施	8,846	整備後クラブ室数 239室 ※民間補助児童クラブ分含む	子ども未来課	1, 2, 4, 16
再掲 (89)	1-1(2) 1-2(2) 1-2(3) 1-4(1) 1-4(3) 3-1(2) 3-1(3) 3-1(4)	継続	地域学校協働活動推進事業	これまで推進してきた学校・地域の連携協力による学校応援団の仕組みを基盤として、放課後子ども教室等の活動に関わる地域人材との共有を図りながら、学校と地域が連携・協働する体制を整えます。		●	●	●					●	・全小中学校区で地域学校協働活動を実施。 ・放課後子ども教室(地域学校協働活動)の実施。(小学校82校予定)	・全小中学校区で地域学校協働活動を実施。 ・放課後子ども教室(地域学校協働活動)の実施。(小学校82校予定)	103,496	・全小中学校区で地域学校協働活動を実施。 ・放課後子ども教室(地域学校協働活動)の実施。(小学校86校予定)	教育総務課	4
22	1-1(2) 1-2(3) 1-3(6) 2-2(1) 3-1(2) 3-1(3)	拡充	放課後児童クラブと放課後子ども教室の一体的実施★	全ての児童が参加できるように、同一の小学校敷地内等で放課後児童クラブと放課後子ども教室を一体的に(一体型又は連携型により)実施します。		●	●						●	放課後児童クラブと放課後子ども教室を一体的に実施する。(小学校62校)	放課後児童クラブと放課後子ども教室を一体的に実施する。(小学校67校)		放課後児童クラブと放課後子ども教室を一体的に実施する。(小学校71校予定)	子ども未来課 教育総務課	4
23	1-1(2) 1-3(6) 2-1(2) 3-1(2)	拡充	児童館の運営	地域における児童健全育成の拠点として、子どもの健康を増進し、情操を豊かにするため、各種教室や読み聞かせ、クラブ活動など児童に健全な遊びを提供します。		●	●	●	●				●	12館の児童館運営を実施	12館(7月以降は13館)の児童館運営を実施	240,348	13館で実施 小型児童館(7館) 児童センター(6館)	子ども未来課	1, 2, 4, 16
24	1-1(2) 2-1(2) 3-1(2)	継続	児童館の整備	市域全体の均衡や地域性、地域の児童数などを勘案し、現在、配置されていない清水北部地区に新たに整備します。		●	●	●	●				●	清水北部地区児童館の建設工事の完了	開館準備(7月開館)	7,000	1館	子ども未来課	1, 2, 4, 16

基本目標1 すべての子ども・若者の成長を支援するまちの実現【子ども・若者支援】

施策目標1 子どもの心身の健やかな育ちを支える環境づくり

基本施策2 子どもの健全育成促進と自立への支援

プラン No.	掲載 か所	区分	事業名	事業概要	対象者								令和2年度 取組内容・成果(見込み)	令和3年度 取組内容(予定)	令和3年度 当初予算額 (千円)	令和8年度末 目標値	担当課	SDGs 関連番号		
					乳 幼児	小 低	小 高	中 学	高 校	青 年	そ の 他	保 護 者								
【関連事業】																				
25	1-1(2) 1-2(3) 2-2(1) 3-1(2) 3-1(3)	拡充	民間放課後児童クラブへの運営費等補助★	事業量の確保に効果的であると認められる民間放課後児童クラブの運営に対し、その費用の一部を補助します。		●	●							●	民間事業者5団体に対して、運営費補助を実施	民間事業者8団体に対して、運営費補助を実施	65,862	対象となる民間放課後児童クラブに対し、運営費の補助を適切に実施	子ども未来課	1, 2, 4, 16
26	1-1(2) 1-4(1)	継続	牛妻地区かわまちづくり事業	地区連合会、単位町内会、その他団体が協同し、川遊び空間の運営を行い、子どもが学び・体験する場を創出します。		●	●							●	コロナの影響で中止	夏季期間の開校(実施時期:7~8月頃予定)	220	事業の継続運営	河川課	4
27	1-1(2)	継続	魅力づくり事業(駿河区旬穫祭)	地域と協力し、旬の食材の収穫体験の実施や区特産の農水産物の情報発信を行い、駿河区の「食」に興味を持ってもらいます。(全4回のイベントのうち1回が子ども対象)		●	●							●	小学生親子対象の料理教室を実施予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止とした。	小学生親子対象の料理教室の実施	2,466の一部	参加団体 年20団体 参加者・来場者数 年9,000人程度	駿河区役所地域総務課	11
再掲 (95)	1-1(2) 1-2(3)	継続	少年教室の開催への助成、運営支援	自然体験活動、地域体験活動を通して健全な青少年を育成し、また地域のリーダーを養成することを目的とした少年教室や少年いかだまつり事業への支援を行います。		●	●	●						●	4地区少年教室運営委員会が自然体験学習・地域体験活動等を実施。 第36回少年いかだまつり(令和2年6月21日予定)は、新型コロナウイルス感染症の影響により、中止。	11地区少年教室運営委員会が自然体験学習・地域体験活動等を実施。 第37回少年いかだまつりを開催。(令和3年6月20日予定)	1,871	参加教室生数 年300人	青少年育成課	4
28	1-1(1) 1-1(2) 1-4(2)	継続	生涯学習施設における講座	市内生涯学習施設において、乳幼児・小中学生及びその保護者を対象に、各種講座を実施します。	●	●	●	●						●	無人館・山間地を除く32館全ての生涯学習施設で子どもや親子を対象とした講座を実施	無人館・山間地を除く32館全ての生涯学習施設で子どもや親子を対象とした講座を実施	(指定管理料に含む)	無人館・山間地を除く32館全ての生涯学習施設で子どもや親子を対象とした講座を実施	生涯学習推進課	4
29	1-1(2)	継続	写生大会	園内で動物を描いた絵を提出(参加)してもらい、審査・表彰等を行います。(実施時期:10~11月)	●	●	●	●	●	●	●			●	コロナ禍により開催中止	今後の新型コロナウイルス感染症の状況により開催可否を判断	90	参加者:200人	日本平動物園	4
30	1-1(2)	継続	サマースクール	体験活動を通じ、動物について学びます。(1年、2・3年、4~6年の3クラスを各1回)実施時期:8月上旬		●	●							●	コロナ禍により開催中止	今後の新型コロナウイルス感染症の状況により開催可否を判断		1年生:30人 2・3年生:30人 4~6年生:40人	日本平動物園	4
31	1-1(2)	継続	「子ども読書の日」イベントの開催	多くの市民に子どもの読書活動への関心と理解を深めてもらうため、4月23日の「子ども読書の日」に合わせて、各図書館でイベントを実施します。	●	●	●	●	●	●	●			●	新型コロナウイルスの影響により中止	中央館を除く11館で開催予定	38	市内全図書館でイベントを実施継続	中央図書館	4
32	1-1(2)	継続	子どもの本を学ぶ講座の開催	読書の喜びを子どもたちと分かち合うことを目的に、「静岡子どもの本を読む会」と共催して、企画・運営している講座で、子どもに関する各分野から、作家、画家又は翻訳家等を講師として招いて開催します。		●	●	●						●	中央図書館において、一般向け講座は新型コロナウイルスの影響により中止 児童向け科学講座はTwitterを活用した新たな形式で開催	中央図書館において、一般向け講座と児童向け講座を開催予定	50	一般向け講座8回、児童向け科学講座1回の開催継続	中央図書館	4
33	1-1(2) 1-4(4)	継続	こどもクリエイティブタウンまある運営事業	小学生を中心とした子ども(未就学児童から中学生まで)を対象に、仕事とものづくりの体験の場を提供し、これからの時代に求められる子どもたちの創造力(将来を描く力、社会とかわる力、挑戦する力)を育成します。	●	●	●	●						●	利用者数 7,000人	利用者数 10万人	87,803	利用者数 10万人/年	産業政策課	3

基本目標1 すべての子ども・若者の成長を支援するまちの実現【子ども・若者支援】

施策目標1 子どもの心身の健やかな育ちを支える環境づくり

基本施策2 子どもの健全育成促進と自立への支援

プラン No.	掲載 か所	区分	事業名	事業概要	対象者								令和2年度 取組内容・成果(見込み)	令和3年度 取組内容(予定)	令和3年度 当初予算額 (千円)	令和8年度末 目標値	担当課	SDGs 関連番号	
					乳 幼児	小 低	小 高	中 学	高 校	青 年	そ の 他	保 護 者							
34	1-1(2) 1-4(1)	継続	産業フェア(林業祭)工作教室	産業フェアしずおかの林業ゾーンで、主に来場親子を対象に、地域材であるスギ無垢材で製作された椅子、本箱、道具箱等のキットを配布し、木工工作教室を行います。		●	●	●	●	●	●		●	新型コロナウイルスの影響により中止(産業フェアは開催)	1回開催 親子100組	701の一部	累計7回開催 累計親子700組	中山間地振興課	15
35	1-1(2)	継続	伝統文化ワークショップ事業	日本の伝統文化である茶道と、能、落語などの伝統芸能を、小学生とその保護者がワークショップ形式で体験します。		●	●						●	1日2回×2日の計4回実施予定	1日2回×2日の計4回実施予定	26,265千円の一部	年4回実施	文化振興課	4
36	1-1(2) 1-4(1)	継続	お茶の美味しい入れ方教室	お茶の入れ方を学ぶことを通じてお茶に対する味覚を育み、お茶を中心とした食育を図るとともに、本市基幹産物であるお茶の啓蒙、消費促進を図ります。			●							静岡市内小学校全90校へ希望調査を取り、希望校55校に対して実施見込み。(対象:原則小学5・6年生)	静岡市内小学校全90校へ希望調査を取り、希望校に対して実施。(対象:原則小学5・6年生)	4,035	令和元年度実数値である、実施校73校を維持。	農業政策課	4
37	1-1(2)	継続	清水港見学会	清水港の重要性や役割、取扱統計等の具体的な講義、臨港地区や海上からの見学を通じ、次代を担う子どもたちの“港”に対する理解を深めます(年齢制限は定めていないが、特に小学校3、5年生の参加が顕著)。		●	●							小学校 35回開催 参加人数3,400人	小学校 30回開催 参加人数2,500人	152	小学校 35回開催 参加人数3,000人	海洋文化都市推進本部	4
38	1-1(2)	継続	清水お魚ふれあい事業	しらす漁見学(清水港)を実施します。		●	●							コロナウイルス感染症拡大により事業中止	しらす漁見学(清水港)	500	年1回実施 200人の参加	水産漁港課	14
39	1-1(2) 1-4(1)	継続	しずまえ漁業見学ツアー	市内で行われる漁業や競りの様子、水産物加工工場の見学等を通して、地元の産業である水産物の現場に触れ、魚や魚食を身近に感じてもらうためのツアーを行います。		●	●							コロナウイルス感染症拡大により事業中止	水産物の見学等を通し魚や魚食を身近に感じてもらうツアーの開催	330	年1回実施 15組30人の参加	水産漁港課	14
40	1-1(2) 1-4(1)	継続	しずまえ新聞作成	しずまえの魚の知識や料理法などを新聞形式にし、市内小学生に配付して、しずまえのPRを行うとともに、魚の知識や関心を高めていきます。		●	●	●						「しずまえ新聞」を発行 ・令和2年6月号 ・令和2年11月号	「しずまえ」への関心を高めてもらうため、「しずまえ」の情報を載せた新聞を配付	880	年2回配付 市内全小中学生が対象	水産漁港課	14
41	1-1(2) 1-2(3) 1-4(1)	継続	南アルプスユネスコエコパーク井川自然の家自然体験活動(主催事業の実施)	自然の素晴らしさや厳しさにふれながら、自然環境の中で集団訓練、野外活動、自然探求等を通じて豊かな情操を培い、健全な心身の育成を図るもので、自然の家が主催する体験活動を行います。		●	●	●	●	●	●	●	●	新型コロナウイルス感染症対策を実施しながら、小・中学生対象事業と家族・グループ対象事業を合わせて15回実施予定。 指導者育成事業は、新型コロナウイルス感染症の影響により全講座中止した。 事業参加者の満足度:100%	参加者の声を基に、小・中学生対象事業と家族・グループ対象事業を合わせて19回実施予定。また、指導者育成事業の取り組みを強化し、フォローアップ研修等を計画しており、5回実施予定。	6,074	参加者の満足度 100%	教育総務課	4
42	1-1(2) 1-2(3) 1-4(1)	継続	南アルプスユネスコエコパーク井川自然の家自然体験活動(利用者受入れ)	自然の素晴らしさや厳しさにふれながら、自然環境の中で集団訓練、野外活動、自然探求等を通じて豊かな情操を培い、健全な心身の育成を図るもので、小・中学校が主体となる、宿泊訓練や、その他団体による自然体験活動を行います。		●	●	●	●	●	●	●	●	利用者に対し、安心・安全な施設運営を行い、計画的に利用者を受け入れた。 新型コロナウイルス感染症対策として、定員の縮小や施設内の定期消毒等を行った。 延べ利用者数:6,000人	利用者に対し、安心・安全な施設運営を行い、計画的に利用者を受け入れ、利用者数の増加を図っていく。	41,049	年間延べ利用者数:18,000人	教育総務課	4

基本目標1 すべての子ども・若者の成長を支援するまちの実現【子ども・若者支援】

施策目標1 子どもの心身の健やかな育ちを支える環境づくり

基本施策2 子どもの健全育成促進と自立への支援

プランNo.	掲載か所	区分	事業名	事業概要	対象者								令和2年度 取組内容・成果(見込み)	令和3年度 取組内容(予定)	令和3年度 当初予算額 (千円)	令和8年度末 目標値	担当課	SDGs 関連番号	
					乳幼児	小低	小高	中学	高校	青年	その他	保護者							
43	1-1(2)	継続	こどもエコクラブ	子どもの環境保全活動や環境学習を支援する全国組織「こどもエコクラブ」の地域事務局として、「こどもエコクラブ」に登録している市内の団体を支援します。	●	●	●	●	●	●	●	●	●	参加団体:4団体 参加者数:414人	参加団体:4団体 参加者数:400人	—	参加団体:5団体 参加者数:400人	環境創造課	7, 12, 14, 15
44	1-1(2)	継続	静岡科学館る・く・る運営事業	市民が自ら体験することを通して身近な科学に親しみ、科学への関心を高める場を提供することにより、市民の創造力及び感性の向上に寄与します。	●	●	●	●	●	●	●	●	●	①常設展示物の運営 ②科学に関する講座、実演会等の事業の実施 企画展、人材育成事業の実施	①常設展示物の運営 ②科学に関する講座、実演会等の事業の実施 企画展、人材育成事業の実施	202,042 (指定管理料の一部)	年間来館者数:255,000人 連携事業回数:100回 (令和4年度に目標値の見直し等をする予定)	文化振興課	4
45	1-1(2)	継続	「夏休み講座」の開催	静岡科学館る・く・るで主に小中学生を対象として、科学に興味を抱くような実験を体験してもらいます(環境・食品・微生物の分野から実施可能な講座を開催)。	●	●	●	●	●	●	●	●	●	新型コロナウイルス感染症蔓延防止のため不参加	静岡科学館る・く・るで開催される、サイエンスフェスティバルる・く・る「青少年のための科学の祭典」に出展	144	静岡科学館る・く・るで開催される、サイエンスフェスティバルる・く・る「青少年のための科学の祭典」に出展(年1回開催)	環境保健研究所	4
46	1-1(2)	継続	静岡科学館る・く・るでのテーブルサイエンスの実施	水素エネルギーの普及啓発のため、若年層を対象に静岡科学館る・く・るでのテーブルサイエンスを実施します。	●	●	●	●	●	●	●	●	●	1日3回 計12回開催	1日3回 計9回実施	1,235	毎年参加者数360人	環境創造課	4, 7, 13
47	1-1(2) 1-4(1)	継続	次世代エネルギーパーク見学ツアー	次世代エネルギーパークだけでなく、市内観光スポットも併せてバスで巡ることで、周辺観光と「自然」と「文化」に触れながら、地球温暖化と再生可能エネルギーについて学習します。	●	●	●	●	●	●	●	●	●	次世代エネルギーパークのPR動画年1本公表(※コロナウイルスの影響により、ツアーから動画公表に変更)	年1回のツアーを実施	709	毎年参加者数40人	環境創造課	4, 7, 8, 13
48	1-1(2)	継続	ホテル観察会の開催	清流の魅力を身近に感じ、環境への関心を高めもらうため、小学生の親子を対象に、ホテルの生態や生育環境について学ぶ観察会を開催します。	●	●	●	●	●	●	●	●	●	観察会の開催0回 ※コロナのため中止	観察会の開催:1回	103	観察会の開催:1回	環境創造課	4, 15
49	1-1(2)	継続	環境学習ハンドブック作成事業	身近な自然環境や環境問題について、テーマ別にハンドブックを作成し、小学校に配付します。	●	●	●	●	●	●	●	●	●	環境学習ハンドブックの新規作成1冊	環境学習ハンドブックの新規作成1冊	625	環境学習ハンドブックの新規作成1テーマ	環境創造課	4
50	1-1(2)	継続	水のおまわりさん事業	市内の河川の水質を調査する市民調査員を募り、「簡易水質検査」と「水生生物調査」を実施してもらうことで、水辺環境の保全意識の高揚を図ります。	●	●	●	●	●	●	●	●	●	参加団体:20団体 参加者数:954人	参加団体:20団体 参加者数:900人	133	参加団体:30団体 参加者数:900人	環境創造課	6, 14, 15
51	1-1(2)	継続	水に関するポスター展	水の日(8月1日)及び水の週間(8月1日~7日)に関する行事の一環として実施します。水は自然の恵みで限りある貴重な資源であることを再認識し、また上下水道事業に対する市民の理解を深めることを目的として静岡市内小学4年生の児童を対象に「水」を題材としたポスターを募集します。審査を行い、優秀作品を決定し、受賞作品を上下水道局3階展示コーナーに展示し、水に関する啓発を図ります。	●	●	●	●	●	●	●	●	●	市内の小学4年生から募集し、入賞作品を上下水道局庁舎3階展示コーナーに展示(8/3から8/28まで実施)。	市内の小学4年生から募集し、入賞作品を上下水道局庁舎3階展示コーナーに展示予定(8/2から8/31まで実施予定)。	111	市内の小学4年生からの募集を、積極的に広報し、作品数を増やします。	水道総務課	6

基本目標1 すべての子ども・若者の成長を支援するまちの実現【子ども・若者支援】

施策目標1 子どもの心身の健やかな育ちを支える環境づくり

基本施策2 子どもの健全育成促進と自立への支援

プラン No.	掲載 場所	区分	事業名	事業概要	対象者								令和2年度 取組内容・成果(見込み)	令和3年度 取組内容(予定)	令和3年度 当初予算額 (千円)	令和8年度末 目標値	担当課	SDGs 関連番号
					乳幼児	小低	小高	中学	高校	青年	その他	保護者						
52	1-1(2) 1-4(2)	継続	静岡市子どもミュージカル補助金	静岡市子どもミュージカル実行委員会に対し、補助金を交付します。 (静岡市子どもミュージカルは、公募によって集められた子どもたちが主役のミュージカル公演であり、市民により組織された実行委員会が、ミュージカルの創作を通じて子どもたちに創造する喜びを知ってもらうことを目的に、2年に1回開催します。)		●	●	●	●				新型コロナウイルス感染症の影響によりR2年度公演は延期。 今年度を準備年度とし、来年度を公演年度とする。	8月21日(土)、22日(日) 各2回 公演予定 静岡市民文化会館	7,000	<奇数年度> 出演者オーディション・ミュージカル スクール入校式実施 <偶数年度> 公演を実施(4公演) 来場者数各2,000人以上	文化振興課	4
再掲 (13)	1-1(1) 1-1(2)	継続	陸上教室の開催	幼い頃から身体を動かす楽しさを学べるよう、未就学児から小学校低学年を対象に陸上教室を開催し、中・長距離を中心とした新規競技者層の拡大を図ります。	●	●							葵区・駿河区の小学校 4校 11回開催	各区の小学校において 計12回開催	357	各区において年1回開催 (令和4年度にスポーツ推進計画の見直し等をする予定)	スポーツ振興課	3
再掲 (14)	1-1(1) 1-1(2)	継続	幼児及び小学生対象スポーツ教室の開催	楽しく身体を動かしたり、バランス感覚を身につけるなど、子どもの体力向上を目的とした教室を開催します。	●	●	●						年81回開催 参加者数4,740人	年89回開催 参加者数9,050人	— (指定管理料の一部)	年89回開催 参加者数9,050人 (令和4年度にスポーツ推進計画の見直し等をする予定)	スポーツ振興課	3
53	1-1(2)	継続	チャレンジなわとびの開催	個人の部、組なわとびの部、チャンピオンの部、持久力の部の4部門があり、自分の体力や能力、年齢に応じてテストに挑戦する、チャレンジなわとびを開催します。		●	●						年1回開催 参加者数 46人	年5回開催 参加者数 550人	60	年5回開催 参加者数 550人 (令和4年度にスポーツ推進計画の見直し等をする予定)	スポーツ振興課	3
54	1-1(2)	継続	楽しく身体を動かす運動遊び等の推進	体を動かす楽しさを紹介したり、運動の記録を残すことができるリーフレットを児童に配布し、運動遊びやスポーツ活動を推進します(市内スポーツイベントを掲載したスポーツ手帳を児童生徒に配付し、スポーツ活動への参加を促します)。		●	●						市内小学4年生へのリーフレット 配布	市内小学4年生へのリーフレット 配布	140	市内小学4年生へのリーフレット 配布 (令和4年度にスポーツ推進計画の見直し等をする予定)	スポーツ振興課	3
55	1-1(2)	継続	全国少年少女草サッカー大会の開催	サッカーを通して友情の輪を広げ、技術、体力、精神面での成長の場となるよう、小学生を対象としたサッカー大会を開催します。									コロナの影響により中止 第34回大会 R2.8.11~15 参加チーム 全288チーム (男子256、女子32) 会場:市内小中学校等	第35回大会 R3.8.12~15 参加チーム 全152チーム (男子128、女子24) 会場:市内小中学校等	9,669	市外からの参加者数80%以上	スポーツ交流課	3, 4, 11
56	1-1(2) 1-4(2)	継続	清水エスパルスホームゲーム小中学生招待事業	子どもがプロスポーツを身近に体感できる機会を創出し、将来の夢や希望を抱きかけとなるよう青少年の健全育成を図るため、市内全小中学生をホームゲームに招待します。		●	●	●					・市内小学校91校、中学校57校 全校児童・生徒へ招待案内チラシを配布しホームゲームに招待した。 ・小学校3校を選手が直接訪問し、招待試合のPRを行った。	・市内小学校90校、中学校57校 全校児童・生徒へ招待案内チラシを配布しホームゲームに招待する。 ・年間数校程度選手が直接学校を訪問し、招待試合のPRを行う。	— (清水エスパルス交流事業補助金4,500千円の一部)	・市内全小中学校をホームゲームに招待する。 ・年間数校程度選手が直接学校を訪問し、招待試合のPRを行う。	スポーツ交流課	3, 10, 11, 17
57	1-1(2) 1-4(1)	終了	全国少年少女スポーツチャンバラ選手権大会in由比	スポーツチャンバラをやっている少年少女が目指す全国大会を開催し、誰もが自由に安全に楽しめる生涯スポーツとしてスポーツチャンバラの普及、啓発を図ります。なお、礼儀を学び青少年の健全育成と健康で明るいまちづくりに寄与します。		●	●	●	●				コロナの影響により中止 第46回大会 R3.3.20~21 参加者 小学生~18歳 会場 清水総合体育館	(R2で終了)	(R2で終了)	小中学生の全国大会の開催(年1回)及び入場者数500人以上 (補助金は令和2年度で終了予定)	スポーツ交流課	3, 4, 11
再掲 (211)	1-1(2) 1-4(1)	継続	各種目別全国大会出場選手補助金	市を代表して全国的な規模及び水準で開催されるスポーツ競技大会に出場するスポーツ選手の所属する団体等に対し、補助金を交付します。		●	●	●	●				年間交付件数 23件	年間交付件数 170件	7,540	年間交付件数 170件 (令和4年度にスポーツ推進計画の見直し等をする予定)	スポーツ振興課	3

基本目標1 すべての子ども・若者の成長を支援するまちの実現【子ども・若者支援】

施策目標1 子どもの心身の健やかな育ちを支える環境づくり

基本施策2 子どもの健全育成促進と自立への支援

プラン No.	掲載 か所	区分	事業名	事業概要	対象者								令和2年度 取組内容・成果(見込み)	令和3年度 取組内容(予定)	令和3年度 当初予算額 (千円)	令和8年度末 目標値	担当課	SDGs 関連番号		
					乳 幼児	小 低	小 高	中 学	高 校	青 年	そ の 他	保 護 者								
58	1-1(2)	継続	子ども対象火災予防普及啓発事業	子どもを対象とした火災予防に対する普及啓発イベント(防火ポスター展、年末夜回り等)を、関係機関協力のもと、各地に出向いて実施します。	●	●	●									—	普及啓発事業を共に実施する関係機関の拡大増加。	予防課	4, 11	
59	1-1(2)	継続	消防署の見学	認定こども園等の園児と小学生を対象に、消防署を見学し、119番通報から消防自動車や救急車の出動のあらましや消防署の仕事などを見学します。	●	●	●							実施校数・受入人数 こども園 13園・404人 小学校 84校・4,272人 (内訳) 市内 59校(園)・3,346人 島田・吉田・牧之原地域 36校(園)・1,330人	こども園等及び小学校からの社会見学の希望に対応する。 新型コロナウイルス感染拡大の状況によるが、状況が落ち着いた場合は令和2年度並実施予定。		—	見学希望園(学校)の100%受入れ	消防総務課	4, 8
60	1-1(2)	継続	夏休み子ども消防教室の開催	夏休み期間(8月)の消防署見学等を通して、消防の仕事学ぶとともに、火災予防教育を実施します。		●	●							新型コロナウイルス感染症予防のため中止。	年に2日間、管内9消防署、1分署にて実施予定。	37	年に2日間実施	予防課	4, 11	
61	1-1(2) 1-4(2)	継続	応急手当普及啓発活動の促進	毎年度、市内の小中学校の1学年を対象に学校教育における救命講習を実施することで命の大切さを学ぶ環境を醸成します。			●	●						新型コロナウイルス感染症の拡大により、全講習を取りやめた。	静岡市内全公立小中学校において児童・生徒に救命講習受講	6,628	静岡市内全小中学校での実施体制の構築 市内小学校(公・私89校) 市内中学校(公・私54校)	救急課	3, 11	

基本目標1 すべての子ども・若者の成長を支援するまちの実現【子ども・若者支援】

施策目標2 知・徳・体のバランスのとれた子ども・若者をはぐくむ教育環境づくり

基本施策1 幼児期の質の高い教育・保育の充実

プラン No.	掲載 場所	区分	事業 名	事業 概要	対象者								令和2年度 取組内容・成果(見込み)	令和3年度 取組内容(予定)	令和3年度 当初予算額 (千円)	令和8年度末 目標値	担当課	SDGs 関連番号	
					乳幼児	小低	小高	中学	高校	青年	その他	保護者							
【重点事業】																			
62	1-1(1) 1-2(1) 2-2(1)	継続	認定こども園等の運営★	市立こども園において質の高い教育・保育を提供するとともに、子どものための教育・保育給付の円滑な支給等を図り、私立園における質の高い教育・保育を確保します。	●									市立こども園における教育・保育の実施及び施設の維持管理を図るとともに、国が定めた単価に基づき、私立こども園等に対して、適正に給付費を支弁する。 市立:61園(こども園54、特例保育施設(山間地)4、小規模(待機児童園)3) 私立:154園(幼稚園2、こども園51、保育所56、小規模41、事業所内4)	市立こども園における教育・保育の実施及び施設の維持管理を図るとともに、国が定めた単価に基づき、私立こども園等に対して、適正に給付費を支弁する。 市立:59園(こども園52、特例保育施設(山間地)4、小規模(待機児童園)3) 私立:166園(幼稚園9、こども園53、保育所56、小規模44、事業所内4)	【幼保支援課分】 市立こども園 2,861,918 私立こども園等 16,066,529 【こども園課分】 836,479	市立こども園・私立こども園、保育所等における質の高い教育・保育の実施	子ども未来課 幼保支援課 こども園課	4
再掲 (1)	1-1(1) 1-2(1) 2-2(1)	継続	認定こども園等の整備★	待機児童を解消するとともに認定こども園を普及するため、認定こども園等の定員拡大、新設、認定こども園への移行等のために必要な施設整備のための費用を補助します。	●									既存保育施設の定員増:▲10人 私立幼稚園の認定こども園移行:45人 認定こども園等の新設:0人 小規模保育事業等の新設:126人	既存保育施設の定員増:0人 私立幼稚園の認定こども園移行:45人 認定こども園等の新設:90人 小規模保育事業等の新設:0人	333,197	既存保育施設の定員増:▲8人 私立幼稚園の認定こども園移行:176人 認定こども園等の新設:90人 小規模保育事業等の新設:180人	子ども未来課	4, 5
63	1-2(1) 2-2(1)	拡充	保育士確保対策事業★	保育士等の人材確保のため、保育士・保育所支援センターを設置して求職者と求人者のマッチングを行うほか、潜在保育士等の再就職を支援します。	●									求職者と求人者のマッチング支援・出張相談・合同就職説明会・再就職支援研修・現場体験事業等 年間マッチング件数58件 就職説明会年2回 潜在保育士再就職支援研修年2回	求職者と求人者のマッチング支援・出張相談・合同就職説明会・再就職支援研修・現場体験事業・現職保育士の相談支援等 年間マッチング件数58件 就職説明会年2回 潜在保育士再就職支援研修年2回	9,846	年間マッチング件数16件 就職説明会年1回 潜在保育士再就職支援研修年2回	幼保支援課	4
64	1-2(1) 2-2(1)	継続	幼稚園教諭免許・保育士資格併有促進事業★	保育教諭の確保のため、幼稚園教諭免許・保育士資格のどちらかを有する教育・保育従事者に対し、もう片方の免許・資格を取得するための費用を助成します。							●			幼稚園教諭・保育士資格のどちらかを有している場合、もう片方の免許・資格を取得するための経費の一部を助成する。 【幼保支援課分】 補助金交付:42人 【こども園課分】 補助金交付: ・免許取得1人 ・免許更新30人	幼稚園教諭・保育士資格のどちらかを有している場合、もう片方の免許・資格を取得するための経費の一部を助成する。 【幼保支援課分】 補助金交付:23人 【こども園課分】 補助金交付: ・免許取得30人 ・免許更新56人	【幼保支援課分】 1,035 【こども園課分】 3,381	・申請に対する確実な交付(100%) ・幼保連携型認定こども園における基準配置上の職員の資格併有率100%	幼保支援課 こども園課	4
65	1-2(1)	継続	新規参入施設等への巡回支援事業★	新規に認定こども園、保育所等を開始する事業者に対して指導・助言等を行います。	●									①支援員全体会議の開催:2回 ②巡回支援の実施:4回	①支援員全体会議の開催:2回 ②巡回支援の実施:12回	500	新規事業者への実施率100%	子ども未来課	4, 5

基本目標1 すべての子ども・若者の成長を支援するまちの実現【子ども・若者支援】

施策目標2 知・徳・体のバランスのとれた子ども・若者をはぐくむ教育環境づくり

基本施策1 幼児期の質の高い教育・保育の充実

プラン No.	掲載 か所	区分	事業名	事業概要	対象者								令和2年度 取組内容・成果(見込み)	令和3年度 取組内容(予定)	令和3年度 当初予算額 (千円)	令和8年度末 目標値	担当課	SDGs 関連番号
					乳 幼児	小 低	小 高	中 学	高 校	青 年	そ の 他	保 護 者						
再掲 (351)	1-1(1) 1-2(1) 2-2(1)	新規	私立こども園・保育所等 運営費補助金交付事業	私立認定こども園・保育所・小規模保育事業 における教育・保育環境の向上や職員の処遇 改善を図ることにより各施設の円滑な運営と振 興を図ります。	●								(R3新規)	私立こども園・保育所等が実施す る教育・保育環境の改善や職員 の処遇改善・資質向上、多様な 保育を支援のための事業に係る 経費の一部を補助する。 153園(こども園53、保育所56、 小規模44)	1,715,898	私立こども園、保育所等における 質の高い教育・保育の実施	幼保支援課	4
再掲 (353)	1-1(1) 1-2(1) 1-3(2)	新規	私立こども園・保育所等 特別支援保育事業	障がい児や医療的ケア等の支援が必要な乳 幼児が円滑に教育・保育施設を利用できるよ う、私立こども園・保育所等の受入れ体制を支 援する。	●								(R3新規)	①特別支援保育に係る職員支 援事業 障害児保育に係る保育士及び 医療的ケア児に係る看護師の人 件費を助成する。 計148園(こども園49、保育所 55、小規模44) ②巡回支援事業 発達が気になる幼児がいる私立 こども園や保育所等をアドバイ ザーが巡回し、園児との関わり方 等について、相談・助言を行う。 計99園(こども園49、保育所 50)	271,502	特別な支援を必要とする子どもが 円滑に教育・保育を受けることが できる体制の確保	幼保支援課	4
【関連事業】																		
再掲 (308)	1-2(1) 2-2(1)	継続	保育補助者雇上強化事 業費	新たに保育補助者を雇用することで、保育士 の業務負担を軽減し、保育士の離職防止を 図ることで、保育環境の向上と施設の円滑な 運営を図ります。									新たに保育補助者を雇用した私 立こども園・保育所等に対し雇上 げに係る経費を助成する。 81園(こども園35、保育所35、小 規模11)	新たに保育補助者を雇用した私 立こども園・保育所等に対し雇上 げに係る経費を助成する。 補助人数:124人	80,000	申請に対する確実な交付 (100%)	幼保支援課	4
66	1-2(1) 1-3(2)	継続	多様な主体の参入促進 事業[特別教育・保育経 費]★	私立認定こども園での健康面や発達面におい て特別な支援が必要な子どもの受け入れを促 進するため、当該児童を2人以上受け入れる 私立認定こども園の設置者に対して、職員の 加配に必要な費用の一部を助成します。	●								当該児童を2人以上受入れた施 設がないため0件(見込)	対象となる施設への確実な補助 (100%)	—	対象となる施設への確実な補助 (100%)	幼保支援課	4
67	1-2(1) 1-2(2)	継続	私立学校振興補助金交 付事業	教育の振興及び児童生徒の保護者の経済的 負担の軽減を図るため、市内の私立幼稚園、 小学校、中学校及び高等学校に補助金を交 付します。									学校法人が設置する私立学校に 対し、教材等の購入経費の一部 を補助する。 25園 27校	学校法人が設置する私立学校に 対し、教材等の購入経費の一部 を補助する。 17園 27校	101,235	申請に対する確実な交付 (100%)	幼保支援課	4

基本目標1 すべての子ども・若者の成長を支援するまちの実現【子ども・若者支援】

施策目標2 知・徳・体のバランスのとれた子ども・若者をはぐむ教育環境づくり

基本施策2 学校における教育環境の充実

プラン No.	掲載 場所	区分	事業名	事業概要	対象者								令和2年度 取組内容・成果(見込み)	令和3年度 取組内容(予定)	令和3年度 当初予算額 (千円)	令和8年度末 目標値	担当課	SDGs 関連番号	
					乳幼児	小低	小高	中学	高校	青年	その他	保護者							
【重点事業】																			
68	1-2(2) 1-3(6)	継続	学力アップサポート事業	学習面で支援が必要な児童に、テキストの提供と、放課後に有償ボランティアによる個別の補充学習支援を実施し学習意欲と基礎的な学力の向上を図ることで、学校を支援する。			●							新型コロナウイルス感染症の影響により事業は未実施。代替事業として、コロナで学習に不安がある児童生徒に対し「補充学習による学習サポート事業」を実施した。	市内の小中学校(20校程度)において、学習面で支援が必要な児童に、テキストの提供と放課後に有償ボランティアによる個別の補充学習支援を実施する。	5,480	全国学力・学習状況調査の分析をもとに、市内の小中学校15校程度に有償ボランティアを配置し、基礎学力向上のための支援を行う。より多くの学校で実施し、市内の学力の底上げを行う。	学校教育課	4
69	1-2(2)	拡充	ICTを生かした教育の推進	市内小中学校へICT教育機器を整備し、各教科、道徳、特別活動又は総合的な学習の時間などで活用します。 ※ICTとは、情報(Information)や通信(Communication)に関する技術(Technology)の総称。特に教育では、ネットワークを生かして情報や知識の共有を図ることを目指しています。		●	●	●						市内小・中学校において、整備されたICT環境を活用し、各教科、道徳、特別活動、総合的な学習の時間の授業で実施した。	市内小・中学校において、整備されたICT環境を活用し、各教科、道徳、特別活動、総合的な学習の時間の授業で実施する。	187,253	児童生徒が地域の格差なく、学びを享受できるように学校間ネットワーク環境を整える。	教育センター(学校教育課)	4
70	1-2(2) 1-4(2)	継続	国際理解教育の推進	幼稚園、小中学校の行事や学習時間において講師を派遣し、自国や他地域・他国の伝統や文化を学ぶなど、国際理解教育を推進します。		●	●	●						中学校に配置されているALTを活用し、全小中学校で他国の文化等を学ぶ国際理解教育を実施した。	中学校に配置されているALTを活用し、全小中学校で他国の文化等を学ぶ国際理解教育を実施する。さらに小学校ではGETも活用して国際理解教育の充実を図る。外国の小中学校の子どもを招いての国際交流はコロナウイルスの状況に応じて対応する。	252,708	小中学校の行事や学習時間において講師を派遣し、自国や他地域・他国の伝統や文化を学ぶなど、国際理解教育を推進し、全小中学校で実施する。	学校教育課	4
71	1-2(2)	拡充	日本語指導が必要な児童・生徒への支援	日本語指導が必要な児童生徒に対し、日常生活及び学習活動参加するために必要な日本語の習得の支援と、当該児童生徒及びその保護者が学校生活全般に適応するための支援をします。		●	●	●						日本語指導教室、訪問指導、適応相談を行い、日本語指導を必要とする児童・生徒やその保護者への支援を行った。また、児童生徒が日常で使う日本語を習得できるよう、学校との連携を図り、支援体制を整えた。	日本語指導教室、訪問指導、適応相談を行い、日本語指導を必要とする児童・生徒やその保護者への支援を行っていく。また、児童生徒が日常で使う日本語を習得できるよう、学校との連携を図り、支援体制を整えていく。	10,213	日本語指導教室、訪問指導、適応相談では、申請のあったすべての日本語指導を必要とする児童・生徒やその保護者に対応をする。また、児童生徒が日本語に対応できるように日本語レベルのチェックを行い、指導の必要性の確認を行う。加配教員を5人、訪問指導員を25人まで増員する。	学校教育課	4
【関連事業】																			
72	1-2(2)	継続	情報技術活用研修	教職員を対象に情報技術活用に関する研修を実施します。		●	●	●						夏季休業中に5講座開設。	1人1台端末の導入に伴い、授業におけるICT機器の有効利用に関する研修会を実施する。	—	教職員の技術の向上を図り、情報機器を活用した授業を行うことができるようにする。	教育センター	4
73	1-2(2)	継続	ALT(外国語指導助手)招致派遣事業	外国語指導助手を招致し、幼稚園、小・中学校に派遣し、学級担任とのチーム・ティーチングの授業を行います。		●	●	●	●					ALT(外国語指導助手)43人を市立中学校に原則1人を配置し、校区小学校への訪問を実施した。	ALT(外国語指導助手)45人を招致する。市立中学校に原則1人を配置、校区小学校へ訪問させる予定。	233,024	ALT(外国語指導助手)45人を招致する。市立中学校に原則1人を配置、校区小学校へ訪問させる予定。	学校教育課	4
74	1-2(2) 1-3(6) 1-4(4)	継続	キャリア教育の推進	小中学生の社会的・職業的自立に向けて必要な基盤となる能力や、態度を育てることを目的としたキャリア教育を推進します。		●	●	●						中学校の職場体験学習は、新型コロナウイルス感染症の影響により、未実施。	市立の全中学校で、学校の実情に合わせて、職場体験学習を行う。全小中学校担当者を対象にキャリア教育についての内容の周知を行う。	79	市立の全中学校で、連続3日間以上の職場体験学習を行う。全小中学校担当者を対象にキャリア教育担当者会を実施する。	学校教育課	4

基本目標1 すべての子ども・若者の成長を支援するまちの実現【子ども・若者支援】

施策目標2 知・徳・体のバランスのとれた子ども・若者をはぐくむ教育環境づくり

基本施策2 学校における教育環境の充実

プラン No.	掲載 か所	区分	事業名	事業概要	対象者								令和2年度 取組内容・成果(見込み)	令和3年度 取組内容(予定)	令和3年度 当初予算額 (千円)	令和8年度末 目標値	担当課	SDGs 関連番号
					乳 幼児	小 低	小 高	中 学	高 校	青 年	そ の 他	保 護 者						
75	1-2(2)	継続	環境教育の推進	豊かな自然や身近な地域での様々な体験活動を通して、環境に対する関心を培うことを目的に、環境教育を推進します。		●	●	●								教科の授業校における実施校 125校	教育センター	4
76	1-2(2)	終了	福祉教育の推進	教科、総合的な学習、道徳又は特別活動等を通して、学校や地域の実態に応じて福祉に関わる学習や活動を推進します。		●	●	●					コロナウイルスの関係で、福祉施設の訪問等が実施できなかった。事業見直しにより、令和3年度からは終了とする。	(R2で終了)	(R2で終了)	それぞれの小中学校の教育課程に対応して社会福祉協議会の共同募金事業や福祉教育支援事業、福祉教育研修等を通じて、より実践的な福祉教育に取り組む。	学校教育課	4
77	1-2(2) 1-4(2)	継続	人権教育研修会	年2回、各小中学校の人権教育担当者を集めて、人権教育の研修会を実施します。		●	●	●					道徳・人権教育担当者会を年1回実施した。人権意識や人権感覚を高め、人権課題に取り組めるよう、研修会を開催し、人権教育の推進を図った。	小・中学校の人権教育担当者を対象に、国が主催する中央研修の内容について伝達する。また、教員の人権意識や人権感覚を高め、教育活動の中で人権教育が実施されるよう校内研修等で使用する資料等を配付し情報提供する。		道徳(人権)教育担当者会を年2回実施する。人権意識や人権感覚を高めたり、人権課題に取り組めるようにしたりするための研修を行う。時代により対応できるような研修を行っていく。	学校教育課	4
78	1-2(2)	継続	体力向上支援事業	体力テストを調査・集約し、その結果から体育の授業改善や指導法の工夫、体力づくりの具体を探ります。		●	●	●					専門会員による体力向上に向けた取り組みの検討会を1回実施した。	専門会員による体力向上に向けた取り組みの検討会を1回実施する。体力を高めるための専門委員の学校支援を17回実施する。	200	専門会員による体力向上に向けた取り組みの検討会を1回実施する。体力を高めるための専門委員の学校支援を17回実施する。	学校教育課 教育センター	4
79	1-2(2)	継続	学校体育の充実	子どもの体力低下は、生涯にわたる体力の保持・増進の観点から、また豊かな人間性や確かな学力を支えるという観点からも問題であるため、体育の授業や運動部活動の活性化に努めます。		●	●	●					授業づくり研修会(小学校・中学校)を各1回実施する予定だったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、実技を伴う研修会のため中止した。教科調査官による講義型研修会を実施した。コロナ禍において66名が研修会に参加した。	運動好きの児童・生徒を増やすための実技指導研修会(小学校・中学校)を各1回実施する。教科調査官による講義型の研修会を1回実施する。		授業づくり研修会を実施する。参加者の「研修満足度4.3」を目指す。	教育センター	4
80	1-2(2)	継続	授業で活かすダンス指導事業	中学校保健体育科におけるダンス指導の研修を行うことで授業改善を推進し、生徒がダンスの楽しさをさらに味わうことができるようにします。		●	●	●					令和2・3年度に全ての中学校において授業支援を実施の予定だったが、希望制に変更した。3校において、ダンスの授業支援を実施した。教員研修会を1回実施した。	学校の希望に応じてダンスの授業支援を実施する。教員研修会を1回実施し、ダンスの指導力の向上を図る。	3,334	教員研修、中学校21校への授業支援、ダンス発表会を実施する。(令和3年度で終了予定)	教育センター	4
81	1-2(2)	継続	本物の文化・スポーツに接する機会の充実	文化財の探訪や音楽等の文化活動、芸術作品の鑑賞、様々なスポーツを行うことで子どもは感動を得て夢を育むことから、本物の文化やスポーツに親しむことができる機会の一層の充実を図ります。		●	●	●					小学校6年生を対象とした劇団四季「こころの劇場」を令和2年6月10日、11日に実施する予定であったが、コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した。文化庁や県主催の鑑賞教室を紹介し、募集や手続き等を行った。	文化庁や県主催の鑑賞教室を紹介し、募集や手続き等を行う。		劇団四季「こころの劇場」に全小中学校が参加する。文化庁や県主催の鑑賞教室等へ、市内10校以上の小中学校が参加する。	教育センター	4

基本目標1 すべての子ども・若者の成長を支援するまちの実現【子ども・若者支援】

施策目標2 知・徳・体のバランスのとれた子ども・若者をはぐくむ教育環境づくり

基本施策2 学校における教育環境の充実

プラン No.	掲載 場所	区分	事業名	事業概要	対象者								令和2年度 取組内容・成果(見込み)	令和3年度 取組内容(予定)	令和3年度 当初予算額 (千円)	令和8年度末 目標値	担当課	SDGs 関連番号		
					乳幼児	小低	小高	中学	高校	青年	その他	保護者								
82	1-2(2)	継続	食に関する指導の充実	小中学校の児童生徒に対し、食に関する正しい知識や望ましい食習慣について教職員や栄養教諭等が指導を実施します。		●	●	●							食に関する指導を各学年年1回以上実施する。	食に関する指導を各学年年1回以上実施する。		各小中学校で、食に関する指導を各学年年1回以上実施する。(実施率100%)	学校給食課	4
再掲 (19)	1-1(1) 1-2(2)	継続	食育推進事業	食育推進計画を推進し、進行管理を行います。	●	●	●	●	●	●	●	●			①食育応援団依頼件数:25件 ②食育推進計画を活用した情報発信件数:10件	①食育応援団依頼件数:30件 ②食育推進計画を活用した情報発信件数:10件	540	①年間30件以上 ②年間10件以上	健康づくり推進課	3
83	1-2(2) 1-4(4)	継続	学校対応事業	①幼児動物教室・ふれあい教室(年長児・特別支援学校等対象の動物とふれあいを通じて命の大切さを学ぶ教室) ②飼育体験学習の受入れ(主に中学生の職場体験等) ③ツアーガイドの実施(園児・小学・中学・高校生を対象にした園内ツアーガイド) ④出張動物園ガイド/講演(飼育担当者が学校を訪問し講演) ⑤校外学習の受入れ(学校の授業の一環として質問への対応等)	●	●	●	●	●	●	●	●			①150回 ②休止 ③休止 ④20回 ⑤5回	今後の新型コロナウイルス感染症の状況により開催可否を判断		①100回 ②30人 ③30回 ④10回 ⑤10回	日本平動物園	4
再掲 (134)	1-2(2) 1-3(2)	拡充	特別支援教育推進事業	小・中学校に対し、特別支援教育支援員の配置や臨床心理士等からなる巡回相談員の派遣を行い、支援を必要とする児童生徒への支援や小・中学校の校内支援体制の充実を推進します。		●	●	●				●			小・中学校に支援員を219人配置。巡回相談を149回実施。	小・中学校に支援員を226人配置。巡回相談を150回程度実施。	178,495	小・中学校に200人以上の支援員を配置、巡回相談を150回以上実施。	学校教育課 (特別支援教育センター)	4
再掲 (135)	1-2(2) 1-3(2)	継続	障がいのある幼児児童生徒への就学支援	特別支援相談員が、在籍園・校等を訪問し、就学に関わる相談を行います。さらに、就学支援委員会で障がいのある幼児児童生徒の就学先について審議し、適正な就学につなげます。	●	●	●	●				●			就学に関わる相談件数1,163件。就学支援委員会を年間3回開催。審議件数2,162件。	就学に関わる相談件数1,000件以上。就学支援委員会を年間3回開催。審議件数1,500件以上。	541	就学に関わる相談件数1,000件以上。就学支援委員会を年間3回開催。審議件数1,500件以上。	学校教育課 (特別支援教育センター)	4
再掲 (145)	1-2(2) 1-3(2)	継続	特別支援教育研修会の開催	特別支援教育に従事する教員の専門性の向上のため、個々の障がいの特性に応じた教育内容や指導方法についての研修を行います。 ・特別支援教育コーディネーター研修 ・特別支援教育研修 ・言語・発達・肢体不自由通級指導教室担当者研修 ・特別支援学級担任教員研修 ・新任特別支援教育担当者研修会								●			予定した全20回(特別支援教育コーディネーター研修、特別支援教育研修、言語・発達・肢体不自由通級指導教室担当者研修、特別支援学級担任教員研修、新任特別支援教育担当者研修会)の内、内容変更したものも含め16回開催。	特別支援教育コーディネーター研修、特別支援教育研修、言語・発達・肢体不自由通級指導教室担当者研修、特別支援学級担任教員研修、新任特別支援教育担当者研修会等、計20回程度開催。	320	特別支援教育に関する研修を年間計20回開催。延べ1,000人を超える教員が参加。	学校教育課 (特別支援教育センター)	4
再掲 (143)	1-2(2) 1-3(2)	継続	特別支援教育就学奨励費補助金交付事業	特別支援学級へ就学する児童生徒を養育する保護者の経済的負担を軽減するため、補助金を交付します。		●	●	●				●			特別支援学級へ就学する児童生徒を養育する保護者の経済的負担を軽減するため、補助金を交付します。法令・交付要綱等に基づき、対象となる児童・生徒に適切に補助金を交付する。	特別支援学級へ就学する児童生徒を養育する保護者の経済的負担を軽減するため、補助金を交付します。法令・交付要綱等に基づき、対象となる児童・生徒に適切に補助金を交付する。	37,979	要綱等に基づき、要件を満たす児童・生徒に正確かつ確実に補助金を交付:100%	児童生徒支援課	4

基本目標1 すべての子ども・若者の成長を支援するまちの実現【子ども・若者支援】

施策目標2 知・徳・体のバランスのとれた子ども・若者をはぐくむ教育環境づくり

基本施策2 学校における教育環境の充実

プラン No.	掲載 場所	区分	事業名	事業概要	対象者								令和2年度 取組内容・成果(見込み)	令和3年度 取組内容(予定)	令和3年度 当初予算額 (千円)	令和8年度末 目標値	担当課	SDGs 関連番号		
					乳幼児	小低	小高	中学	高校	青年	その他	保護者								
再掲 (67)	1-2(1) 1-2(2)	継続	私立学校振興補助金交付事業	教育の振興及び児童生徒の保護者の経済的負担の軽減を図るため、市内の私立幼稚園、小学校、中学校及び高等学校に補助金を交付します。										●	学校法人が設置する私立学校に対し、教材等の購入経費の一部を補助する。 25園 27校	学校法人が設置する私立学校に対し、教材等の購入経費の一部を補助する。 17園 27校	101,235	申請に対する確実な交付(100%)	幼保支援課	4
84	1-2(2)	継続	静岡市高等学校定時制通信制教育振興会補助金	①静岡市高等学校定時制通信制教育振興会 ②静岡県立清水東高等学校定時制教育振興会の2振興会に補助金を交付します。										●	補助金交付団体: ①静岡市高等学校定時制通信制教育振興会 ②静岡県立清水東高等学校定時制教育振興会の2振興会に補助金を交付する。	補助金交付団体: ①静岡市高等学校定時制通信制教育振興会 ②静岡県立清水東高等学校定時制教育振興会の2振興会に補助金を交付する。	1,511	要綱等に基づき、正確かつ確実に補助金を交付:100%	児童生徒支援課	4
85	1-2(2)	継続	学校訪問事業	指導主事が学校を計画的に訪問し、授業内容や校内研修について指導助言をすることで、学校における自校ならではの教育実践の一層の充実、向上を図ります。		●	●	●							計画訪問とし、30小中学校を訪問し、研究授業を通して、指導助言を行う予定であったが、コロナウイルス感染症拡大防止と授業時数確保のため中止した。要請訪問は実施し、学校のニーズに応じた指導助言を行った。	計画訪問とし、30小中学校を訪問し、研究授業を通して、指導助言を行う。また要請訪問を行い、学校のニーズに応じた指導助言を行う。	—	市内全小中学校125校を計画訪問し、指導助言を行う。	教育センター	4
86	1-2(2)	継続	複式学級への非常勤講師配置事業	市内の複式学級を有する小学校に非常勤講師を配置し、基本4教科(国語、社会、算数、理科)の授業を学年単位で実施し、複式による授業の解消を図ります。		●	●								複式学級があるすべての小学校に非常勤講師を配置し、基本4教科の授業を学年単位で実施できる状況を継続する。(令和2年度は17校が該当)	複式学級があるすべての小学校に非常勤講師を配置し、基本4教科の授業を学年単位で実施できる状況を継続する。(令和3年度は17校が該当)	52,027	複式学級があるすべての小学校に非常勤講師を配置する。(配置率100%)	教職員課	4
再掲 (167)	1-2(2) 1-3(3)	継続	こころの教育支援事業	小学校に非常勤講師を配置し、生徒指導主任等の代わりに授業を行い、生徒指導主任等がいじめや不登校に迅速かつ確実に対応する時間を確保します。 また、非常勤講師の配置により児童一人ひとりの心の安定と学習の充実を図ります。		●	●								市内15校に各1名、市内9支部に各1名、合計24人の非常勤講師を配置する。	市内15校に各1名、市内9支部に各1名、合計24人の非常勤講師を配置する。	54,650	いじめや不登校等の改善率(改善傾向がみられた率)60% ※過去5か年の改善率の平均を踏まえて設定	教職員課	4
87	1-2(2)	継続	学校図書館教育推進事業	12学級以上の小中学校に置かれた司書教諭及び図書館担当者の補佐役として学校司書を配置し、授業等による計画的活用を図るとともに、児童生徒が主体的に学習に活用できる場としての充実を図ります。		●	●	●							全ての学校に学校司書を配置し、勤務日数は児童生徒数に応じて設定した。研修会でガイドラインを活用し環境整備を行い、授業利用の促進を行った。	全ての学校に学校司書を配置し授業支援を行う。勤務日数は児童生徒数に応じて設定する。ガイドラインを活用して環境整備やサービスを充実させ、授業で活用できる図書館づくりを行う。	92,096	全ての学校に学校司書を配置。	教育センター	4
再掲 (181)	1-2(2) 1-3(3) 1-3(5) 1-3(6) 3-1(4)	継続	スクールソーシャルワーカー活用事業	小中学校にスクールソーシャルワーカーを配置又は派遣し、いじめ、不登校又は暴力行為その他の学校生活における諸問題を抱える児童生徒に必要な支援を行い、学校生活上の諸問題の解決を図ります。		●	●	●					●	学校生活上の諸問題の背景にある家庭環境や生活環境の調整及び改善に努める。就学前、中学校卒業後においても切れ目のない支援を行う。 【配置状況】 スクールソーシャルワーカー:12名	学校生活上の諸問題の背景にある家庭環境や生活環境の調整及び改善に努める。就学前、中学校卒業後においても切れ目のない支援を行う。 【配置状況】 スクールソーシャルワーカー:12名	22,669	スクールソーシャルワーカー12人を拠点校12校(1支部1人)に配置し、週2時間勤務。拠点校以外には、要請に応じて随時派遣及び定期巡回。	児童生徒支援課	1, 4	

基本目標1 すべての子ども・若者の成長を支援するまちの実現【子ども・若者支援】

施策目標2 知・徳・体のバランスのとれた子ども・若者をはぐくむ教育環境づくり

基本施策2 学校における教育環境の充実

プラン No.	掲載 場所	区分	事業名	事業概要	対象者								令和2年度 取組内容・成果(見込み)	令和3年度 取組内容(予定)	令和3年度 当初予算額 (千円)	令和8年度末 目標値	担当課	SDGs 関連番号	
					乳幼児	小低	小高	中学	高校	青年	その他	保護者							
再掲 (164)	1-2(2) 1-3(2) 1-3(3) 1-3(5) 1-3(6) 3-1(4)	拡充	スクールカウンセリング事業	いじめ、不登校又は問題行動など、児童生徒の心の問題に対応するため、スクールカウンセラーや教育相談員を小中高等学校に配置し、児童生徒、保護者などへの相談活動を実施します。		●	●	●					●	スクールカウンセラー 40人 小学校は週4、中学校は週8時間 高等学校は隔週4時間 教育相談員 33人 生徒数200人以上の中学校に1日5時間×週3日	スクールカウンセラー 40人 小学校は週4、中学校は週8時間 高等学校は4時間×月3回 教育相談員 39人 生徒数200人以上の小中学校に1日5時間×週3日	101,591	スクールカウンセラー 40人 小学校は週4、中学校は週8時間 高等学校は隔週4時間 教育相談員 33人 生徒数200人以上の中学校に1日5時間×週3日	児童生徒支援課 教育総務課	4
88	1-2(2)	継続	中学校部活動指導員設置事業	静岡市立中学校における部活動環境の充実を図るため、部活動指導員の配置を行います。					●					外部顧問を32人、外部指導員を104人配置し、部活動環境のさらなる充実を図った。	外部顧問を35名、外部指導員を105名配置し、部活動環境のさらなる充実を図る。	50,193	外部顧問配置校において「時間外の削減が行われた」と回答する教員が50%、「活動の質が向上した」と回答する生徒が70%。	学校教育課	4
再掲 (89)	1-1(2) 1-2(2) 1-2(3) 1-4(1) 1-4(3) 3-1(2) 3-1(3) 3-1(4)	継続	地域学校協働活動推進事業	これまで推進してきた学校・地域の連携協力による学校応援団の仕組みを基盤として、放課後子ども教室等の活動に関わる地域人材との共有を図りながら、学校と地域が連携・協働する体制を整えます。		●	●	●				●	●	・全小中学校区で地域学校協働活動を実施。 ・放課後子ども教室(地域学校協働活動)の実施。(小学校82校予定)	・全小中学校区で地域学校協働活動を実施。 ・放課後子ども教室(地域学校協働活動)の実施。(小学校82校予定)	103,496	・全小中学校区で地域学校協働活動を実施。 ・放課後子ども教室(地域学校協働活動)の実施。(小学校86校予定)	教育総務課	4

基本目標1 すべての子ども・若者の成長を支援するまちの実現【子ども・若者支援】

施策目標2 知・徳・体のバランスのとれた子ども・若者をはぐくむ教育環境づくり

基本施策3 家庭や地域における教育環境の充実

プラン No.	掲載 場所	区分	事業名	事業概要	対象者								令和2年度 取組内容・成果(見込み)	令和3年度 取組内容(予定)	令和3年度 当初予算額 (千円)	令和8年度末 目標値	担当課	SDGs 関連番号		
					乳幼児	小低	小高	中学	高校	青年	その他	保護者								
【重点事業】																				
再掲 (20)	1-1(2) 1-2(3) 1-3(6) 2-2(1) 3-1(2) 3-1(3)	拡充	放課後児童クラブの運営★	保護者が就労等により昼間家庭にいない児童の健全な育成を目的に、小学校や児童館等に専用室を設けて、家庭に代わる遊びや生活の場を提供します。			●	●						●	83か所(198室)での児童クラブ運営を実施	83か所(203室)での児童クラブ運営を実施	1,110,787	239室の運営 (受入可能人数 6,754人) ※民間補助児童クラブ分含む	子ども未来課	1, 2, 4, 16
再掲 (21)	1-1(2) 1-2(3) 2-2(1) 3-1(2) 3-1(3)	継続	放課後児童クラブの整備★	令和7年度当初のニーズ量に対応できるよう児童クラブ室を順次拡充していきます。			●	●						●	4か所(5室、185人分)の児童クラブ整備を実施	1か所(1室、35人分)の児童クラブ整備を実施	8,846	整備後クラブ室数 239室 ※民間補助児童クラブ分含む	子ども未来課	1, 2, 4, 16
89	1-1(2) 1-2(2) 1-2(3) 1-4(1) 1-4(3) 3-1(2) 3-1(3) 3-1(4)	継続	地域学校協働活動推進事業	これまで推進してきた学校・地域の連携協力による学校応援団の仕組みを基盤として、放課後子ども教室等の活動に関わる地域人材との共有を図りながら、学校と地域が連携・協働する体制を整えます。			●	●	●					●	・全小中学校区で地域学校協働活動を実施。 ・放課後子ども教室(地域学校協働活動)の実施。(小学校82校予定)	・全小中学校区で地域学校協働活動を実施。 ・放課後子ども教室(地域学校協働活動)の実施。(小学校82校予定)	103,496	・全小中学校区で地域学校協働活動を実施。 ・放課後子ども教室(地域学校協働活動)の実施。(小学校86校予定)	教育総務課	4
再掲 (22)	1-1(2) 1-2(3) 1-3(6) 2-2(1) 3-1(2) 3-1(3)	拡充	放課後児童クラブと放課後子ども教室の一体的実施★	全ての児童が参加できるように、同一の小学校敷地内等で放課後児童クラブと放課後子ども教室を一体的に(一体型又は連携型により)実施します。			●	●						●	放課後児童クラブと放課後子ども教室を一体的に実施する。(小学校62校)	放課後児童クラブと放課後子ども教室を一体的に実施する。(小学校67校)		放課後児童クラブと放課後子ども教室を一体的に実施する。(小学校71校予定)	子ども未来課 教育総務課	4
90	1-2(3) 1-3(6)	継続	育英奨学金貸付事業	高等学校、短期大学、大学又は大学院に在学する者に学資を貸与して、優秀な人材を育成し、及び市の発展に資する優秀な人材を育成します。 短大、大学等を卒業したのちに市内に居住し、市民税所得割を納付する等の要件を満たす場合の返還免除制度を創設しました。										●	予算の範囲内で新規貸与者数を増やす。 (新規貸与者数52人)	予算の範囲内で新規貸与者数を増やす。 (新規貸与者数110人)	74,256	新規貸与者数110人	児童生徒支援課	4
再掲 (185)	1-2(3) 1-3(6)	継続	篤志奨学金給付事業	修学困難な高校生、短大生及び大学生を対象に、教育奨励費(入学一時金)として奨学金を給付します。										●	予算の範囲内で奨学金を給付する。(給付実績2,950千円)	予算の範囲内で奨学金を給付する。(給付予算3,000千円)	3,000	給付予算3,000千円	児童生徒支援課	4
【関連事業】																				
再掲 (25)	1-1(2) 1-2(3) 2-2(1) 3-1(2) 3-1(3)	拡充	民間放課後児童クラブへの運営費等補助★	事業量の確保に効果的であると認められる民間放課後児童クラブの運営に対し、その費用の一部を補助します。			●	●						●	民間事業者5団体に対して、運営費補助を実施	民間事業者8団体に対して、運営費補助を実施	65,862	対象となる民間放課後児童クラブに対し、運営費の補助を適切に実施	子ども未来課	1, 2, 4, 16

基本目標1 すべての子ども・若者の成長を支援するまちの実現【子ども・若者支援】

施策目標2 知・徳・体のバランスのとれた子ども・若者をはぐむ教育環境づくり

基本施策3 家庭や地域における教育環境の充実

プラン No.	掲載 場所	区分	事業名	事業概要	対象者								令和2年度 取組内容・成果(見込み)	令和3年度 取組内容(予定)	令和3年度 当初予算額 (千円)	令和8年度末 目標値	担当課	SDGs 関連番号	
					乳幼児	小低	小高	中学	高校	青年	その他	保護者							
91	1-2(3) 1-4(3) 1-4(4) 3-1(4)	継続	学生スクールボランティア	学生スクールボランティアが教科指導や総合学習、特別支援教育、放課後の学習相談・あそび、日本語指導などにアシスタントとして参加することで、認定こども園、小・中学校の教育課程実施の充実を支援するとともに、教員志望者の開拓及び資質・能力の向上につなげる。			●	●						学生スクールボランティアが教科指導や総合学習、特別支援教育、放課後の学習相談・あそび、日本語指導などにアシスタントとして参加できるよう、HPを充実させるとともに、直接、地元の大学を定期的に訪問し、学生ボランティアの求人活動を展開する。35校に学生スクールボランティアを派遣した。	学生スクールボランティアが教科指導や総合学習、特別支援教育、日本語指導、中学校の部活動等にアシスタントとして参加できるように、HPを充実させるとともに、直接、地元の大学を定期的に訪問し、学生ボランティアの求人活動を展開する。小中学校の4割以上に派遣できることを目標とする。		小中学校の半数以上に派遣できるように教育委員会のHP等を通して広報活動に努める。	学校教育課	4
92	1-2(3)	継続	小学校のクラブ活動や放課後子ども教室への指導者の派遣	小学校のクラブ活動や放課後子ども教室へ、スポーツ推進委員等のスポーツ指導者を派遣します。			●	●						各区における年間派遣回数：5回	各区における年間派遣回数：3回		各区における年間派遣回数：3回（令和4年度にスポーツ推進計画の見直し等をする予定）	スポーツ振興課	3
再掲 (182)	1-2(3) 1-3(6)	継続	要・準要保護児童生徒扶助費交付事業	経済的理由により就学困難な児童生徒の保護者を対象に、学用品費や通学費、修学旅行費、給食費、医療費等の必要な援助を行います。			●	●					●	経済的理由により就学困難な児童生徒の保護者を対象に、学用品費や通学費、修学旅行費、給食費、医療費等の必要な援助を行います。	経済的理由により就学困難な児童生徒の保護者を対象に、学用品費や通学費、修学旅行費、給食費、医療費等の必要な援助を行います。	184,041 148,210	要綱等に基づき、要件を満たす児童・生徒に正確かつ確実に補助金を交付：100%	児童生徒支援課	1
93	1-2(3)	継続	遠距離通学費補助金交付事業	小学校4キロ(中山間地の小学校3キロ)、中学校6キロ(徒歩自転車の場合4キロ)を超えて通学する児童生徒の保護者を対象に補助金を交付します。									●	要綱等に基づき、交付要件を満たす児童・生徒に正確かつ確実に補助金を交付：100%	要綱等に基づき、交付要件を満たす児童・生徒に正確かつ確実に補助金を交付：100%	19,400	要綱等に基づき、交付要件を満たす児童・生徒に正確かつ確実に補助金を交付：100%	児童生徒支援課	4
再掲 (192)	1-2(3) 1-3(6)	継続	勤労者教育資金貸付金利子補給事業	市内に在住する勤労者の教育費の負担を軽減し、福祉の増進を図るため、県労働金庫が勤労者に貸し付ける教育資金貸付金に対して、利子補給を行います。									●	事業の適正な実施	事業の適正な実施	3,800	事業の適正な実施	商業労政課	1
再掲 (2)	1-1(1) 1-2(3)	継続	親子参加型教室等の開催	気楽に親子でスポーツをする機会をつくり、子どもの健全な心身の育成と向上心を高めるとともに、同世代の親の交流を図ることを目的として、各体育館、運動場、プール等を利用し、指定管理者主催によるスポーツ教室を開催します。			●	●					●	年16回開催 参加者数1,000人	年52回開催 参加者数7,980人	(指定管理料の一部)	年52回開催 参加者数7,980人 (令和4年度にスポーツ推進計画の見直し等をする予定)	スポーツ振興課	3
94	1-2(3)	継続	自転車安全教本による教育の推進	幼児期から小学校低学年を対象に自転車安全教本を配布し、子どもが初めて自転車に触れるところから一人で安全に乗れるようになるまで、保護者と一緒に楽しく学ぶことで家庭内教育の充実化を図り、自転車マナーの向上を目指します。			●	●					●	新3歳児の保護者に配布 ※認知度調査について、市立こども園に通う新3歳児の保護者に対し、実施中。また、令和3年3月に開催する自転車教室にて実施予定。	新3歳児の保護者に配布予定。イベント等における教本の配布、認知度調査を実施予定		自転車安全教本の認知度80%以上	交通政策課	3
95	1-1(2) 1-2(3)	継続	少年教室の開催への助成、運営支援	自然体験活動、地域体験活動を通して健全な青少年を育成し、また地域のリーダーを養成することを目的とした少年教室や少年いかだまつり事業への支援を行います。			●	●	●					4地区少年教室運営委員会が自然体験学習・地域体験活動等を実施。第36回少年いかだまつり(令和2年6月21日予定)は、新型コロナウイルス感染症の影響により、中止。	11地区少年教室運営委員会が自然体験学習・地域体験活動を実施。第37回少年いかだまつりを開催。(令和3年6月20日予定)	1,871	参加教室生数 年300人	青少年育成課	4

基本目標1 すべての子ども・若者の成長を支援するまちの実現【子ども・若者支援】

施策目標2 知・徳・体のバランスのとれた子ども・若者をはぐむ教育環境づくり

基本施策3 家庭や地域における教育環境の充実

プランNo.	掲載か所	区分	事業名	事業概要	対象者								令和2年度 取組内容・成果(見込み)	令和3年度 取組内容(予定)	令和3年度 当初予算額 (千円)	令和8年度末 目標値	担当課	SDGs 関連番号	
					乳幼児	小低	小高	中学	高校	青年	その他	保護者							
96	1-2(3)	継続	東海大学連携事業	東海大学との包括連携協定に基づき、地域の環境を題材とした自然観察会を実施します。		●	●	●					●	観察会開催：1回 ※海浜植物観察会、シロウオ観察会はコロナのため開催中止	海浜植物観察会、プランクトン観察会、シロウオ観察会の3回を実施	172	観察会開催：3回	環境創造課	4, 14, 15
97	1-1(1) 1-2(3)	継続	図書館事業	定例おはなし会や読み聞かせボランティアの活用など、子どものときから本の魅力を知るための事業やヤングアダルトの支援を目的とした事業等を実施します。 また、南部図書館、清水中央図書館の視聴覚ホールにおいて、青少年育成に役立つアニメ・劇映画の上映会などの事業を実施します。	●	●	●	●	●	●	●	●	●	全館で定例おはなし会を実施。各館担当者を中心にヤングアダルトの支援を目的とした事業等を実施。 南部図書館、清水中央図書館の視聴覚ホールにおいて、青少年育成に役立つアニメ・劇映画の上映会などの事業を実施。 (新型コロナウイルスの影響により一部中止)	全館で定例おはなし会を実施。各館担当者を中心にヤングアダルトの支援を目的とした事業等を実施。 南部図書館、清水中央図書館の視聴覚ホールにおいて、青少年育成に役立つアニメ・劇映画の上映会などの事業を実施。	820	市内全館(12館)で子育て・子ども・若者の育成を目的とした事業の実施継続	中央図書館	4
再掲 (242)	1-2(3) 1-4(3) 3-1(3)	継続	市政出前講座・静岡市の防災体制とわが家の地震対策	南海トラフ巨大地震の被害想定。また、居住する地域で発生が予想される自然災害の被害や対策などを具体的に講話することで「自助・共助」の重要性を理解させるため、学校等において地震対策・防災教育に関する教育プログラムを実施する際、関係機関と連携して講師等を派遣します。	●	●	●	●	●	●	●	●	●	市政出前講座の実施	市政出前講座の実施	1,491	年間230回実施	危機管理課	11, 13
98	1-2(3)	継続	学校出前講座「自分らしく生きよう」	性別による職業観などを題材に、ジェンダーバイアス(社会的・文化的な性に関する偏見・差別)を超えて、お互いの違いを認め合い、自分の才能を生かす力を身につけることを目的とした講座を行います。		●								小学校3校実施予定	小学校3校実施予定	112	毎年度3校程度実施	男女共同参画課	5
99	1-2(3)	継続	ユニバーサルデザイン出前講座	小中学生を対象に、ユニバーサルデザインを楽しみながら学ぶ機会をつくり、その体験を通して、ユニバーサルデザインへの興味を高め、様々な人を思いやる気持ちを育てます。	●	●	●							講座受講者 1729人	講座受講者 500人以上	125	小中学校教師にもユニバーサルデザインの理解を促進し、ユニバーサルデザイン教育を充実させる。	建築総務課	4
100	1-2(3)	継続	福祉教育事業	静岡市社会福祉協議会が行う、「学校における福祉教育支援事業」に対し、補助金を交付し、福祉講演会や高齢者・障がいのある人との交流活動など幅広く福祉教育学習の機会を提供することで、児童生徒が実践を通して社会福祉への理解と関心を高め、社会連帯の精神を養います。	●	●	●					●		適切な補助金の交付 ※市社協としての取組内容：学校の福祉教育支援の一環として、学校からの個別の相談に対応し、担当教諭向け研修会の実施、助成金の交付、福祉教育プログラムの提案や講師の紹介等を積極的に行う	適切な補助金の交付 ※市社協としての取組内容：学校の福祉教育支援の一環として、学校からの個別の相談に対応し、担当教諭向け研修会の実施、助成金の交付、福祉教育プログラムの提案や講師の紹介等を積極的に行う	(157,292の一部)	適切な補助金の交付 ※市社協としての事業目標：対象者アンケートでの満足度80%	福祉総務課	4
101	1-2(3)	継続	地場産品体験学習事業	市内の小学校に在籍する児童が、授業の一環として「駿府匠宿」で創作体験学習を行った場合、体験料を補助します。	●	●								事業の啓発及び補助金の交付 体験学習申込児童数：市立小学校に在籍する総児童数を6で除した人数の61%	事業の啓発及び補助金の交付 体験学習申込児童数：市立小学校に在籍する総児童数を6で除した人数の62%	6,879	体験学習申込児童数：市立小学校に在籍する総児童数を6で除した人数の67%	産業政策課 (産業振興課)	4

基本目標1 すべての子ども・若者の成長を支援するまちの実現【子ども・若者支援】

施策目標2 知・徳・体のバランスのとれた子ども・若者をはぐむ教育環境づくり

基本施策3 家庭や地域における教育環境の充実

プラン No.	掲載 場所	区分	事業名	事業概要	対象者								令和2年度 取組内容・成果(見込み)	令和3年度 取組内容(予定)	令和3年度 当初予算額 (千円)	令和8年度末 目標値	担当課	SDGs 関連番号	
					乳幼児	小低	小高	中学	高校	青年	その他	保護者							
102	1-2(3)	拡充	ものづくり教育推進事業	①市内小学校に通う児童を対象に静岡市を代表する地場産業であるプラモデルをテーマに出前授業(座学+工作体験)を行います。 ②「静岡ホビーショー」の小中高校生招待日において、市内小学校に通う児童の参加について支援します。										①出前授業(小学生600人)を実施。 ②新型コロナウイルス感染拡大防止のため、「静岡ホビーショー」の開催を中止した。	①出前授業12校(小学生900人)を実施。 ②小学生(2,000人)に対して静岡ホビーショー小中高校生招待日への参加を支援。	4,330	①出前授業を受けた小学生600人(令和2年度に事業の継続・見直し等を判断する予定) ②静岡ホビーショー小中高校生招待日に参加した小学生4,000人(令和3年度に事業の継続・見直し等を判断する予定)	産業振興課	4、17
103	1-2(3)	継続	オクシズの森林体感！事業(出張林業教室)	市内小学校等において、森林整備・製材業・建築業に携わる現場の人を講師に招き、それぞれの業種について講義を行います。また、適宜ICTを用いた授業を行うことにより、教室にいながら現場の臨場感を伝えられる体感型の授業を実施します。										教室開催 4回	教室開催 10回	2,550	教室開催 累計70回	中山間地振興課	15
104	1-2(3)	継続	小中学校での水素エネルギー出前授業の実施	市内小中学校での水素エネルギーの普及啓発をテーマとした出前授業を実施します。										3クラス開催	3クラス開催	0	年3クラス開催	環境創造課	4、7、13
105	1-2(3)	継続	清掃工場施設見学	沼上・西ヶ谷清掃工場の施設見学において、廃棄物処理の仕組み及び廃棄物行政について教育を実施します。										市内小学校に通う4年生児童(3,498人)の社会科授業における施設見学等の受入を行った。	市内小学校に通う4年生児童(6,000人)の社会科授業における施設見学等の受入を行う。	—	年間見学者数:6,000人	廃棄物処理課	4
106	1-2(3)	継続	ごみ減量啓発講座	沼上資源循環学習プラザでのごみ減量・リサイクルに関する講座や沼上清掃工場の見学を通し、次世代を担う子ども達に、総合的な環境学習を実施します。										市内小学校に通う4年生児童(3,483人)の社会科授業における施設見学として受入を行う見込み。(コロナウイルス感染症対策により来館できない学校には、出前授業を行った。)児童満足度は96%の見込み。	市内小学校に通う4年生児童(6,000人)の社会科授業における施設見学として受入を行う。	静岡市資源循環啓発施設指定管理業務(57,743千円)の一部	児童向け環境学習の理解度100%	ごみ減量推進課	12
107	1-2(3)	継続	環境学習指導員派遣事業	学校や市民団体等が実施する環境学習会や自然観察会等に対して、環境学習指導員を派遣し、市民の環境保全意識の向上を図ります。										派遣指導員数:133人	派遣指導員数:200人	2,467	派遣指導員数:200人	環境創造課	4、7、12、14、15
再掲(41)	1-1(2) 1-2(3) 1-4(1)	継続	南アルプスユネスコエコパーク井川自然の家自然体験活動(主催事業の実施)	自然の素晴らしさや厳しさにふれながら、自然環境の中で集団訓練、野外活動、自然探求等を通じて豊かな情操を培い、健全な心身の育成を図るもので、自然の家が主催する体験活動を行います。										新型コロナウイルス感染症対策を実施しながら、小・中学生対象事業と家族・グループ対象事業を合わせて15回実施予定。指導者育成事業は、新型コロナウイルス感染症の影響により全講座中止した。事業参加者の満足度:100%	参加者の声を基に、小・中学生対象事業と家族・グループ対象事業を合わせて19回実施予定。また、指導者育成事業の取り組みを強化し、フォローアップ研修等を計画しており、5回実施予定。	6,074	参加者の満足度100%	教育総務課	4
再掲(42)	1-1(2) 1-2(3) 1-4(1)	継続	南アルプスユネスコエコパーク井川自然の家自然体験活動(利用者受入れ)	自然の素晴らしさや厳しさにふれながら、自然環境の中で集団訓練、野外活動、自然探求等を通じて豊かな情操を培い、健全な心身の育成を図るもので、小中学校が主体となる、宿泊訓練や、その他団体による自然体験活動を行います。										利用者に対し、安心・安全な施設運営を行い、計画的に利用者を受け入れた。 新型コロナウイルス感染症対策として、定員の縮小や施設内の定期消毒等を行った。 延べ利用者数:6,000人	利用者に対し、安心・安全な施設運営を行い、計画的に利用者を受け入れ、利用者数の増加を図っていく。	41,049	年間延べ利用者数:18,000人	教育総務課	4

基本目標1 すべての子ども・若者の成長を支援するまちの実現【子ども・若者支援】

施策目標2 知・徳・体のバランスのとれた子ども・若者をはぐくむ教育環境づくり

基本施策3 家庭や地域における教育環境の充実

プランNo.	掲載か所	区分	事業名	事業概要	対象者								令和2年度 取組内容・成果(見込み)	令和3年度 取組内容(予定)	令和3年度 当初予算額 (千円)	令和8年度末 目標値	担当課	SDGs 関連番号		
					乳幼児	小低	小高	中学	高校	青年	その他	保護者								
108	1-2(3)	継続	森林教室(自然ウォッチング)	森林インストラクターと共に観察路を歩き、樹木や動植物について説明を受けながら自然を楽しみ、森林の働きを学びます。 小学生以上一般市民40人(一般公募)		●	●	●	●	●	●	●	●	●	新型コロナの影響により中止	1回開催 40人参加	320	累計7回開催 累計280人	中山間地振興課	15
109	1-2(3)	継続	森林教室(自然観察会)	高山・市民の森園内で植物観察とクラフトを中心に季節に応じた内容の森林教室を開催します。		●	●	●	●	●	●	●	●	●	教室開催 4回	教室開催 6回	2350の一部	教室開催 累計42回	中山間地振興課	15
110	1-2(3)	継続	森林教室(昆虫観察会)	高山・市民の森園内で昆虫観察を中心に季節に応じた内容の森林教室を開催します。		●	●	●	●	●	●	●	●	●	教室開催 6回	教室開催 6回	2350の一部	教室開催 累計42回	中山間地振興課	15
111	1-2(3)	継続	森林教室(しいたけ種駒打教室)	椎茸の知識を深めてもらい、実際にコナラ等原木の玉切り、種駒打ちを体験します。		●	●	●	●	●	●	●	●	●	教室開催 2回	教室開催 2回	2350の一部	教室開催 累計14回	中山間地振興課	15
112	1-2(3) 1-4(1)	拡充	自然と環境学習の情報サイト「しずおかみんなのしぜんたんけんてちょう」	静岡市の生き物やそれらの発見場所、地域の自然環境、行政や市民団体等が実施するイベントや環境教育事業などの情報を発信し、市民の環境保全意識の向上を図ります。			●	●	●	●	●	●	●	●	年間PV(ページビュー)数:39,000件	年間PV(ページビュー)数:40,000件 ※第2次生物多様性地域戦略の改定にあわせ、トップページを改修	599	年間PV数:36,000件	環境創造課	14, 15
113	1-2(3)	継続	租税教育	税務署(静岡・清水)に申込みをした市内小学校等に税務関係課職員を講師として派遣し、児童・生徒を対象とした租税教室を実施します。 (実施時期:通年)			●	●	●						市内小学校5校・18クラス・522人を対象に租税教室を実施 市担当分の実施率100%	児童・生徒を対象とした租税教室の実施	—	租税教室(市担当分)の実施率100%	税制課	4
114	1-2(3)	継続	「早寝・早起き・朝ごはん」運動	静岡市の学校及び子どもの課題の一つである「規則正しい生活リズムをつくる」ために、「早寝・早起き・朝ごはん」国民運動に取り組み、健康的で明るい学校づくりと健やかな子どもの育成を推進します。重点的に取り組む学校として小学校5校を指定し、その成果を静岡市全体に示し、より実効性ある取り組みを推進します。		●	●							●	● 教育実践推進校として5校を指定する。	教育実践推進校として5校を指定する。	75 (学校教育課)	全小学校を推進校とする。 (令和4年度で終了予定)	学校教育課 教育センター	4
115	1-2(3)	継続	食の安全教室(食の安全対策推進事業)	関係各課職員や関係機関職員が学校に向き、小学校等を対象とした食の安全教室を開催し、食中毒の予防、食品の表示、健康食品など食の安全に関する正しい情報等の周知啓発を図ります。			●	●							食の安全教室 1回実施 休校等の影響や、感染症対策を十分に行えなかったため、ほとんどの教室が中止になった。	食の安全教室 20回程度実施	303	食の安全教室 25回程度実施	食品衛生課	4
116	1-2(3)	継続	「まちは劇場」推進事業 まちは劇場コンサート事業 学校訪問コンサート	児童・生徒の音楽に対する理解及び関心を高め、青少年の情操教育に資するため、小中学校を訪問し、生演奏を気軽に鑑賞することができる機会を提供します。		●	●	●						●	● 年間実施回数:6回	年間実施回数:6回	23,369千円の一部	年間実施回数:8回	文化振興課 (まちは劇場推進課)	4
117	1-2(3)	継続	オーケストラ鑑賞事業	次世代を担う子どもたちの感性を養うために、本物のオーケストラを鑑賞できる機会を提供します。			●	●							令和3年1月21日(木) 静岡市民文化会館にて2公演実施	令和4年1月20日(木) 静岡市民文化会館にて1公演実施	26,265千円の一部	年2公演実施	文化振興課	4

基本目標1 すべての子ども・若者の成長を支援するまちの実現【子ども・若者支援】

施策目標2 知・徳・体のバランスのとれた子ども・若者をはぐくむ教育環境づくり

基本施策3 家庭や地域における教育環境の充実

プランNo.	掲載か所	区分	事業名	事業概要	対象者								令和2年度 取組内容・成果(見込み)	令和3年度 取組内容(予定)	令和3年度 当初予算額 (千円)	令和8年度末 目標値	担当課	SDGs 関連番号	
					乳幼児	小低	小高	中学	高校	青年	その他	保護者							
118	1-2(3)	継続	子どものための音楽ひろば	学校での学年の枠を取り払ったクラスで行う総合音楽講座を実施します。各専門家(合唱・楽器奏法・演劇等)を講師に迎え、多分野にわたる体験をさせ、修了発表会を行います。(静岡音楽館事業)				●	●					新型コロナウイルス感染症の影響により全24回の講座を中止	講座を全24回実施	218,150 (指定管理料の一部)	継続して実施予定	文化振興課	4
再掲 (228)	1-2(3) 1-4(2)	継続	オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業	市内の小中高等学校にオリンピック・パラリンピック教育を推進するために、推進校を指定し、展開します。		●	●	●	●				実践推進校16校を募集する。	令和2年度で国の事業が一旦終了するので、新たに令和3年度の国の事業に募集する。市内実践推進校15校を募集する。	3,856千円 (センター:918千円 交流課:2,938千円)	実践推進校16校を募集する。 (国の同事業にあわせ、令和2年度で終了予定)	教育センター スポーツ交流課	4	
119	1-2(3)	継続	エスパルス教育サポート事業「エスプラス」(旧「エスパルスドリーム教室」)	本市のシンボルである清水エスパルスや大学と協働した静岡版の魅力ある授業づくりを推進し、子どもたちの学習への興味や関心を高めるとともに、心身の健全育成を図ります。					●				市内小学校10校で実施	市内小学校10校程度で実施	—	市内小学校20校程度で実施	スポーツ交流課	4, 11, 17	
再掲 (226)	1-2(3) 1-4(2)	継続	JFAこころのプロジェクト「夢の教室」	JFAから派遣される様々な競技のスポーツ選手を夢先生として講師に迎え、夢先生の体験談をもとに、夢を持つことの素晴らしさ、それに向かって努力することの大切さを子どもたちに伝える授業を実施します。						●			市内小学校3クラスで実施 ※実施はクラス単位	市内小学校5クラス程度での実施 ※実施はクラス単位	834	市内小学校5クラス程度での実施	スポーツ交流課	4, 11, 17	
再掲 (354)	1-4(1) 1-2(3)	新規	高山植物保護セミナー	市内の高校山岳部・登山部を対象に、南アルプスユネスコエコパークの豊かな自然や地域の文化を学ぶ「高山植物保護セミナー」を開催し、将来の自然保護や文化の伝承等の担い手育成を図ります。									(R3新規)	・事前学習会(7月上旬) ・現地体験セミナー(8月中旬) ・事後学習会(12月中旬) 全3回での実施を予定	1,507	現地体験学習を含めた高山植物保護セミナーの実施	環境創造課	4、15	
再掲 (355)	1-4(1) 1-2(3)	新規	南アルプスユネスコエコパーク学習ハンドブックの配布	静岡市内の全小学3年生を対象に環境学習ハンドブック「しずおかの宝南アルプスユネスコエコパーク」を配布し、静岡市が世界に認められた財産である南アルプスやユネスコエコパークの学習を促進します。									(R3新規)	市内の全小学3年生へ配布 (5,500部程度)	209	市内の全小学3年生へ配布	環境創造課	4, 15	

基本目標1 すべての子ども・若者の成長を支援するまちの実現【子ども・若者支援】

施策目標3 困難を抱えた子ども・若者を支える環境づくり

基本施策1 虐待を受けている児童など配慮を必要とする子ども・若者とその家庭への支援

プラン No.	掲載 場所	区分	事業名	事業概要	対象者								令和2年度 取組内容・成果(見込み)	令和3年度 取組内容(予定)	令和3年度 当初予算額 (千円)	令和8年度末 目標値	担当課	SDGs 関連番号		
					乳幼児	小低	小高	中学	高校	青年	その他	保護者								
【重点事業】																				
120	1-3(1) 1-3(6)	継続	児童相談所の運営	児童相談所において、家庭や地域、その他機関等から、子どもに関する様々な相談に応じるとともに、子どもが抱える問題や環境を的確に捉え、社会的養護が必要であると判断した場合、対象となる子どもに対して措置を行うなど、必要に応じた対応を行います。また、児童相談所職員の資質向上を図るため、アドバイザー等を活用し、人材育成に取り組みます。	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	・「子どもの最善の利益」のために相談内容に応じた診断及び指導等の100%実施 ・児童虐待を疑われる場合の48時間以内の安否確認100%実施	・「子どもの最善の利益」のために相談内容に応じた診断及び指導等の100%実施 ・児童虐待を疑われる場合の48時間以内の安否確認100%実施	45,206	・「子どもの最善の利益」のために相談内容に応じた診断及び指導等の100%実施 ・児童虐待を疑われる場合の48時間以内の安否確認100%実施	児童相談所	16
121	1-3(1) 1-3(6)	継続	要保護児童対策地域協議会の運営	要保護児童の早期発見や適切な保護を図るため、関係機関が子どもやその保護者に関する情報交換や考え方を共有するとともに、関係機関の支援内容や役割分担などの協議を行います。	●	●	●	●	●	●	●	●	●	代表者会議:1回 実務者会議:45回 個別ケース検討会議:随時	代表者会議:1回 実務者会議:45回 個別ケース検討会議:随時	541	代表者会議:1回 実務者会議:45回 個別ケース検討会議:随時	子ども家庭課	16, 17	
122	1-3(1) 1-3(6)	継続	里親委託と里親支援(家庭的養育の推進)	保護者の不在や虐待等により、家庭で養育できない子どもをできる限り家庭的な環境で養育できるよう、里親への委託を推進するため、里親家庭支援センターと連携し、新規里親の開拓、マッチング、相談支援などを行います。	●	●	●	●	●	●	●	●	●	・里親委託率50%以上(全国第一位の達成) ・里子の心身の発達等に関する評価の実施100%	・里親委託率50%以上(全国第一位の達成) ・里子の心身の発達等に関する評価の実施100%	27,076	・里親委託率50%以上 ・里子の心身の発達等に関する評価の実施100%	児童相談所	16	
123	1-3(1)	継続	児童福祉施設整備等補助金(家庭的養育の推進)	社会的養育推進計画に基づき、社会的養育を必要とする児童が、できる限り良好な家庭的環境で生活することができるような施設の整備を行う事業者に対して補助金を交付します。									●	施設整備に向けて検討を進める	児童養護施設静岡ホームが実施する地域小規模児童養護施設2か所(2、3か所目)の整備事業に対する助成	55,686	地域小規模児童養護施設及び分園型小規模グループケア5か所	子ども家庭課	16	
【関連事業】																				
再掲 (290)	1-3(1) 1-3(6) 2-1(2)	継続	家庭児童相談室の運営	各福祉事務所に家庭児童相談室を設置し、子どもに関する様々な問題について、子ども、家庭又は地域住民などからの相談に応じ、必要な助言を行います。	●	●	●	●	●	●	●	●	●	必要な対象者への完全実施	必要な対象者への完全実施	578	必要な対象者への完全実施	子ども家庭課	16	
再掲 (291)	1-3(1) 2-1(2)	継続	子育て短期支援事業★	育児疲れ・育児不安等の解消、児童の虐待防止及び子育て家庭への支援を図るため、児童福祉施設等において短期入所を実施します。	●	●	●	●	●	●	●	●	●	延べ利用日数:131人日 実施施設:3か所	延べ利用日数:175人日 実施施設:3か所	1,284	延べ利用日数:252人日 実施施設:3か所	子ども家庭課	5	
124	1-3(1)	継続	婦人保護事業	配偶者等からのDV被害女性について、その相談に対し、助言や指導を行い、状況に応じて女性及び同伴児を保護します。	●	●	●	●	●	●	●	●	●	DV被害女性の相談に対し、助言や指導を行い、状況に応じて女性及び同伴児の保護を行う。	DV被害女性の相談に対し、助言や指導を行い、状況に応じて女性及び同伴児の保護を行う。	377	DV被害女性及び同伴児の安全の確保及び自立への支援の適切な実施	福祉総務課	5	
125	1-3(1) 1-3(6)	継続	要保護児童への自立支援	児童養護施設に入所措置又は里親に委託措置をされた子どもの大学等への進学に必要な学費、教科書代等や就労等の自立に際しての住居の借上げ、運転免許の取得等に必要な経費を助成します。	●	●	●	●	●	●	●	●	●	・対象児童への支援実施率100% ・措置児童高校卒業後の進路決定率100%	・対象児童への支援実施率100% ・措置児童高校卒業後の進路決定率100%	19,315	・対象児童への支援実施率100% ・措置児童高校卒業後の進路決定率100%	児童相談所	16	

基本目標1 すべての子ども・若者の成長を支援するまちの実現【子ども・若者支援】

施策目標3 困難を抱えた子ども・若者を支える環境づくり

基本施策1 虐待を受けている児童など配慮を必要とする子ども・若者とその家庭への支援

プラン No.	掲載 か所	区分	事業名	事業概要	対象者								令和2年度 取組内容・成果(見込み)	令和3年度 取組内容(予定)	令和3年度 当初予算額 (千円)	令和8年度末 目標値	担当課	SDGs 関連番号	
					乳 幼 児	小 低	小 高	中 学	高 校	青 年	そ の 他	保 護 者							
126	1-3(1)	継続	児童虐待防止「オレンジ ボンキャンペーン」の実施	市民が児童虐待問題に関心を持ち、児童虐待の早期発見・未然防止への機運を高めるために、Jリーグ清水エスパルス等との連携による児童虐待防止啓発活動を実施します。									●●	啓発イベント等の実施	啓発活動の実施	1,120	啓発イベント等の実施	子ども家庭課	16

基本目標1 すべての子ども・若者の成長を支援するまちの実現【子ども・若者支援】

施策目標3 困難を抱えた子ども・若者を支える環境づくり

基本施策2 発達の遅れや障がいのある子ども・若者とその家庭への支援

プランNo.	掲載か所	区分	事業名	事業概要	対象者								令和2年度 取組内容・成果(見込み)	令和3年度 取組内容(予定)	令和3年度 当初予算額 (千円)	令和8年度末 目標値	担当課	SDGs 関連番号							
					乳幼児	小低	小高	中学	高校	青年	その他	保護者													
【重点事業】																									
127	1-3(2) 1-3(6)	継続	発達障害者支援センター運営事業	発達障がいのある人への支援を専門に行う拠点として、発達障がいに関する各般の問題について本人又は家族からの相談に応じ、適切な指導又は助言を行うとともに、研修等を通して関係機関等との連携を図ります。	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	①相談支援:870件 ②発達支援:1,050件 ③就労支援:100件 ④巡回支援回数:100件	①相談件数:2,700件 ②巡回支援回数:100件 ③ペアレントメンター養成研修修了者:85人	39,152	①相談支援:870件 ②発達支援:1,050件 ③就労支援:100件 ④巡回支援回数:100件	障害福祉企画課	3, 4	
128	1-3(2)	継続	自立支援給付事業	障害者総合支援法に基づき、障がい者が自立した日常生活又は社会生活を営むことができることを目的に、障害福祉サービスの利用に係る給付費を支給します。	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	利用者に対して適切に支給を行う 居宅介護 延べ10,643人 同行援護 延べ1,580人 行動援護 延べ50人 短期入所 延べ2,643人 (注) ・障がい者と障がい児を合わせた数 ・利用人数は予想値	利用者に対して適切に支給を行う 居宅介護 延べ10,643人 同行援護 延べ1,580人 行動援護 延べ50人 短期入所 延べ2,643人 (注) ・障がい者と障がい児を合わせた数 ・利用人数は予想値	12,005,799	利用者に対して適切に支給を行い、必要なサービス提供に努めていく。	障害者支援推進課	3	
129	1-3(2)	継続	発達早期支援事業	発達の気になる子について、支援の必要性を見極め、その子にあった支援の場につなげる「アセスメントの場」及び継続的に支援を必要とする子を受入れる「二次支援の場」を、各区に整備し発達早期支援体制の構築を図っていきます。	●														アセスメントの場:6か所 二次支援の場:6か所	アセスメントの場:6か所 二次支援の場:6か所	15,707	アセスメントの場:9か所 二次支援の場:9か所	子ども家庭課 障害福祉企画課	3	
130	1-3(2)	継続	児童発達支援センターの運営	障がい児に対する療育指導及び親への療育相談等を実施する静岡市心身障害児福祉センター「いこいの家」を運営します。	●														利用者アンケートの満足度80%以上	利用者アンケートの満足度80%以上	59,828	利用者アンケートの満足度80%以上	障害福祉企画課	3, 4	
131	1-3(2)	継続	母子療育訓練センターの運営	障がいのある子ども及び保護者に対し、通園の場を設けて適切な療育、訓練や指導などを実施する「静岡市清水うみのこセンター」を運営します。	●														利用者アンケートの満足度80%以上	利用者アンケートの満足度80%以上	38,028	利用者アンケートの満足度80%以上	障害福祉企画課	3, 4	
132	1-3(2) 1-3(6)	継続	児童発達支援事業	障がい児に対し、日常生活における基本的な動作の指導、知識技能の付与、集団生活への適応訓練などの療育を行うとともに、障がい児の家族に対して支援を行います。	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	利用者に対して適切に支給を行う 延べ利用人数(予想) 5,795人	利用者に対して適切に支給を行う 延べ利用人数(予想) 6,589人	933,924	利用者に対して適切に支給を行い、必要なサービス提供に努めていく。	障害者支援推進課	4
133	1-3(2) 1-3(6)	継続	放課後等デイサービス	学校通学中の障がい児に対して、放課後や夏休み等の長期休暇中において、生活能力向上のための訓練等を継続的に提供することにより、障がい児の自立を促進するとともに、放課後等の居場所を提供します。	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	利用者に対して適切に支給を行う 延べ利用人数(予想) 20,129人	利用者に対して適切に支給を行う 延べ利用人数(予想) 22,887人	3,145,022	利用者に対して適切に支給を行い、必要なサービス提供に努めていく。	障害者支援推進課	4
134	1-2(2) 1-3(2)	拡充	特別支援教育推進事業	小・中学校に対し、特別支援教育支援員の配置や臨床心理士等からなる巡回相談員の派遣を行い、支援を必要とする児童生徒への支援や小・中学校の校内支援体制の充実を推進します。	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	小・中学校に支援員を219人配置。巡回相談を141回実施。	小・中学校に支援員を226人配置。巡回相談を150回程度実施。	178,495	小・中学校に200人以上の支援員を配置、巡回相談を150回以上実施。	学校教育課 (特別支援教育センター)	4

基本目標1 すべての子ども・若者の成長を支援するまちの実現【子ども・若者支援】

施策目標3 困難を抱えた子ども・若者を支える環境づくり

基本施策2 発達の遅れや障がいのある子ども・若者とその家庭への支援

プラン No.	掲載 場所	区分	事業名	事業概要	対象者								令和2年度 取組内容・成果(見込み)	令和3年度 取組内容(予定)	令和3年度 当初予算額 (千円)	令和8年度末 目標値	担当課	SDGs 関連番号	
					乳幼児	小低	小高	中学	高校	青年	その他	保護者							
135	1-2(2) 1-3(2)	継続	障がいのある幼児児童生徒への就学支援	特別支援相談員が、在籍園・校等を訪問し、就学に関わる相談を行います。さらに、就学支援委員会で障がいのある幼児児童生徒の就学先について審議し、適正な就学につなげます。	●	●	●	●					●	就学に関わる相談件数1,163件。就学支援委員会を年間3回開催。審議件数2,162件。	就学に関わる相談件数1,000件以上。就学支援委員会を年間3回開催。審議件数1,500件以上。	541	就学に関わる相談件数1,000件以上。就学支援委員会を年間3回開催。審議件数1,500件以上。	学校教育課 (特別支援教育センター)	4
352	1-3(2)	新規	市立こども園医療的ケア児受入事業	障がいの有無に関わらず、全ての子どもが共に学び、成長できるようインクルーシブ保育を推進するため、市立こども園で集団保育が可能な医療的ケア児を受入れる。	●									(R3新規)	医療的ケア児を受入れる予定	14,609	集団保育が可能な医療的ケア児を受入れる。	こども園課	4
353	1-1(1) 1-2(1) 1-3(2)	新規	私立こども園・保育所等特別支援保育事業	障がい児や医療的ケア等の支援が必要な乳幼児が円滑に教育・保育施設を利用できるよう、私立こども園・保育所等の受入れ体制を支援する。	●								●	(R3新規)	①特別支援保育に係る職員支援事業 障害児保育に係る保育士及び医療的ケア児に係る看護師の人員費を助成する。 計148園(こども園49、保育所55、小規模44) ②巡回支援事業 発達が気になる幼児がいる私立こども園や保育所等をアドバイザーが巡回し、園児との関わり方等について、相談・助言を行う。 計99園(こども園49、保育所50)	271,502	特別な支援を必要とする子どもが円滑に教育・保育を受けることができる体制の確保	幼保支援課	4
【関連事業】																			
136	1-3(2)	継続	相談支援事業	障がいのある人等が障害福祉サービスを利用しつつ、その有する能力や適性に応じ、自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、本人又はその家族からの相談に応じ、必要な情報の提供や助言その他必要な支援を行います。	●	●	●	●	●	●	●	●	●	実施機関：11か所	実施機関：11か所	208,918	実施機関：11か所	障害福祉企画課 精神保健福祉課	3, 4
137	1-3(2)	継続	発達障害者支援体制整備事業	発達障害者支援体制の実態を把握した上で、今後の発達障害者支援の在り方を検討すること等により、乳幼児期から成人期までの一貫した支援体制の整備を図るとともに、発達障害についての理解啓発を図ります。	●	●	●	●	●	●	●	●	●	発達障害者支援体制整備検討委員会開催：2回 巡回支援専門員の派遣 ペアレントメンターの活用 相談支援ファイル配布、活用 発達障害者支援実態調査の実施	発達障害者支援体制整備検討委員会開催：2回 巡回支援専門員の派遣 ペアレントメンターの活用 相談支援ファイル配布、活用 発達障害者支援実態調査の実施	18,559	発達障害者支援体制整備検討委員会開催：2回 巡回支援専門員の派遣 ペアレントメンターの活用 相談支援ファイル配布、活用 発達障害者支援実態調査の実施	障害福祉企画課	3, 4
138	1-3(2)	継続	静岡市特別支援連携協議会	福祉、教育、保健、医療、労働等の関係機関相互の連携を深め、情報の一元化を図ることにより、特別な支援を要する人に対する総合的な相談及び支援、地域での一貫した相談及び支援体制の構築を目指します。	●	●	●	●	●	●	●	●	●	協議会本会議を2回開催予定。 作業部会(早期支援部会、教育支援部会、自立支援部会)を各2回開催。	協議会本会議を2回開催。作業部会(早期支援部会、教育支援部会、自立支援部会)を各2回開催。	—	協議会本会議を2回開催。作業部会(早期支援部会、教育支援部会、自立支援部会)を各2回開催。	学校教育課 (特別支援教育センター)	4

基本目標1 すべての子ども・若者の成長を支援するまちの実現【子ども・若者支援】

施策目標3 困難を抱えた子ども・若者を支える環境づくり

基本施策2 発達の遅れや障がいのある子ども・若者とその家庭への支援

プラン No.	掲載 場所	区分	事業名	事業概要	対象者								令和2年度 取組内容・成果(見込み)	令和3年度 取組内容(予定)	令和3年度 当初予算額 (千円)	令和8年度末 目標値	担当課	SDGs 関連番号
					乳幼児	小低	小高	中学	高校	青年	その他	保護者						
139	1-3(2)	継続	日中一時支援事業	障がいのある人の一時的な見守りその他支援のため、日中の施設利用に対する費用の一部を助成します。	●	●	●	●	●	●			障がいのある人の一時的な見守りその他支援のため、日中の施設利用に対する費用の一部を助成する。また、事業所登録申請受付をその都度行う。	障がいのある人の一時的な見守りその他支援のため、日中の施設利用に対する費用の一部を助成する。また、事業所登録申請受付をその都度行う。	21,600	利用者延べ人数/年:1,600人 事業所登録:随時	障害者支援推進課	3
140	1-3(2)	継続	幼児言語指導事業	言語の発達に課題がある幼児に対して言語指導等を行い、小学校へのスムーズな就学を図ります。	●								市内6か所の教室で、年間620人の幼児に対し、言語指導等を実施。	市内6か所の教室で、年間600人の幼児に対し、言語指導等を行う。	3,368	市内6か所の教室で、年間600人以上の幼児を指導。	学校教育課 (特別支援教育センター)	4
141	1-3(2)	継続	障がい児保育事業	専門家による気になる子への巡回相談や保育士を対象とした障がい児保育のための専門知識と保育技術の向上のための研修を行い、質の高い障がい児保育を実施します。	●								公私立こども園・私立保育園における専門家の巡回及び保育教諭等を対象とした、障がい児保育に係る専門知識並びに保育技術の向上のための研修等を実施する。 ・専門家による巡回:公私立48回 ・障がい児研修:8回	公私立こども園・私立保育園における専門家の巡回及び保育教諭等を対象とした、障がい児保育に係る専門知識並びに保育技術の向上のための研修等を実施する。 ・専門家による巡回:公私立50回 ・障がい児研修:8回	816	公私立こども園・私立保育園における専門家の巡回及び保育教諭等を対象とした、障がい児保育に係る専門知識並びに保育技術の向上のための研修等を実施する。 ・専門家による巡回:公私立38回 ・障がい児研修:8回	こども園課	4
再掲 (66)	1-2(1) 1-3(2)	継続	多様な主体の参入促進事業〔特別教育・保育経費〕★	私立認定こども園での健康面や発達面において特別な支援が必要な子どもの受け入れを促進するため、当該児童を2人以上受け入れる私立認定こども園の設置者に対して、職員の加配に必要な費用の一部を助成します。	●								当該児童を2人以上受入れた施設がないため0件(見込)	対象となる施設への確実な補助(100%)	—	対象となる施設への確実な補助(100%)	幼保支援課	4
142	1-3(2)	継続	保育所等訪問支援	障がい児施設で指導経験のある児童指導員や保育士が、保育所などを2週間に1回程度訪問し、障がい児や保育所などのスタッフに対し、障がい児が集団生活に適応するための専門的な支援を行います。	●	●	●	●	●				利用者に対して適切に支給を行う 延べ利用人数(予想) 171人	利用者に対して適切に支給を行う 延べ利用人数(予想) 194人	8,634	利用者に対して適切に支給を行い、必要なサービス提供に努めていく。	障害者支援推進課	4
再掲 (164)	1-2(2) 1-3(2) 1-3(3) 1-3(5) 1-3(6) 3-1(4)	継続	スクールカウンセリング事業	いじめ、不登校又は問題行動など、児童生徒の心の問題に対応するため、スクールカウンセラーや教育相談員を小中高等学校に配置し、児童生徒、保護者などへの相談活動を実施します。		●	●	●					スクールカウンセラー 40人 小学校は週4、中学校は週8時間 高等学校は隔週4時間 教育相談員 33人 生徒数200人以上の中学校に1日5時間×週3日	スクールカウンセラー 40人 小学校は週4、中学校は週8時間 高等学校は4時間×月3回 教育相談員 39人 生徒数200人以上の小中学校に1日5時間×週3日	101,591	スクールカウンセラー 40人 小学校は週4、中学校は週8時間 高等学校は隔週4時間 教育相談員 33人 生徒数200人以上の中学校に1日5時間×週3日	児童生徒支援課 教育総務課	4

基本目標1 すべての子ども・若者の成長を支援するまちの実現【子ども・若者支援】

施策目標3 困難を抱えた子ども・若者を支える環境づくり

基本施策2 発達の遅れや障がいのある子ども・若者とその家庭への支援

プラン No.	掲載 場所	区分	事業名	事業概要	対象者								令和2年度 取組内容・成果(見込み)	令和3年度 取組内容(予定)	令和3年度 当初予算額 (千円)	令和8年度末 目標値	担当課	SDGs 関連番号
					乳幼児	小低	小高	中学	高校	青年	その他	保護者						
143	1-2(2) 1-3(2)	継続	特別支援教育就学奨励費補助金交付事業	特別支援学級へ就学する児童生徒を養育する保護者の経済的負担を軽減するため、補助金を交付します。		●	●	●				●	特別支援学級へ就学する児童生徒を養育する保護者の経済的負担を軽減するため、補助金を交付します。法令・交付要綱等に基づき、対象となる児童・生徒に適切に補助金を交付する。	特別支援学級へ就学する児童生徒を養育する保護者の経済的負担を軽減するため、補助金を交付します。法令・交付要綱等に基づき、対象となる児童・生徒に適切に補助金を交付する。	37,979	要綱等に基づき、要件を満たす児童・生徒に正確かつ確実に補助金を交付:100%	児童生徒支援課	4
144	1-3(2) 1-4(4)	継続	特別支援教育進路指導協議会による進路支援	中学校特別支援学級及び特別支援学校生徒を対象に進路懇談会や進路説明会等を開催し、卒業後の進路決定を支援します。				●	●			●	進路懇談会1回、進路説明会1回、卒業生激励会1回、内容を変更して開催。	進路懇談会1回、進路説明会1回、卒業生激励会1回開催。	425	進路懇談会1回、進路説明会1回、卒業生激励会1回開催。	学校教育課 (特別支援教育センター)	4, 8
145	1-2(2) 1-3(2)	継続	特別支援教育研修会の開催	特別支援教育に従事する教員の専門性の向上のため、個々の障がいの特性に応じた教育内容や指導方法についての研修を行います。 ・特別支援教育コーディネーター研修 ・特別支援教育研修 ・言語・発達・肢体不自由通級指導教室担当者研修 ・特別支援学級担任教員研修 ・新任特別支援教育担当者研修会								●	予定した全20回(特別支援教育コーディネーター研修、特別支援教育研修、言語・発達・肢体不自由通級指導教室担当者研修、特別支援学級担任教員研修、新任特別支援教育担当者研修会)の内、内容変更したのも含め16回開催。	特別支援教育コーディネーター研修、特別支援教育研修、言語・発達・肢体不自由通級指導教室担当者研修、特別支援学級担任教員研修、新任特別支援教育担当者研修会等、計20回程度開催。	320	特別支援教育に関する研修を年間計20回開催。延べ1,000人を超える教員が参加。	学校教育課 (特別支援教育センター)	4
146	1-3(2)	継続	障害児放課後対策レスパイト事業	障がいのある人の地域生活を支え、健全な育成を図ることを目的に、子どもやその家族の必要に応じて放課後対策レスパイト事業を実施する団体に対し、補助金を交付します。		●	●	●	●				実施場所:1か所	実施場所:1か所	4,478	実施場所:1か所	障害福祉企画課	3, 4
147	1-3(2)	継続	身体障害者手帳の交付	身体に障がいのある人が社会参加するための支援の根拠となる身体障害者手帳の障害程度等を審査し、交付します。	●	●	●	●	●	●	●	●	申請に対する適正交付を行った。	申請に対する適正交付	1,909	申請に対する適正な審査及び事務処理により、手帳を交付する。	地域リハビリテーション推進センター	3
148	1-3(2)	継続	精神障害者保健福祉手帳及び自立支援医療費支給認定判定会の運営	各種の支援を受けやすくすることにより、社会復帰と社会参加の促進、社会的自立を図るため、一定の精神障がいの状態にあると認定された人に対して手帳の交付及び支給認定を行います。	●	●	●	●	●	●	●	●	各区の進達から判定までの平均処理日数9日以内を達成。	精神障害者保健福祉手帳交付申請書(診断書添付)の進達から各区役所への判定結果送付までの期間内に事務を完了。	精神保健福祉手帳等判定会経費 87 精神障害者保健福祉手帳等認定判定会委員経費 1277	各区の進達から判定までの平均処理日数9日以内を達成。	こころの健康センター	3
149	1-3(2)	継続	障害児福祉手当の支給	20歳未満の重度の障がいのある人に対し、障がい有ることにより発生する経済的負担の軽減を図るため、手当を支給します。	●	●	●	●	●	●	20歳未満		該当者全てに支給	該当者全てに支給	62,660	該当者全てに支給	障害者支援推進課	1
150	1-3(2)	継続	重度心身障害児扶養手当及び特別児童扶養手当の支給	20歳未満の重度の障がいのある人の保護者に対し、子どもが障害を有することにより発生する経済的負担の軽減を図るため、手当を支給します。								●	該当者全てに支給	該当者全てに支給	29,292	該当者全てに支給	障害者支援推進課	1

基本目標1 すべての子ども・若者の成長を支援するまちの実現【子ども・若者支援】

施策目標3 困難を抱えた子ども・若者を支える環境づくり

基本施策2 発達の遅れや障がいのある子ども・若者とその家庭への支援

プラン No.	掲載 場所	区分	事業名	事業概要	対象者								令和2年度 取組内容・成果(見込み)	令和3年度 取組内容(予定)	令和3年度 当初予算額 (千円)	令和8年度末 目標値	担当課	SDGs 関連番号	
					乳幼児	小低	小高	中学	高校	青年	その他	保護者							
151	1-3(2)	継続	特別障害者手当等給付(うち経過的福祉手当を除く)	精神又は身体に重度の障害を有する在宅の児童または者に対して、生活の向上と福祉の増進を図ることを目的として、手当を支給します。	●	●	●	●	●	●	●	20歳未満	●	該当者全てに支給	該当者全てに支給	329,052	該当者全てに支給	障害者支援推進課	1
152	1-3(2) 1-3(6)	継続	重度心身障害者医療費助成事業	重度心身障害者が疾病等により医療機関等で治療した場合に、経済的な負担を軽減する目的から、医療保険診療に係る自己負担及び訪問看護等基本利用料を助成します。	●	●	●	●	●	●	●	●	●	疾病等により医療機関で治療した場合に、医療費保険診療にかかる自己負担額及び訪問看護基本料を助成	疾病等により医療機関で治療した場合に、医療費保険診療にかかる自己負担額及び訪問看護基本料を助成	1,291,646	利用者に対して適切に支給を行い、必要なサービス提供に努めていく。	障害者支援推進課	3
153	1-3(2)	継続	自立支援医療(育成医療)の給付	身体上の障がいのある子ども(18歳未満)や現在の病気を放置すると将来障がいを残すと認められる子どもで、治療によって確実な効果が期待される場合、その医療費の一部を公費で負担します。	●	●	●	●	●	●	●	●	●	申請に対する適正な審査認定された対象者に対する給付100%	申請に対する適正な審査認定された対象者に対する給付100%	3,500	申請に対する適正な審査認定された対象者に対する給付100%	保健予防課	3
154	1-3(2)	継続	自立支援医療(精神通院医療)の給付	精神障がいのある人がその障がいの軽減又は改善を図るための治療を指定医療機関で行った場合、保険診療に係る自己負担分の一部を公費で負担します。								●		自立支援医療(精神通院)の給付事務を適正に実施する。	自立支援医療(精神通院)の給付事務を適正に実施する。	916,901	継続実施 受給者数 9,567人	精神保健福祉課	3
155	1-3(2)	継続	精神障害者入院医療費の助成	精神障がいにより入院した人(任意入院、医療保護入院)の療養を推進し、精神障がいのある人やその保護者等の入院医療費を軽減するため、自己負担金の一部を助成します。								●		入院医療費の助成事務を適正に実施する。	入院医療費の助成事務を適正に実施する。	35,267	継続実施 助成者数 延べ3,521人	精神保健福祉課	3
156	1-3(2)	継続	軽度・中等度難聴児補聴器購入費助成事業	身体障害者手帳の交付対象とならない軽度・中等度難聴児に対し、補聴器の購入費用の一部を助成します。	●	●	●	●	●	●	●	●	●	申請者全てに支給	申請者全てに支給	1,000	申請者全てに支給	障害者支援推進課	3
157	1-3(2)	継続	補装具支給事業	障がいのある人の失われた機能を補い、日常生活を円滑に過ごすために適した用具の購入又は修理の費用を助成します。	●	●	●	●	●	●	●	●	●	申請者全てに支給	申請者全てに支給	85,758	申請者全てに支給	障害者支援推進課	3
158	1-3(2)	継続	日常生活用具支給事業	重度身体障害者の日常生活の便宜を図るため、障がいの種類と程度に応じて介護・訓練支援用具、自立生活支援用具等の費用を助成します。	●	●	●	●	●	●	●	●	●	障がいの種類と程度に応じて各種の生活用具の費用を助成	障がいの種類と程度に応じて各種の生活用具の費用を助成	201,400	利用者に対して適切に支給を行い、必要なサービス提供に努めていく。	障害者支援推進課	3
159	1-3(2)	継続	障害者タクシー料金助成事業	重度障がいのある人の移動手段を確保するため、タクシー利用料金又は車いす用タクシー利用料金の一部を助成します。	●	●	●	●	●	●	●	●	●	タクシー利用料金の一部を助成 ○普通タクシー券24枚(1枚550円) ○車いす用タクシー券48枚(1枚500円)	タクシー利用料金の一部を助成 ○普通タクシー券24枚(1枚550円) ○車いす用タクシー券48枚(1枚501円)	25,523	利用者に対して適切に支給を行い、必要なサービス提供に努めていく。	障害者支援推進課	11

基本目標1 すべての子ども・若者の成長を支援するまちの実現【子ども・若者支援】

施策目標3 困難を抱えた子ども・若者を支える環境づくり

基本施策2 発達の遅れや障がいのある子ども・若者とその家庭への支援

プラン No.	掲載 場所	区分	事業名	事業概要	対象者								令和2年度 取組内容・成果(見込み)	令和3年度 取組内容(予定)	令和3年度 当初予算額 (千円)	令和8年度末 目標値	担当課	SDGs 関連番号
					乳幼児	小低	小高	中学	高校	青年	その他	保護者						
160	1-3(2)	継続	移動支援事業	屋外での移動が困難な障がいのある人に対し、個々の利用に合った計画のもと、移動支援事業従事者の資格を持つガイドヘルパーが外出のための支援を行い、利用に対する費用の一部を助成します。	●	●	●	●	●	●			屋外での移動が困難な障がいのある人に対し、ガイドヘルパーが外出のための支援を行い、利用に対する費用の一部を助成する。また、事業所登録申請受付をその都度行う。	屋外での移動が困難な障がいのある人に対し、ガイドヘルパーが外出のための支援を行い、利用に対する費用の一部を助成する。また、事業所登録申請受付をその都度行う。	175,500	利用者延べ人数/年:9,700人 事業所登録:随時	障害者支援推進課	11
161	1-3(2)	継続	精神障害者交通費助成事業	精神障害者保健福祉手帳を所持する人の社会参加を促進するため、電車やバスの利用料金の一部を助成します。							●		電車及びバスの交通費負担に対し、助成金を支給する。	電車及びバスの交通費負担に対し、助成金を支給する。	11,146	継続実施 交付者数 5,230人	精神保健福祉課	3
162	1-3(2)	継続	重度心身障害者住宅改造費補助金	障がいのある人が住み慣れた住宅で安心して健康的な生活ができるよう住宅を改造する場合、補助金を交付します。	●	●	●	●	●	●			身体障がい者の住宅改造について補助金を交付	身体障がい者の住宅改造について補助金を交付	2,100	利用者に対して適切に支給を行い、必要なサービス提供に努めていく。	障害者支援推進課	11
163	1-3(2)	継続	障害者歯科保健センター運営事業	心身に障がいのある人で一般の歯科診療所では治療が困難な人の歯科診療や、歯や口、食べることなどの困りごと相談に応じたり、障害者通所施設での歯科保健活動や歯科健診を行います。	●	●	●	●	●	●	●		①歯科診療の初診予約待ち27日、全身麻酔下歯科治療予約待ち82日 ②かかりつけ歯科率70%以上 ③研修会開催5回 ④障がい者歯科登録医240人	①歯科診療の初診予約待ち25日、全身麻酔下歯科治療予約待ち75日 ②かかりつけ歯科率60%以上 ③研修会開催5回 ④障がい者歯科登録医240人	23,498	①歯科診療の初診予約待ち14日、全身麻酔下歯科治療予約待ち30日 ②かかりつけ歯科率70%以上維持 ③研修会開催5回 ④障がい者歯科登録医252人	健康づくり推進課	3

基本目標1 すべての子ども・若者の成長を支援するまちの実現【子ども・若者支援】

施策目標3 困難を抱えた子ども・若者を支える環境づくり

基本施策3 いじめや不登校といった困難を抱える子ども・若者とその家庭への支援

プラン No.	掲載 場所	区分	事業名	事業概要	対象者								令和2年度 取組内容・成果(見込み)	令和3年度 取組内容(予定)	令和3年度 当初予算額 (千円)	令和8年度末 目標値	担当課	SDGs 関連番号	
					乳幼児	小低	小高	中学	高校	青年	その他	保護者							
【重点事業】																			
再掲 (181)	1-2(2) 1-3(3) 1-3(5) 1-3(6) 3-1(4)	継続	スクールソーシャルワーカー活用事業	小中学校にスクールソーシャルワーカーを配置又は派遣し、いじめ、不登校又は暴力行為その他の学校生活における諸問題を抱える児童生徒に必要な支援を行い、学校生活上の諸問題の解決を図ります。		●	●	●					●	学校生活上の諸問題の背景にある家庭環境や生活環境の調整及び改善に努める。就学前、中学校卒業後においても切れ目のない支援を行う。 【配置状況】 スクールソーシャルワーカー:12名	学校生活上の諸問題の背景にある家庭環境や生活環境の調整及び改善に努める。就学前、中学校卒業後においても切れ目のない支援を行う。 【配置状況】 スクールソーシャルワーカー:12名	22,669	スクールソーシャルワーカー12人を拠点校12校(1支部1人)に配置し、週2時間勤務。拠点校以外には、要請に応じて随時派遣及び定期巡回。	児童生徒支援課	1, 4
164	1-2(2) 1-3(2) 1-3(3) 1-3(5) 1-3(6) 3-1(4)	拡充	スクールカウンセリング事業	いじめ、不登校又は問題行動など、児童生徒の心の問題に対応するため、スクールカウンセラーや教育相談員を小中高等学校に配置し、児童生徒、保護者などへの相談活動を実施します。		●	●	●					●	スクールカウンセラー 40人 小学校は週4、中学校は週8時間 高等学校は隔週4時間 教育相談員 33人 生徒数200人以上の中学校に1日5時間×週3日	スクールカウンセラー 40人 小学校は週4、中学校は週8時間 高等学校は4時間×月3回 教育相談員 39人 生徒数200人以上の小中学校に1日5時間×週3日	101,591	スクールカウンセラー 40人 小学校は週4、中学校は週8時間 高等学校は隔週4時間 教育相談員 33人 生徒数200人以上の中学校に1日5時間×週3日	児童生徒支援課 教育総務課	4
再掲 (348)	1-3(3) 1-3(4) 1-3(6) 3-1(4)	継続	子ども若者相談事業	【面接相談】 ○相談受付:(土日祝・年末年始を除く)8時30分~17時15分 相談対象者:39歳までの子ども・若者及びその保護者・関係者 【電話相談】 ○こころのホットライン 相談受付:(土日祝・年末年始を除く)毎日9時~17時 相談対象者:39歳までの子ども・若者及びその保護者・関係者 ○24時間いじめ電話相談 相談対象者:いじめに悩む子ども・若者及びその保護者・関係者 ○ユースサポート事業 様々な困難を抱える高校生世代に対し、交流できる場を提供する。	●	●	●	●	●	●	●	●	●	①面接相談 相談受付:平日8時30分~17時15分 相談件数:420件のべ相談回数:4,856回 ②こころのホットライン 相談受付:平日9時~17時 相談件数:249件 ③24時間いじめ電話相談 相談受付:毎日24時間 相談件数:294件 ④ユースサポート事業(高校生ぶらっとサロン) 年間108日実施	①面接相談 相談受付:平日8時30分~17時15分 ②こころのホットライン 相談受付:平日9時~17時 ③24時間いじめ電話相談 相談受付:毎日24時間 ④ユースサポート事業(高校生ぶらっとサロン) 年間100日程度	10,988	相談状況改善率70%	青少年育成課	3
165	1-3(3) 1-3(6)	継続	適応指導教室の運営	不登校児童生徒の学校生活への復帰や集団生活への適応など自立に向けた取組を支援するため、適応指導教室を設けます。		●	●	●						開級日数 ふれあい教室 157日 はばたく表室 157日 かがやく教室 157日	開級日数 ふれあい教室 180日程度 はばたく表室 180日程度 かがやく教室 180日程度	6,961	適応指導教室の適正な実施 不登校相談状況改善率:68%	青少年育成課	4
166	1-3(3)	継続	アイセルにじいろ相談(静岡市女性会館)	セクシュアリティや性別違和などの悩みについて、研修を受けた相談員が電話相談に応じます。	●	●	●	●	●	●	●	●	●	毎月1回電話相談を実施	毎月1回電話相談を実施	指定管理料を含む	相談開設日数: 年12日	男女共同参画課	5, 10

基本目標1 すべての子ども・若者の成長を支援するまちの実現【子ども・若者支援】

施策目標3 困難を抱えた子ども・若者を支える環境づくり

基本施策3 いじめや不登校といった困難を抱える子ども・若者とその家庭への支援

プラン No.	掲載 か所	区分	事業名	事業概要	対象者								令和2年度 取組内容・成果(見込み)	令和3年度 取組内容(予定)	令和3年度 当初予算額 (千円)	令和8年度末 目標値	担当課	SDGs 関連番号	
					乳 幼 児	小 低	小 高	中 学	高 校	青 年	そ の 他	保 護 者							
【関連事業】																			
167	1-2(2) 1-3(3)	継続	こころの教育支援事業	小学校に非常勤講師を配置し、生徒指導主任等の代わりに授業を行い、生徒指導主任等がいじめや不登校に迅速かつ確実に対応する時間を確保します。 また、非常勤講師の配置により児童一人ひとりの心の安定と学習の充実を図ります。		●	●							市内15校に各1名、市内9支部に各1名、合計24人の非常勤講師を配置する。	市内15校に各1名、市内9支部に各1名、合計24人の非常勤講師を配置する。	54,650	いじめや不登校等の改善率(改善傾向がみられた率)60% ※過去5か年の改善率の平均を踏まえて設定	教職員課	4
168	1-3(3)	継続	子どもの自立を支援する講演会	不登校児童生徒等を持つ保護者や教育関係者を対象に、講演会等を企画運営し、側面支援を行います。								●	●	不登校児童生徒等を持つ保護者や教育関係者を対象に、講演会を1回開催。(11月7日に開催)	不登校児童生徒等を持つ保護者や教育関係者を対象に、講演会を1回開催。	30	受講者アンケートによる満足度95%以上	青少年育成課	4
169	1-3(3)	拡充	静岡市性的少数者居場所づくり事業(にじいろカフェ)	性的少数者当事者等の孤独や困難な状況を解消できる交流会を開催します。		●	●	●	●	●	●	●	●	毎月1回交流会を開催	毎月1回交流会を開催	810	交流会開催日数: 年12日	男女共同参画課	5, 10

基本目標1 すべての子ども・若者の成長を支援するまちの実現【子ども・若者支援】

施策目標3 困難を抱えた子ども・若者を支える環境づくり

基本施策4 若年無業者やひきこもりの子ども・若者とその家庭への支援

プラン No.	掲載 場所	区分	事業名	事業概要	対象者								令和2年度 取組内容・成果(見込み)	令和3年度 取組内容(予定)	令和3年度 当初予算額 (千円)	令和8年度末 目標値	担当課	SDGs 関連番号								
					乳幼児	小低	小高	中学	高校	青年	その他	保護者														
【重点事業】																										
170	1-3(4) 1-3(6) 1-4(4)	継続	若年無業者就労支援業務(ニート対策事業)	ニート等働くことに悩みを抱えている本人やその家族等を対象に就労に向けた支援を行うため、ニートの就労支援セミナーや相談会の開催、関係機関等のネットワークの構築などを行います。										●●	開催 2回 参加者 計70人(見込) 出張相談会 10回(見込) 心理カウンセリング 12回	開催予定 2回 参加者 計70人 出張相談会 10回 心理カウンセリング 12回	988	開催予定 2回 参加者 計70人 出張相談会 10回 心理カウンセリング 12回	商業労政課	4						
171	1-3(4) 3-1(4)	拡充	ひきこもり対策推進事業	ひきこもりに特化した相談窓口を設け、ひきこもり当事者及びその家族等からの相談に応じ、必要な助言、情報提供等を行うとともに、関係機関と連携を図り、早期回復に向けた取組を行います。														面接・電話相談、訪問・同行支援、居場所活動、家族教室、啓発活動等の実施。 ・相談件数:1,600回(清水区115回含) ・訪問・同行支援:100回 ・居場所活動:65回 ・家族教室:8回 清水区出張相談の実施。ひきこもりサポーターの活用。 ・ひきこもりサポーター養成数20人 派遣延べ45人 ・ひきこもり改善率61%	面接・電話相談、訪問・同行支援、居場所活動、家族教室、関係機関との連携等の実施。 清水区出張相談の実施。ひきこもりサポーターの養成及び活用。	28,372	ひきこもり状態が改善している相談者の割合 ひきこもり改善率 61%以上を維持 ひきこもりサポーター養成数49人	青少年育成課	3			
再掲 (348)	1-3(3) 1-3(4) 1-3(6) 3-1(4)	継続	子ども若者相談事業	【面接相談】 ○相談受付:(土日祝・年末年始を除く)8時30分～17時15分 相談対象者:39歳までの子ども・若者及びその保護者・関係者 【電話相談】 ○こころのホットライン 相談受付:(土日祝・年末年始を除く)毎日9時～17時 相談対象者:39歳までの子ども・若者及びその保護者・関係者 ○24時間いじめ電話相談 相談対象者:いじめに悩む子ども・若者及びその保護者・関係者 ○ユースサポート事業 様々な困難を抱える高校生世代に対し、交流できる場を提供する。																①面接相談 相談受付:平日8時30分～17時15分 相談件数:420件 のべ相談回数:4,856回 ②こころのホットライン 相談受付:平日9時～17時 相談件数:249件 ③24時間いじめ電話相談 相談受付:毎日24時間 相談件数:294件 ④ユースサポート事業(高校生ぶらっとサロン) 年間108日実施	①面接相談 相談受付:平日8時30分～17時15分 ②こころのホットライン 相談受付:平日9時～17時 ③24時間いじめ電話相談 相談受付:毎日24時間 ④ユースサポート事業(高校生ぶらっとサロン)年間100日程度	10,988	相談状況改善率70%	青少年育成課	3	
【関連事業】																										
再掲 (346)	1-3(4) 1-3(6) 3-1(4)	継続	静岡市子ども・若者支援地域協議会	子ども・若者育成支援推進法に則り、社会生活を円滑に営むうえで困難を有する子ども・若者への支援を推進するため、関係機関との連携を図ります。																●●	代表者会議:1回(紙面開催) 実務者会議:4回 (支援機関視察・事例研究等)	代表者会議:1回 実務者会議:4回 (支援機関視察・事例研究等)	40	会議参加者による協議会の有意義度(アンケート調査)90%	青少年育成課	17

基本目標1 すべての子ども・若者の成長を支援するまちの実現【子ども・若者支援】

施策目標3 困難を抱えた子ども・若者を支える環境づくり

基本施策5 子ども・若者の非行防止と立ち直り支援の推進

プラン No.	掲載 場所	区分	事業 名	事業 概要	対象者								令和2年度 取組内容・成果(見込み)	令和3年度 取組内容(予定)	令和3年度 当初予算額 (千円)	令和8年度末 目標値	担当課	SDGs 関連番号			
					乳幼児	小 低	小 高	中 学	高 校	青 年	そ の 他	保 護 者									
【重点事業】																					
172	1-3(5)	継続	薬物乱用防止教室(薬学講座)	喫煙、飲酒、薬物(覚せい剤、麻薬等)の乱用防止に努めるため、学校薬剤師等を講師として各学校で薬物乱用防止教室を開きます。			●●							●	喫煙、飲酒、薬物(覚せい剤、麻薬等)の乱用防止に努めるため、全小中学校(124校)で薬物乱用防止教育を実施する。(今年度は開催の形態は問わない。)	喫煙、飲酒、薬物(覚せい剤、麻薬等)の乱用防止に努めるため、全小中学校(124校)で学校薬剤師等を講師とし、薬物乱用防止教室を開催する。	—	学校薬剤師等を講師とした薬物乱用防止教室を全小中学校で実施:100%	児童生徒支援課	4	
173	1-3(5)	継続	未成年者喫煙防止事業「小・中学生向け喫煙防止教室」	喫煙防止の取組を推進するため、小・中学生がタバコのしくみや健康被害等について学び、さらに家族や地域社会へ広げ、受動喫煙の防止を図るよう、希望する市内小中学校児童生徒対象に講座を開催します。			●●							●	小中学校75校実施	小中学校75校実施	494	小中学校75校実施	健康づくり推進課	3	
174	1-3(5)	継続	未成年者喫煙防止事業「喫煙防止教室(高校生向け)」	高校生がタバコに関する正しい知識や最新情報、喫煙や受動喫煙の健康被害等について学び、将来、喫煙者とならないような教育を、希望する市内高校生対象に開催します。										●	高校4校実施	高校4校実施	—	高校4校実施	健康づくり推進課	3	
再掲(336)	1-3(5) 3-1(3)	継続	情報倫理教育の推進	ITの飛躍的發展によるネット社会の広がりの中で、情報の匿名性に付随する様々な問題に対応するため、情報やコミュニケーションの本質的意味を教え、その中で責任ある行動を取れる資質を育む情報倫理教育を推進します。			●●								●	児童・生徒を対象に、SNS利用に関する講座(講師を派遣)を実施した。	児童・生徒、保護者を対象に、SNS利用に関する講座(講師を派遣)を実施する。	—	各学校にて、教員がSNSについての授業を行えるようにする。	教育センター(学校教育課)	4
175	1-3(5)	継続	青少年育成センターの運営(補導活動)	関係機関・団体から推薦された補導員・青少年補導員による補導活動を実施します。			●●●●●●●								●	補導実施回数 500回	補導実施回数 1,100回	7,376の一部	補導実施回数 1,350回	青少年育成課	16
【関連事業】																					
176	1-3(5)	継続	健康教育の充実	児童・生徒の薬物乱用や性の逸脱行動、生活習慣病の兆候、様々な悩みによる心因性の症状など、児童・生徒の心身の健康に関する問題に対応するため、養護教諭などを中心とする健康相談の一層の充実や地域社会と一体となつての環境整備、学校における指導強化を図ります。			●●●●							●	①子どもたちが心身の健康課題に対して、自ら解決し、健康生活を实践していく力を養うために、各校の保健教育や保健活動を支援する。 ②中学生11校において、中学3年生を対象にして産婦人科医による性教育講座を実施する。(今年度は行事予定が見通しにくいため、可能な範囲での実施)	①子どもたちが心身の健康課題に対して、自ら解決し、健康生活を实践していく力を養うために、各校の保健教育や保健活動を支援する。 ②中学校15校において、中学3年生を対象にして産婦人科医による性教育講座を実施する。	—	①子どもたちが心身の健康課題に対して、自ら解決し、健康生活を实践していく力を養うために、各校の保健教育や保健活動を支援する。 ②中学校15校において、中学3年生を対象にして産婦人科医による性教育講座を実施する。	児童生徒支援課	4	
再掲(181)	1-2(2) 1-3(3) 1-3(5) 1-3(6) 3-1(4)	継続	スクールソーシャルワーカー活用事業	小中学校にスクールソーシャルワーカーを配置又は派遣し、いじめ、不登校又は暴力行為その他の学校生活における諸問題を抱える児童生徒に必要な支援を行い、学校生活上の諸問題の解決を図ります。			●●●							●	学校生活上の諸問題の背景にある家庭環境や生活環境の調整及び改善に努める。就学前、中学校卒業後においても切れ目のない支援を行う。 【配置状況】 スクールソーシャルワーカー:12名	学校生活上の諸問題の背景にある家庭環境や生活環境の調整及び改善に努める。就学前、中学校卒業後においても切れ目のない支援を行う。 【配置状況】 スクールソーシャルワーカー:12名	22,669	スクールソーシャルワーカー12人を拠点校12校(1支部1人)に配置し、週2時間勤務。拠点校以外には、要請に応じて随時派遣及び定期巡回。	児童生徒支援課	1, 4	

基本目標1 すべての子ども・若者の成長を支援するまちの実現【子ども・若者支援】

施策目標3 困難を抱えた子ども・若者を支える環境づくり

基本施策5 子ども・若者の非行防止と立ち直り支援の推進

プラン No.	掲載 箇所	区分	事業名	事業概要	対象者								令和2年度 取組内容・成果(見込み)	令和3年度 取組内容(予定)	令和3年度 当初予算額 (千円)	令和8年度末 目標値	担当課	SDGs 関連番号	
					乳幼児	小低	小高	中学	高校	青年	その他	保護者							
再掲 (164)	1-2(2) 1-3(2) 1-3(3) 1-3(5) 1-3(6) 3-1(4)	継続	スクールカウンセリング事業	いじめ、不登校又は問題行動など、児童生徒の心の問題に対応するため、スクールカウンセラーや教育相談員を小中高等学校に配置し、児童生徒、保護者などへの相談活動を実施します。		●	●	●					●	スクールカウンセラー 40人 小学校は週4、中学校は週8時間 高等学校は隔週4時間 教育相談員 33人 生徒数200人以上の中学校に1日5時間×週3日	スクールカウンセラー 40人 小学校は週4、中学校は週8時間 高等学校は4時間×月3回 教育相談員 39人 生徒数200人以上の小中学校に1日5時間×週3日	101,591	スクールカウンセラー 40人 小学校は週4、中学校は週8時間 高等学校は隔週4時間 教育相談員 33人 生徒数200人以上の中学校に1日5時間×週3日	児童生徒支援課 教育総務課	4
177	1-3(5)	継続	非行防止等啓発事業	青少年の非行防止、健全育成に関する市民意識の高揚を図るため、街頭キャンペーン、啓発用リーフレットの作成などを実施します。		●	●	●				●	街頭キャンペーン :2回(7月・11月) 中学校新入生説明会での広報 :1回 広報啓発用のチラシ作成・配布 :3回	街頭キャンペーン :2回(7月・11月) 中学校新入生説明会での広報 :1回 広報啓発用のチラシ作成・配布 :3回	487	街頭キャンペーン:2回(7月・11月) 中学校新入生説明会での広報:1回 広報啓発用のチラシ作成・配布:3回	青少年育成課	4	
再掲 (341)	1-3(5) 3-1(3)	継続	違法広告物等撤去活動	電柱、街灯柱などに掲出される、はり紙、はり札、立看板などの違反広告物を除却することにより、青少年の健全育成を図ります。		●	●	●	●	●	●		違反広告物等の除却件数:369件	違反広告物等の除却件数:50件	39	違反広告物等の除却件数:累計350件以上	建築総務課	11	
178	1-3(5)	継続	静岡市保護司会連絡協議会補助金	静岡市保護司会連絡協議会に対し、補助金を交付します。 ※保護司会における青少年関連事業 ・静岡市青少年問題協議会への参加 ・静岡市青少年育成センター主催の少年補導への参加 ・各中学校区で実施する健全育成大会への参画 など		●	●	●	●	●	●		静岡市保護司会連絡協議会に対し、補助金を交付する。 ※保護司会における青少年関連事業 ・静岡市青少年問題協議会への参加 ・静岡市青少年育成センター主催の少年補導への参加 ・各中学校区で実施する健全育成大会への参画 など	静岡市保護司会連絡協議会に対し、補助金を交付する。 ※保護司会における青少年関連事業 ・静岡市青少年問題協議会への参加 ・静岡市青少年育成センター主催の少年補導への参加 ・各中学校区で実施する健全育成大会への参画 など	4,230	静岡市保護司会連絡協議会に対し、補助金を交付する。 ※保護司会における青少年関連事業 ・静岡市青少年問題協議会への参加 ・静岡市青少年育成センター主催の少年補導への参加 ・各中学校区で実施する健全育成大会への参画 など	福祉総務課	4, 16	

基本目標1 すべての子ども・若者の成長を支援するまちの実現【子ども・若者支援】

施策目標3 困難を抱えた子ども・若者を支える環境づくり

基本施策6 厳しい環境に置かれた子ども・若者とその家庭への支援(静岡市子どもの貧困対策推進計画)

プランNo.	掲載箇所	区分	事業名	事業概要	対象者								令和2年度 取組内容・成果(見込み)	令和3年度 取組内容(予定)	令和3年度 当初予算額 (千円)	令和8年度末 目標値	担当課	SDGs 関連番号	教育	生活	就労	経済						
					乳幼児	小低	小高	中学	高校	青年	その他	保護者																
【重点事業】																												
179	1-3(6)	継続	生活困窮者子どもの学習意欲向上事業 (生活保護世帯及び生活困窮世帯の子どもの学習意欲を向上させるための支援)	生活保護世帯及び生活困窮世帯の子どもが学習を習慣づけられるよう、世帯に家庭支援員を派遣し、支援を行うことで、学習に向けた環境を整えます。										●	家庭支援員が世帯に訪問し、勉強、進学等に関する助言や指導を行う。	家庭支援員が世帯に訪問し、勉強、進学等に関する助言や指導を行う。	3,514	生活保護世帯等の子どもの貧困の連鎖の防止	福祉総務課	1			●					
180	1-3(6) 2-1(3)	継続	子どもの貧困対策学習支援事業	ひとり親家庭や生活困窮世帯の子どもの対象として居場所を提供し、学習支援・生活支援を行います。												延べ利用者数:5,300人	延べ利用者数:5,300人	21,900	延べ利用者数:9,400人	子ども家庭課	1, 4			●	●			
再掲 (165)	1-3(3) 1-3(6)	継続	適応指導教室の運営	不登校児童生徒の学校生活への復帰や集団生活への適応など自立に向けた取組を支援するため、適応指導教室を設けます。												開級日数 ふれあい教室 157日 はばたく表室 157日 かがやく教室 157日	開級日数 ふれあい教室 180日程度 はばたく表室 180日程度 かがやく教室 180日程度	6,961	適応指導教室の適正な実施 不登校相談状況改善率:68%	青少年育成課	4			●	●			
再掲 (68)	1-2(2) 1-3(6)	継続	学力アップサポート事業	学習面で支援が必要な児童に、テキストの提供と、放課後に有償ボランティアによる個別の補充学習支援を実施し学習意欲と基礎的な学力の向上を図ることで、学校を支援する。												新型コロナウイルス感染症の影響により事業は未実施。代替事業として、コロナで学習に不安がある児童生徒に対し「補充学習による学習支援事業」を実施した。	市内の小中学校(20校程度)において、学習面で支援が必要な児童に、テキストの提供と放課後に有償ボランティアによる個別の補充学習支援を実施する。	5,480	全国学力・学習状況調査の分析をもとに、市内の小中学校15校程度に有償ボランティアを配置し、基礎学力向上のための支援を行う。より多くの学校で実施し、市内の学力の底上げを行う。	学校教育課	4			●				
181	1-2(2) 1-3(3) 1-3(5) 1-3(6) 3-1(4)	継続	スクールソーシャルワーカー活用事業	小中学校にスクールソーシャルワーカーを配置又は派遣し、いじめ、不登校又は暴力行為その他の学校生活における諸問題を抱える児童生徒に必要な支援を行い、学校生活上の諸問題の解決を図ります。												●	学校生活上の諸問題の背景にある家庭環境や生活環境の調整及び改善に努める。就学前、中学校卒業後においても切れ目のない支援を行う。 【配置状況】 スクールソーシャルワーカー:12名	学校生活上の諸問題の背景にある家庭環境や生活環境の調整及び改善に努める。就学前、中学校卒業後においても切れ目のない支援を行う。 【配置状況】 スクールソーシャルワーカー:12名	22,669	スクールソーシャルワーカー12人を拠点校12校(1支部1人)に配置し、週2時間勤務。拠点校以外には、要請に応じて随時派遣及び定期巡回。	児童生徒支援課	1, 4			●	●		
再掲 (164)	1-2(2) 1-3(2) 1-3(3) 1-3(5) 1-3(6) 3-1(4)	拡充	スクールカウンセリング事業	いじめ、不登校又は問題行動など、児童生徒の心の問題に対応するため、スクールカウンセラーや教育相談員を小中高等学校に配置し、児童生徒、保護者などへの相談活動を実施します。												●	スクールカウンセラー 40人 小学校は週4、中学校は週8時間 高等学校は隔週4時間 教育相談員 33人 生徒数200人以上の中学校に1日5時間×週3日	スクールカウンセラー 40人 小学校は週4、中学校は週8時間 高等学校は隔週4時間 教育相談員 39人 生徒数200人以上の小中学校に1日5時間×週3日	101,591	スクールカウンセラー 40人 小学校は週4、中学校は週8時間 高等学校は隔週4時間 教育相談員 33人 生徒数200人以上の中学校に1日5時間×週3日	児童生徒支援課 教育総務課	4			●			
再掲 (293)	1-3(6) 2-1(3)	継続	母子家庭等就業・自立支援センター運営事業	母子家庭等の就業・自立を図るため、就業相談、職業紹介、就業支援講習会、特別相談会、養育費等の相談、養育費セミナー、就業支援セミナー等を実施します。												●	必要な対象者への完全実施	必要な対象者への完全実施	6,403	必要な対象者への完全実施	子ども家庭課	1, 8			●	●	●	

基本目標1 すべての子ども・若者の成長を支援するまちの実現【子ども・若者支援】

施策目標3 困難を抱えた子ども・若者を支える環境づくり

基本施策6 厳しい環境に置かれた子ども・若者とその家庭への支援(静岡市子どもの貧困対策推進計画)

プラン No.	掲載 場所	区分	事業名	事業概要	対象者								令和2年度 取組内容・成果(見込み)	令和3年度 取組内容(予定)	令和3年度 当初予算額 (千円)	令和8年度末 目標値	担当課	SDGs 関連番号	教育	生活	就労	経済		
					乳幼児	小低	小高	中学	高校	青年	その他	保護者												
再掲 (294)	1-3(6) 2-1(3)	継続	ひとり親就業支援専門員による支援	ひとり親を対象に就業支援を専門に行う、就業支援専門員を配置し、ひとり親への就業支援・転職支援を行います。	●	●	●	●	●				●	必要な対象者への完全実施	必要な対象者への完全実施	2,728	必要な対象者への完全実施	子ども家庭課	1, 8				●	
182	1-2(3) 1-3(6)	継続	要・準要保護児童生徒扶助費交付事業	経済的理由により就学困難な児童生徒の保護者を対象に、学用品費や通学費、修学旅行費、給食費、医療費等の必要な援助を行います。		●	●						●	経済的理由により就学困難な児童生徒の保護者を対象に、学用品費や通学費、修学旅行費、給食費、医療費等の必要な援助を行います。	経済的理由により就学困難な児童生徒の保護者を対象に、学用品費や通学費、修学旅行費、給食費、医療費等の必要な援助を行います。	184,041 148,210	要綱等に基づき、要件を満たす児童・生徒に正確かつ確実に補助金を交付:100%	児童生徒支援課	1			●		●
183	1-1(1) 1-3(6) 2-1(3)	継続	幼児期の教育・保育の負担の軽減★	令和元年10月から幼児教育・保育の無償化に伴い、3歳から5歳児すべての子どもたちと、0歳から2歳児で住民税非課税世帯の子どもたちの利用が無償化となりました。認定こども園等における幼児期の教育・保育に係る保育料について所得に応じた金額に設定し、低所得世帯の負担を軽減します。また、保育料の算定に当たっては、未婚・非婚のひとり親についても税法上の寡婦とみなして保育料を算定することにより、経済的負担を軽減します。	●								●	0歳から2歳の子どものための保育料を従前より国が定めている保育料の水準と比較して軽減している。また、多子世帯に対する保育料の軽減制度(第2子を半額、第3子以降無償)については、市独自に対象範囲を、国の所得階層よりも拡充している。さらに、未婚のひとり親世帯に対しては、地方税法に規定する控除の対象として保育料を軽減している。	0歳から2歳の子どものための保育料を従前より国が定めている保育料の水準と比較して軽減する。また、多子世帯に対する保育料の軽減制度(第2子を半額、第3子以降無償)については、市独自に対象範囲を、国の所得階層よりも拡充する。さらに、未婚のひとり親世帯に対しては、地方税法(令和2年度)に規定する控除の対象として保育料を軽減する。(地方税法の改正により令和3年8月まで)	—	第2子を半額、第3子以降無償(ひとり親世帯は第2子以降無償)とする減額措置の適用における、第何子かを決定する際の算定対象となる子どもの年齢制限等を撤廃するに当たり、国の規定より適用対象世帯の範囲を拡大して実施する。	幼保支援課	4					●
184	1-3(6) 2-1(3)	継続	放課後児童クラブの利用者負担の軽減★	低所得世帯、ひとり親家庭、多子世帯などの放課後児童クラブの利用を必要とする家庭が、経済的理由により利用できないことのないよう、世帯の所得の状況や、同時に入会している兄弟姉妹の数に応じて、保護者負担金を軽減します。		●	●						●	対象世帯の負担金軽減を適切に実施	対象世帯の負担金軽減を適切に実施	51,591	対象世帯の負担金軽減を適切に実施	子ども未来課	1, 2, 4, 16					●
再掲 (90)	1-2(3) 1-3(6)	継続	育英奨学金貸付事業	高等学校、短期大学、大学又は大学院に在学する者に学資を貸与して、優秀な人材を育成し、及び市の発展に資する優秀な人材を育成します。 短大、大学等を卒業したのちに市内に居住し、市民税所得割を納付する等の要件を満たす場合の返還免除制度を創設しました。									●	予算の範囲内で新規貸与者数を増やす。(新規貸与者数52人)	予算の範囲内で新規貸与者数を増やす。(新規貸与者数110人)	74,256	新規貸与者数110人	児童生徒支援課	4			●		●
185	1-2(3) 1-3(6)	継続	篤志奨学金給付事業	修学困難な高校生、短大生及び大学生を対象に、教育奨励費(入学一時金)として奨学金を給付します。									●	予算の範囲内で奨学金を給付する。(給付実績2,950千円)	予算の範囲内で奨学金を給付する。(給付予算3,000千円)	3,000	給付予算3,000千円	児童生徒支援課	4			●		●

基本目標1 すべての子ども・若者の成長を支援するまちの実現【子ども・若者支援】

施策目標3 困難を抱えた子ども・若者を支える環境づくり

基本施策6 厳しい環境に置かれた子ども・若者とその家庭への支援(静岡市子どもの貧困対策推進計画)

プラン No.	掲載 場所	区分	事業名	事業概要	対象者								令和2年度 取組内容・成果(見込み)	令和3年度 取組内容(予定)	令和3年度 当初予算額 (千円)	令和8年度末 目標値	担当課	SDGs 関連番号	教育	生活	就労	経済			
					乳幼児	小低	小高	中学	高校	青年	その他	保護者													
【関連事業】																									
再掲 (20)	1-1(2) 1-2(3) 1-3(6) 2-2(1) 3-1(2) 3-1(3)	拡充	放課後児童クラブの運営★	保護者が就労等により昼間家庭にいない児童の健全な育成を目的に、小学校や児童館等に専用室を設けて、家庭に代わる遊びや生活の場を提供します。										●	83か所(198室)での児童クラブ運営を実施	83か所(203室)での児童クラブ運営を実施	1,110,787	239室の運営(受入可能人数 6,754人) ※民間補助児童クラブ分含む	子ども未来課	1, 2, 4, 16	●	●			
再掲 (22)	1-1(2) 1-2(3) 1-3(6) 2-2(1) 3-1(2) 3-1(3)	拡充	放課後児童クラブと放課後子ども教室の一体的実施★	全ての児童が参加できるように、同一の小学校敷地内等で放課後児童クラブと放課後子ども教室を一体的に(一体型又は連携型により)実施します。										●	放課後児童クラブと放課後子ども教室を一体的に実施する。(小学校62校)	放課後児童クラブと放課後子ども教室を一体的に実施する。(小学校67校)		放課後児童クラブと放課後子ども教室を一体的に実施する。(小学校71校予定)	子ども未来課 教育総務課	4		●	●		
再掲 (74)	1-2(2) 1-3(6) 1-4(4)	継続	キャリア教育の推進	小中学生の社会的・職業的自立に向けて必要な基盤となる能力や、態度を育てることを目的としたキャリア教育を推進します。										●	中学校の職場体験学習は、新型コロナウイルス感染症の影響により、未実施。	市立の全中学校で、学校の実情に合わせて、職場体験学習を行う。全小中学校担当者を対象にキャリア教育についての内容の周知を行う。	79	市立の全中学校で、連続3日間以上の職場体験学習を行う。全小中学校担当者を対象にキャリア教育担当者会を実施する。	学校教育課	4		●			
186	1-3(6)	継続	学校・こども園管理職や教職員に対する研修	学校等における子どもの貧困に対する「気づく力」の向上のため、教職員を対象とした研修を実施します。										●	【児童生徒支援課分】 管理職研修やスクールソーシャルワーカーが派遣される学校の教職員を対象とした研修を実施する。(市内小中学校65校) 【こども園課分】 管理職研修、初任者研修、年次研修等において研修を実施する。	【児童生徒支援課分】 管理職研修やスクールソーシャルワーカーが派遣される学校の教職員を対象とした研修を実施する。(市内小中学校65校) 【こども園課分】 管理職研修、初任者研修、年次研修等において研修を実施する。	【児童生徒支援課分】 49	【児童生徒支援課分】 教職員が貧困問題等の研修(隔年で全小中学校にて実施)を通して、貧困に対する気づく力と対応力を向上させる。 【こども園課分】 管理職研修、初任者研修、年次研修等における研修の実施	児童生徒支援課 こども園課	4		●			
再掲 (348)	1-3(3) 1-3(4) 1-3(6) 3-1(4)	継続	子ども若者相談事業	【面接相談】 ○相談受付:(土日祝・年末年始を除く)8時30分～17時15分 相談対象者:39歳までの子ども・若者及びその保護者・関係者 【電話相談】 ○こころのホットライン 相談受付:(土日祝・年末年始を除く)毎日9時～17時 相談対象者:39歳までの子ども・若者及びその保護者・関係者 ○24時間いじめ電話相談 相談対象者:いじめに悩む子ども・若者及びその保護者・関係者 ○ユースサポート事業 様々な困難を抱える高校生世代に対し、交流できる場を提供する。										●	①面接相談 相談受付:平日8時30分～17時15分 相談件数:420件 のべ相談回数:4,856回 ②こころのホットライン 相談受付:平日9時～17時 相談件数:249件 ③24時間いじめ電話相談 相談受付:毎日24時間 相談件数:294件 ④ユースサポート事業(高校生ぶらっとサロン) 年間108日実施	①面接相談 相談受付:平日8時30分～17時15分 ②こころのホットライン 相談受付:平日9時～17時 ③24時間いじめ電話相談 相談受付:毎日24時間 ④ユースサポート事業(高校生ぶらっとサロン)年間100日程度	10,988	相談状況改善率70%	青少年育成課	3		●	●		

基本目標1 すべての子ども・若者の成長を支援するまちの実現【子ども・若者支援】

施策目標3 困難を抱えた子ども・若者を支える環境づくり

基本施策6 厳しい環境に置かれた子ども・若者とその家庭への支援(静岡市子どもの貧困対策推進計画)

プランNo.	掲載か所	区分	事業名	事業概要	対象者								令和2年度 取組内容・成果(見込み)	令和3年度 取組内容(予定)	令和3年度 当初予算額 (千円)	令和8年度末 目標値	担当課	SDGs 関連番号	教育	生活	就労	経済	
					乳幼児	小低	小高	中学	高校	青年	その他	保護者											
再掲 (260)	1-3(6) 2-1(1)	継続	妊娠・出産包括支援★ (利用者支援事業(母子保健型))	子育て世代包括支援センターでは、妊娠期から子育て期にわたるまでの総合的相談支援を行い、保健師等の専門職が妊産婦等の状況を継続的に把握し、必要に応じて関係機関と協力して支援プランを策定することにより、必要な支援につなげ、切れ目ない支援を実施します。	●								● 各区1か所に設置	各区1か所に設置	657	各区1か所に設置	子ども家庭課	3			●		
再掲 (120)	1-3(1) 1-3(6)	継続	児童相談所の運営	児童相談所において、家庭や地域、その他機関等から、子どもに関する様々な相談に応じるとともに、子どもが抱える問題や環境を的確に捉え、社会的養護が必要であると判断した場合、対象となる子どもに対して措置を行うなど、必要に応じた対応を行います。また、児童相談所職員の資質向上を図るため、アドバイザー等を活用し、人材育成に取り組みます。	●	●	●	●	●				● ● 「子どもの最善の利益」のために相談内容に応じた診断及び指導等の100%実施 ● 児童虐待を疑われる場合の48時間以内の安否確認100%実施	● ● 「子どもの最善の利益」のために相談内容に応じた診断及び指導等の100%実施 ● 児童虐待を疑われる場合の48時間以内の安否確認100%実施	45,206	● ● 「子どもの最善の利益」のために相談内容に応じた診断及び指導等の100%実施 ● 児童虐待を疑われる場合の48時間以内の安否確認100%実施	児童相談所	16			●		
再掲 (290)	1-3(1) 1-3(6) 2-1(2)	継続	家庭児童相談室の運営	各福祉事務所に家庭児童相談室を設置し、子どもに関する様々な問題について、子ども、家庭又は地域住民などからの相談に応じ、必要な助言を行います。	●	●	●	●	●				● 必要な対象者への完全実施	必要な対象者への完全実施	578	必要な対象者への完全実施	子ども家庭課	16			●		
再掲 (121)	1-3(1) 1-3(6)	継続	要保護児童対策地域協議会の運営	要保護児童の早期発見や適切な保護を図るため、関係機関が子どもやその保護者に関する情報交換や考え方を共有するとともに、関係機関の支援内容や役割分担などの協議を行います。	●	●	●	●	●				● 代表者会議:1回 ● 実務者会議:45回 ● 個別ケース検討会議:随時	代表者会議:1回 実務者会議:45回 個別ケース検討会議:随時	541	代表者会議:1回 実務者会議:45回 個別ケース検討会議:随時	子ども家庭課	16, 17			●		
再掲 (346)	1-3(4) 1-3(6) 3-1(4)	継続	静岡市子ども・若者支援地域協議会	子ども・若者育成支援推進法に則り、社会生活を円滑に営むうえで困難を有する子ども・若者への支援を推進するため、関係機関との連携を図ります。									● ● 代表者会議:1回(紙面開催) ● 実務者会議:4回 (支援機関視察・事例研究等)	代表者会議:1回 実務者会議:4回 (支援機関視察・事例研究等)	40	会議参加者による協議会の有意義度(アンケート調査)90%	青少年育成課	17			●		
187	1-3(6) 3-1(1)	継続	民生委員・児童委員及び主任児童委員による地域福祉活動	民生委員・児童委員、主任児童委員が、支援が必要な子ども・家庭に対して行う見守り、相談、専門機関との連携等を支援します。また、民生委員等が必要な技術を習得し、不安を軽減するための研修等を実施します。	●	●	●	●	●	●			● ● 相談・支援件数(子どもに関すること) 2,700件	相談・支援件数(子どもに関すること) 2,700件	134,506	相談・支援件数(子どもに関すること) 3,000件	福祉総務課	1, 3			●		
再掲 (292)	1-3(6) 2-1(2)	継続	養育支援訪問事業★	養育支援が特に必要であると判断した子育て家庭に対して、専門的資格を有する訪問員等がその家庭を訪問し、養育に関する指導・助言、家事援助などを行います。	●	●	●	●					● 必要な世帯への完全実施 訪問世帯数:23世帯	必要な世帯への完全実施 訪問世帯数:23世帯	2,433	必要な世帯への完全実施 訪問世帯数:23世帯	子ども家庭課	16, 17			●		
再掲 (23)	1-1(2) 1-3(6) 2-1(2) 3-1(2)	拡充	児童館の運営	地域における児童健全育成の拠点として、子どもの健康を増進し、情操を豊かにするため、各種教室や読み聞かせ、クラブ活動など児童に健全な遊びを提供します。	●	●	●	●					● ● 12館の児童館運営を実施	12館(7月以降は13館)の児童館運営を実施	240,348	13館で実施 小型児童館(7館) 児童センター(6館)	子ども未来課	1, 2, 4, 16			●		

基本目標1 すべての子ども・若者の成長を支援するまちの実現【子ども・若者支援】

施策目標3 困難を抱えた子ども・若者を支える環境づくり

基本施策6 厳しい環境に置かれた子ども・若者とその家庭への支援(静岡市子どもの貧困対策推進計画)

プランNo.	掲載か所	区分	事業名	事業概要	対象者								令和2年度 取組内容・成果(見込み)	令和3年度 取組内容(予定)	令和3年度 当初予算額 (千円)	令和8年度末 目標値	担当課	SDGs 関連番号	教育	生活	就労	経済				
					乳幼児	小低	小高	中学	高校	青年	その他	保護者														
188	1-3(6) 3-1(4)	継続	子ども食堂交流事業	「子ども食堂」の参画団体に横のつながりを持たせてネットワークを形成し、運営スタッフ等の従事者の質の向上を図るため研修会を開催する等、地域全体で子どもを育てる機運の醸成を図ります。												・従事するスタッフやボランティアへの研修会兼交流会(書面開催):1回 (新型コロナウイルス感染拡大の影響で、対面での研修・交流会ができなかったため書面開催を行った。)	・運営団体等の交流会開催:3回 ・従事するスタッフやボランティアへの研修会開催:1回	174	・運営団体等の交流会開催:年3回 ・従事するスタッフやボランティアへの研修会開催:年1回	子ども未来課	1, 16			●		
再掲 (127)	1-3(2) 1-3(6)	継続	発達障害者支援センター運営事業	発達障がいのある人への支援を専門に行う拠点として、発達障がいに関する各般の問題について本人又は家族からの相談に応じ、適切な指導又は助言を行うとともに、研修等を通して関係機関等との連携を図ります。	●	●	●	●	●	●	●	●				①相談支援:870件 ②発達支援:1,050件 ③就労支援:100件 ④巡回支援回数:100件	①相談件数:2,700件 ②巡回支援回数:100件 ③ペアレントメンター養成研修修了者:85人	39,152	①相談支援:870件 ②発達支援:1,050件 ③就労支援:100件 ④巡回支援回数:100件	障害福祉企画課	3, 4			●	●	
再掲 (132)	1-3(2) 1-3(6)	継続	児童発達支援事業	障がい児に対し、日常生活における基本的な動作の指導、知識技能の付与、集団生活への適応訓練などの療育を行うとともに、障がい児の家族に対して支援を行います。	●	●	●	●	●							利用者に対して適切に支給を行う 延べ利用人数(予想) 5,795人	利用者に対して適切に支給を行う 延べ利用人数(予想) 6,589人	933,924	利用者に対して適切に支給を行い、必要なサービス提供に努めていく。	障害者支援推進課	4			●	●	
再掲 (133)	1-3(2) 1-3(6)	継続	放課後等デイサービス	学校通学中の障がい児に対して、放課後や夏休み等の長期休暇中において、生活能力向上のための訓練等を継続的に提供することにより、障がい児の自立を促進するとともに、放課後等の居場所を提供します。	●	●	●	●								利用者に対して適切に支給を行う 延べ利用人数(予想) 20,129人	利用者に対して適切に支給を行う 延べ利用人数(予想) 22,887人	3,145,022	利用者に対して適切に支給を行い、必要なサービス提供に努めていく。	障害者支援推進課	4			●	●	
再掲 (170)	1-3(4) 1-3(6) 1-4(4)	継続	若年無業者就労支援業務(ニート対策事業)	ニート等働くことに悩みを抱えている本人やその家族等を対象に就労に向けた支援を行うため、ニートの就労支援セミナーや相談会の開催、関係機関等のネットワークの構築などを行います。								●	●			開催 2回 参加者 計70人(見込) 出張相談会 10回(見込) 心理カウンセリング 12回	開催予定 2回 参加者 計70人 出張相談会 10回 心理カウンセリング 12回	988	開催予定 2回 参加者 計70人 出張相談会 10回 心理カウンセリング 12回	商業労政課	4			●		
再掲 (122)	1-3(1) 1-3(6)	継続	里親委託と里親支援(家庭的養育の推進)	保護者の不在や虐待等により、家庭で養育できない子どもをできる限り家庭的な環境で養育できるよう、里親への委託を推進するため、里親家庭支援センターと連携し、新規里親の開拓、マッチング、相談支援などを行います。	●	●	●	●	●				●			・里親委託率50%以上(全国第一位の達成) ・里子の心身の発達等に関する評価の実施100%	・里親委託率50%以上(全国第一位の達成) ・里子の心身の発達等に関する評価の実施100%	27,076	・里親委託率50%以上 ・里子の心身の発達等に関する評価の実施100%	児童相談所	16			●		
再掲 (125)	1-3(1) 1-3(6)	継続	要保護児童への自立支援	児童養護施設に入所措置又は里親に委託措置をされた子どもの大学等への進学に必要な学費、教科書代等や就労等の自立に際しての住居の借上げ、運転免許の取得等に必要経費を助成します。	●	●	●	●	●							・対象児童への支援実施率100% ・措置児童高校卒業後の進路決定率100%	・対象児童への支援実施率100% ・措置児童高校卒業後の進路決定率100%	19,315	・対象児童への支援実施率100% ・措置児童高校卒業後の進路決定率100%	児童相談所	16			●	●	
再掲 (301)	1-3(6) 2-1(3)	継続	こども園等におけるひとり親家庭等の優先入所	ひとり親家庭について、こども園等の入所にあたり必要な配慮をします。	●											ひとり親家庭に対し、こども園等の入所にあたり保育利用調整基準において加点をすることで優先的な入所に配慮している。	ひとり親家庭に対し、こども園等の入所にあたり保育利用調整基準において加点をすることで優先的な入所に配慮する。	—	適切な実施	幼保支援課	4			●	●	
再掲 (297)	1-3(6) 2-1(3)	継続	ひとり親家庭生活支援事業	母子家庭や父子家庭の精神的支援や生活の安定を図るため、子どもが悩みを気軽に相談できる大学生等(ホームフレンド)を派遣して、生活面での指導を行います。	●	●	●	●	●				●			必要な対象者への完全実施	必要な対象者への完全実施	1,547	必要な対象者への完全実施	子ども家庭課	1			●		
再掲 (302)	1-3(6) 2-1(3)	継続	母子家庭等日常生活支援事業	母子家庭等の福祉の増進を図るため、生活援助(食事の世話、掃除など:1時間単位)や子育て支援(乳幼児の保育など:2時間単位)を行う家庭生活支援員を派遣します。(利用者負担あり。0円~1,800円)	●	●	●	●	●				●			必要な対象者への完全実施	必要な対象者への完全実施	2,006	必要な対象者への完全実施	子ども家庭課	1			●		

基本目標1 すべての子ども・若者の成長を支援するまちの実現【子ども・若者支援】

施策目標3 困難を抱えた子ども・若者を支える環境づくり

基本施策6 厳しい環境に置かれた子ども・若者とその家庭への支援(静岡市子どもの貧困対策推進計画)

プランNo.	掲載か所	区分	事業名	事業概要	対象者								令和2年度 取組内容・成果(見込み)	令和3年度 取組内容(予定)	令和3年度 当初予算額 (千円)	令和8年度末 目標値	担当課	SDGs 関連番号	教育	生活	就労	経済		
					乳幼児	小低	小高	中学	高校	青年	その他	保護者												
再掲 (304)	1-3(6) 2-1(3)	継続	母子生活支援施設措置 事業	保護を必要とする配偶者のない女子等やその 子どもを母子生活支援施設に入所させ、自立 に向けて生活を支援します。	●	●	●	●	●				●	必要な対象者への完全実施 (見込延べ190世帯)	必要な対象者への完全実施 (見込延べ213世帯)	75,492	必要な対象者への完全実施	子ども家庭課	1, 16			●		
再掲 (335)	1-3(6) 3-1(3)	継続	子育て支援期限付き入居 制度	公営住宅において、子育てに適した良好な住 環境を提供するため、40歳以下の若年世帯で 小学6年生以下の子どもの扶養する世帯に対 し、期限付き入居制度を実施します。	●	●	●						●	継続実施 目標戸数:15戸 入居戸数:4戸	継続実施 目標戸数:10戸	—	入居件数:100件程度	住宅政策課	1, 4			●		
再掲 (345)	1-3(6) 3-1(3)	継続	子育て世帯等への居住支 援情報の提供	セーフティネット住宅などの居住支援の情報を集 約し、情報提供を行うことにより、住宅の購入 及び賃借をしやすい環境を整え、子育て世帯 等の市内定住の促進を図ります。	●	●	●						●	継続実施 HPの随時更新 窓口案内	継続実施 HPの随時更新 窓口案内	—	HPの随時更新 窓口案内	住宅政策課	11			●		
再掲 (303)	1-3(6) 2-1(3) 3-1(3)	継続	市営住宅等管理業務 (入居者募集に関する業 務)	母子世帯・父子世帯を対象に市営住宅入居 の優遇措置を行います。	●	●	●	●	●				●	市営住宅の入居申込受付にお いて、配偶者のいない申込者が、現 に20歳未満の子を扶養している 世帯を対象に、市営住宅入居の 優遇措置を行った。	市営住宅の入居申込受付にお いて、配偶者のいない申込者が、現 に20歳未満の子を扶養している 世帯を対象に、市営住宅入居の 優遇措置を行う。	—	優遇措置の継続実施	住宅政策課	1, 11			●		
再掲 (295)	1-3(6) 2-1(3)	継続	母子自立支援プログラム 策定事業	児童扶養手当を受給している母子家庭の状 況、ニーズ等に対応した自立支援プログラムを 策定し、自立と就業を支援します。	●	●	●	●	●				●	必要な対象者への完全実施	必要な対象者への完全実施	1,644	必要な対象者への完全実施	子ども家庭課	1, 8				●	
再掲 (296)	1-3(6) 2-1(3)	継続	母子家庭等自立支援給 付金事業	ひとり親家庭の就業自立を支援するため、高 卒資格取得費用を支援、就業に役立つ資格 取得のために各種講座を受講する場合の受講 費用を助成するほか、看護師、保育士等の資 格取得のため養成機関で修業する場合には 修業期間中の生活費と賃貸住宅の費用を支 給します。									●	●	支給決定対象者に対する確実な 支給	支給決定対象者に対する確実な 支給	31,676	支給決定対象者に対する確実な 支給	子ども家庭課	1, 4, 8			●	●
189	1-3(6)	継続	生活保護	生活保護法に基づき最低限度の生活を保障 するとともに、その自立を助長します。	●	●	●	●	●	●	●	●	●	生活扶助費の適正な支給及び 世帯の状況に応じた適正な支援 の実施	生活扶助費の適正な支給及び 世帯の状況に応じた適正な支援 の実施	15,517,000	生活扶助費の適正な支給及び 世帯の状況に応じた適正な支援 の実施	福祉総務課	1					●
再掲 (152)	1-3(2) 1-3(6)	継続	重度心身障害者医療費 助成事業	重度心身障害者が疾病等により医療機関等 で治療した場合に、経済的な負担を軽減する 目的から、医療保険診療に係る自己負担及 び訪問看護等基本利用料を助成します。	●	●	●	●	●	●	●	●	●	疾病等により医療機関で治療 した場合に、医療費保険診療にか かる自己負担額及び訪問看護基 本料を助成	疾病等により医療機関で治療 した場合に、医療費保険診療にか かる自己負担額及び訪問看護基 本料を助成	1,197,522	利用者に対して適切に支給を行 い、必要なサービス提供に努めて いく。	障害者支援推進 課	3					●
190	1-3(6)	継続	交通遺児等福祉手当	交通事故等の災害により、生計維持者を亡 くした児童の生活の向上と福祉の増進を図るた め、手当を支給します。	●	●	●	●					●	支給決定対象者に対する確実な 支給	支給決定対象者に対する確実な 支給	1,200	支給決定対象者に対する確実な 支給	子ども家庭課	1, 3				●	
再掲 (298)	1-3(6) 2-1(3)	継続	児童扶養手当の支給	父又は母と生計を一にしていない子どもが養 育される家庭生活の安定と自立の促進に寄与す るため、児童扶養手当を支給し、児童福祉の 増進を図ります(所得制限あり)。	●	●	●	●					●	支給決定対象者に対する確実な 支給	支給決定対象者に対する確実な 支給	2,141,874	支給決定対象者に対する確実な 支給	子ども家庭課	1				●	

基本目標1 すべての子ども・若者の成長を支援するまちの実現【子ども・若者支援】

施策目標3 困難を抱えた子ども・若者を支える環境づくり

基本施策6 厳しい環境に置かれた子ども・若者とその家庭への支援(静岡市子どもの貧困対策推進計画)

プランNo.	掲載か所	区分	事業名	事業概要	対象者								令和2年度 取組内容・成果(見込み)	令和3年度 取組内容(予定)	令和3年度 当初予算額 (千円)	令和8年度末 目標値	担当課	SDGs 関連番号	教育	生活	就労	経済			
					乳幼児	小低	小高	中学	高校	青年	その他	保護者													
再掲 (299)	1-3(6) 2-1(3)	継続	母子家庭等医療費の助成	所得税非課税世帯の母子家庭の母子や父子家庭の父子、両親のいない子どもを対象に、母子家庭等の生活の安定と健康の保持を目的として、医療費を助成します。	●	●	●	●	●	●	●	●	●	支給決定対象者に対する確実な助成	支給決定対象者に対する確実な助成	130,290	支給決定対象者に対する確実な助成	子ども家庭課	3					●	
再掲 (300)	1-3(6) 2-1(3)	継続	母子父子寡婦福祉資金の貸付	母子家庭等に経済的自立の助成と生活意欲の助長を図り、併せてその扶養している子どもの福祉を増進するため、修学資金、生活資金等の各種資金を貸付します。		●	●	●	●	●	●	●	●	貸付決定対象者への貸付を完全実施	貸付決定対象者への貸付を完全実施	369,500	貸付決定対象者への貸付を完全実施	子ども家庭課	1, 4					●	
191	1-3(6)	継続	実費徴収に伴う補足給付事業★	認定こども園や保育所等を利用した際の日用品や文房具等の購入に必要な費用を助成します。										●	①生活保護世帯に対し、特定教育・保育を受けた場合に保育所等が徴収する日用品や文房具等の購入に要する費用を助成する。 174人 ②私立幼稚園を利用する低所得者の給食費(副食材料費)を助成する。 827人	①生活保護世帯に対し、特定教育・保育を受けた場合に保育所等が徴収する日用品や文房具等の購入に要する費用を助成する。 184人 ②私立幼稚園を利用する低所得者の給食費(副食材料費)を助成する。 486人	17,343	①生活保護世帯に対し、特定教育・保育を受けた場合に保育所等が徴収する日用品や文房具等の購入に要する費用を助成する。 161人 ②私立幼稚園を利用する低所得者の給食費(副食材料費)を助成する。 763人	幼保支援課	1, 4					●
192	1-2(3) 1-3(6)	継続	勤労者教育資金貸付金 利子補給事業	市内に在住する勤労者の教育費の負担を軽減し、福祉の増進を図るため、県労働金庫が勤労者に貸し付ける教育資金貸付金に対して、利子補給を行います。										●	事業の適正な実施	事業の適正な実施	3,800	事業の適正な実施	商業労政課	1		●			●

基本目標1 すべての子ども・若者の成長を支援するまちの実現【子ども・若者支援】

施策目標4 地域に愛着を持ち、すすんで行動する若者を創出する環境づくり

基本施策1 地域に根付いた子ども・若者の育成

プラン No.	掲載 場所	区分	事業名	事業概要	対象者								令和2年度 取組内容・成果(見込み)	令和3年度 取組内容(予定)	令和3年度 当初予算額 (千円)	令和8年度末 目標値	担当課	SDGs 関連番号		
					乳幼児	小低	小高	中学	高校	青年	その他	保護者								
【重点事業】																				
193	1-4(1)	継続	成人の日行事(式典)	新成人を対象に記念式典を開催し、成人としての自覚を促す機会を提供します。										R3.1.3 オンライン配信による式典の実施 申込者数:4,308人 視聴回数(延べ):6,019回 視聴人数(延べ):4,485人	R4.1.3式典の実施 参加者数:3,300人 参加率:50%	10,325	式典の実施参加率:50%	青少年育成課	17	
再掲(89)	1-1(2) 1-2(2) 1-2(3) 1-4(1) 1-4(3) 3-1(2) 3-1(3) 3-1(4)	継続	地域学校協働活動推進事業	これまで推進してきた学校・地域の連携協力による学校応援団の仕組みを基盤として、放課後子ども教室等の活動に関わる地域人材との共有を図りながら、学校と地域が連携・協働する体制を整えます。		●	●	●					●	●	・全小中学校区で地域学校協働活動を実施。 ・放課後子ども教室(地域学校協働活動)の実施。(小学校82校予定)	・全小中学校区で地域学校協働活動を実施。 ・放課後子ども教室(地域学校協働活動)の実施。(小学校82校予定)	103,496	・全小中学校区で地域学校協働活動を実施。 ・放課後子ども教室(地域学校協働活動)の実施。(小学校86校予定)	教育総務課	4
再掲(39)	1-1(2) 1-4(1)	継続	しずまえ漁業見学ツアー	市内で行われる漁業や競りの様子、水産物加工工場の見学等を通して、地元の産業である水産業の現場に触れ、魚や魚食を身近に感じてもらうためのツアーを行います。		●	●							新型コロナウイルス感染症拡大により事業中止	水産業の見学等を通し魚や魚食を身近に感じてもらうツアーの開催	330	年1回実施 15組30人の参加	水産漁港課	14	
再掲(41)	1-1(2) 1-2(3) 1-4(1)	継続	南アルプスユネスコエコパーク井川自然の家自然体験活動(主催事業の実施)	自然の素晴らしさや厳しさにふれながら、自然環境の中で集団訓練、野外活動、自然探求等を通じて豊かな情操を培い、健全な心身の育成を図るもので、自然の家が主催する体験活動を行います。	●	●	●	●	●	●	●	●	●	新型コロナウイルス感染症対策を実施しながら、小・中学生対象事業と家族・グループ対象事業を合わせて15回実施予定。 指導者育成事業は、新型コロナウイルス感染症の影響により全講座中止した。 事業参加者の満足度:100%	参加者の声を基に、小・中学生対象事業と家族・グループ対象事業を合わせて19回実施予定。また、指導者育成事業の取り組みを強化し、フォローアップ研修等を計画しており、5回実施予定。	6,074	参加者の満足度100%	教育総務課	4	
【関連事業】																				
再掲(236)	1-4(1) 1-4(3) 3-1(3)	継続	地域防災訓練への参加促進	市内の小中高校に対し地域防災訓練への参加を促すとともに、関係団体に対し青少年の訓練参加への協力を依頼します。また、自主防災組織の実施する訓練計画を市HPに掲載し、青少年の地域防災訓練への参加促進のための情報提供を行います。	●	●	●	●	●	●	●	●	●	・今年度は、感染症拡大防止の観点から訓練規模を縮小したため、市内の小学校、中学校、高等学校には家庭内防災対策の再確認を依頼した	・市内の小学校、中学校、高等学校に対し地域防災訓練への参加を促す ・関係団体に対し青少年の訓練参加への協力を依頼する ・青少年の地域防災訓練への参加促進のため、自主防災組織の訓練計画を市HPに掲載するなど、情報提供を行う	1,469	地域防災訓練参加者130,200人	危機管理課	11, 13	
194	1-4(1)	継続	魅力づくり事業(キャラクターPR)	区公認キャラクター「トロペー」を活用したイベント等を実施することで、区の魅力発信や子どもたちの地元への愛着心向上を図ります。	●	●	●						●	こども園ダンス教室の実施(4園)各種イベントへの出演	子ども園ダンス教室の実施(7園)	1,634	区内全こども園でのダンス教室実施 イベント出演回数50回	駿河区役所地域総務課	11	
再掲(26)	1-1(2) 1-4(1)	継続	牛妻地区かわまちづくり事業	地区連合会、単位町内会、その他団体が協同し、川遊び空間の運営を行い、子どもが学び・体験する場を創出します。		●	●						●	コロナの影響で中止	夏季期間の開校(実施時期:7~8月頃予定)	220	事業の継続運営	河川課	4	

基本目標1 すべての子ども・若者の成長を支援するまちの実現【子ども・若者支援】

施策目標4 地域に愛着を持ち、すすんで行動する若者を創出する環境づくり

基本施策1 地域に根付いた子ども・若者の育成

プラン No.	掲載 場所	区分	事業 名	事業 概要	対象者								令和2年度 取組内容・成果(見込み)	令和3年度 取組内容(予定)	令和3年度 当初予算額 (千円)	令和8年度末 目標値	担当課	SDGs 関連番号		
					乳幼児	小低	小高	中学	高校	青年	その他	保護者								
195	1-4(1) 1-4(2)	継続	少年団体(子ども会)運営費補助金	静岡市子ども会連合会の運営費及び事業費を補助します。 活動内容:親子ふれあいわくわくフェスティバル、球技大会、指導者講習会等		●	●	●	●	●	●		●	●	補助金交付:1件 静岡市子ども会連合会の行う青少年の心身の健やかな成長及び社会参加の促進のための事業等(補助事業)に対し補助金を交付し、青少年の健全育成を推進。	補助金交付:1件 静岡市子ども会連合会の行う青少年の心身の健やかな成長及び社会参加の促進のための事業等(補助事業)に対し補助金を交付し、青少年の健全育成を推進する。	5,638	延べ参加者数:5,125人	青少年育成課	4
196	1-4(1) 1-4(2)	継続	少年団体(ボーイスカウト)運営費補助金	ボーイスカウト静岡県連盟静岡地区及びボーイスカウト静岡県連盟清水地区の運営費及び事業費を補助します。 活動内容:指導者講習会、救急法講習会、奉仕活動等		●	●	●	●	●	●		●	●	補助金交付:2件 ボーイスカウトが行う青少年の健全な成長と人格の形成を目的とした事業(補助事業)に対し補助金を交付し、青少年の健全育成を推進。	補助金交付:2件 ボーイスカウトが行う青少年の健全な成長と人格の形成を目的とした事業(補助事業)に対し補助金を交付し、青少年の健全育成を推進する。	682	延べ参加者数:3,106人	青少年育成課	4
197	1-4(1) 1-4(2)	継続	少年団体(ガールスカウト)運営費補助金	ガールスカウト静岡市協議会の運営費及び事業費を補助します。 活動内容:指導者講習会、キャンプ等		●	●	●	●	●	●		●	●	補助金交付:1件 ガールスカウトが行う青少年の健全な成長と人格の形成を目的とした事業(補助事業)に対し補助金を交付し、青少年の健全育成を推進。	補助金交付:1件 ガールスカウトが行う青少年の健全な成長と人格の形成を目的とした事業(補助事業)に対し補助金を交付し、青少年の健全育成を推進する。	565	延べ参加者数:2,835人	青少年育成課	5
再掲 (230)	1-4(1) 1-4(2)	継続	市青年団協議会事業補助金	静岡市青年団連絡協議会の運営費及び事業費を補助します。 活動内容:青年スポーツ交流会、ボランティア活動等									●		補助金交付:1件 青年の仲間づくりや交流を活発化し、青年の社会参加の促進や次世代のリーダー育成を目的とした、活動に対する補助金交付事業の実施。	補助金交付:1件 青年の仲間づくりや交流を活発化し、青年の社会参加の促進や次世代のリーダー育成を目的とした、活動に対する補助金交付事業の実施。	200	延べ参加者数:190人	青少年育成課	17
再掲 (42)	1-1(2) 1-2(3) 1-4(1)	継続	南アルプスユネスコエコパーク井川自然の家自然体験活動(利用者受入れ)	自然の素晴らしさや厳しさにふれながら、自然環境の中で集団訓練、野外活動、自然探求等を通じて豊かな情操を培い、健全な心身の育成を図るもので、小中学校が主体となる、宿泊訓練や、その他団体による自然体験活動を行います。	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	利用者に対し、安心・安全な施設運営を行い、計画的に利用者を受け入れた。 新型コロナウイルス感染症対策として、定員の縮小や施設内の定期消毒等を行った。 延べ利用者数:6,000人	利用者に対し、安心・安全な施設運営を行い、計画的に利用者を受け入れ、利用者数の増加を図っていく。	41,049	年間延べ利用者数:18,000人	教育総務課	4
198	1-4(1)	継続	治水啓発用冊子「わたしたちの巴川」の作成	巴川の歴史、水辺の文化、洪水の記録をはじめ、これまでの治水対策事業の取組等を紹介し、啓発を図ります。		●	●						●		5,700部発行予定 市立小学4年生全児童に配布 治水交流資料館へ配架	5,700部発行予定 市立小学4年生全児童に配布 治水交流資料館へ配架	489	データ化への移行を図ったうえで、静岡市ホームページ年間アクセス件数100回	河川課	4
再掲 (40)	1-1(2) 1-4(1)	継続	しずまえ新聞作成	しずまえの魚の知識や料理法などを新聞形式にし、市内小学生に配付して、しずまえのPRを行うとともに、魚の知識や関心を高めていきます。		●	●	●							「しずまえ新聞」を発行 ・令和2年6月号 ・令和2年11月号	「しずまえ」への関心を高めてもらうため、「しずまえ」の情報を載せた新聞を配付	880	年2回配付 市内全小中学生が対象	水産漁港課	14
再掲 (47)	1-1(2) 1-4(1)	継続	次世代エネルギーパーク見学ツアー	次世代エネルギーパークだけでなく、市内観光スポットも併せてバスで巡ることで、周辺観光と「自然」と「文化」に触れながら、地球温暖化と再生可能エネルギーについて学習します。		●	●	●	●	●	●		●		次世代エネルギーパークのPR動画年1本公表(※コロナウイルスの影響により、ツアーから動画公表に変更)	年1回のツアーを実施	709	毎年参加者数40人	環境創造課	4, 7, 8, 13
199	1-4(1)	継続	駿府匠宿の運営	静岡市工芸と歴史の体験施設「駿府匠宿」において、静岡市の伝統工芸や近代産業の創作体験等を通じて本市の地場産業及び伝統工芸への理解を深めてもらいます。		●	●	●	●	●	●		●		来場者数 60,420人	創作体験者数 17,700人 来場者数 200,000人	236,016	来場者数 270,000人 (現在、施設のあり方を見直していることから、変更になる可能性あり)	産業政策課 (産業振興課)	4

基本目標1 すべての子ども・若者の成長を支援するまちの実現【子ども・若者支援】

施策目標4 地域に愛着を持ち、すすんで行動する若者を創出する環境づくり

基本施策1 地域に根付いた子ども・若者の育成

プラン No.	掲載 場所	区分	事業名	事業概要	対象者								令和2年度 取組内容・成果(見込み)	令和3年度 取組内容(予定)	令和3年度 当初予算額 (千円)	令和8年度末 目標値	担当課	SDGs 関連番号	
					乳幼児	小低	小高	中学	高校	青年	その他	保護者							
再掲 (34)	1-1(2) 1-4(1)	継続	産業フェア(林業祭)工作教室	産業フェアしずおかの林業ゾーンで、主に来場親子を対象に、地域材であるスギ無垢材で製作された椅子、本箱、道具箱等のキットを配布し、木工工作教室を行います。										新型コロナの影響により中止(産業フェアは開催)	1回開催 親子100組	701の一部	累計7回開催 累計親子700組	中山間地振興課	15
再掲 (36)	1-1(2) 1-4(1)	継続	お茶の美味しい入れ方教室	お茶の入れ方を学ぶことを通じてお茶に対する味覚を育み、お茶を中心とした食育を図るとともに、本市基幹産物であるお茶の啓蒙、消費促進を図ります。										静岡市内小学校全90校へ希望調査を取り、希望校55校に対して実施見込み。(対象:原則小学5・6年生)	静岡市内小学校全90校へ希望調査を取り、希望校に対して実施。(対象:原則小学5・6年生)	4,035	令和元年度実数値である、実施校73校を維持。	農業政策課	4
再掲 (112)	1-2(3) 1-4(1)	拡充	自然と環境学習の情報サイト「しずおかみんなのしげんたんけんてちょう」	静岡市の生き物やそれらの発見場所、地域の自然環境、行政や市民団体等が実施するイベントや環境教育事業などの情報を発信し、市民の環境保全意識の向上を図ります。										年間PV(ページビュー)数:39,000件	年間PV(ページビュー)数:40,000件 ※第2次生物多様性地域戦略の改定にあわせ、トップページを改修	599	年間PV数:36,000件	環境創造課	14, 15
200	1-4(1) 1-4(4)	継続	地場産業後継者育成事業(クラフトマンサポート事業)	地場産業界での新規就業者促進や後継者育成等を図るため、下記4事業を実施します。 ①地場産業現場実習短期支援事業(技術指導者のもとで3ヶ月間の短期現場実習) ②地域産業現場実習長期支援事業(技術指導者のもとで2年間の長期現場実習) ③地域産業独立支援補助金交付事業(独立や工房等の開業に伴う建物の賃借料に対して補助を行います。) ④伝統工芸技術者雇用奨励金交付事業(市内在住の長期支援修了者を雇用した事業主に対して、雇用奨励金を交付します。)										①現場実習短期支援 1人(295千円) ②現場実習長期支援 5人(4,500千円) ③独立支援 1人(17千円) ④雇用奨励 0人	①現場実習短期支援 5人(1,500千円) ②現場実習長期支援 8人(7,500千円) ③独立支援 2人(720千円) ④雇用奨励 0人	9,720	新規で長期支援制度を利用した者のうち、その制度が終了した後も、その業界に従事している者の割合が80%以上	産業政策課(産業振興課)	4
201	1-4(1)	継続	静岡まつり「竹千代キッズ」	静岡まつりの市民総踊り「夜桜乱舞」を小中学生に広めるため、デモンストレーターによる練習会等を実施します。										・練習会:12回 ※活動期間:令和2年8月～令和3年7月まで ・静岡まつりイベント、令和3年4月開催の静岡まつりへの参加	・練習会:10回以上 ※活動期間:令和3年8月～令和4年7月まで ・静岡まつりイベント、令和4年4月開催の静岡まつりへの参加	700	・練習会:10回以上 ・静岡まつりイベント、静岡まつりへの参加	まちは劇場推進課	4
202	1-4(1)	継続	静岡型体験観光推進事業	本市の歴史・風土などにより培われた多くの資源を体験プログラムとして整備・提供し、一般観光客、教育旅行等の交流人口の増加を図ります。										・体験プログラムの造成と商品化 ・体験観光の誘客宣伝活動	・学校関係者・旅行会社等からヒアリングを行い、ニーズに応じた体験プログラムやツアーを造成 ・コロナ禍の影響により、首都圏等から修学旅行の目的地変更を行う山梨県、長野県等近隣県の学校等に対し、誘致宣伝活動を実施	3,929	しずおか体験教育旅行会員施設利用者数を前年度実績より増加させる	観光・MICE推進課(観光・国際交流課)	4
203	1-4(1)	継続	登呂博物館の運営	登呂遺跡に関する資料の収集及び保管、研究を行うとともに、これらの展示と教育普及をはじめとする各種事業を展開します。										・264日開館 ・企画展5回開催 ・入館者数90,000人 ・体験活動 ・各種講座、教育普及活動:15回 ・多言語パンフレットの配付	・302日開館 ・企画展5回開催 ・入館者数180,000人 ・体験活動 ・各種講座、教育普及活動:15回 ・多言語パンフレットの配付	52,093	・企画展年5回開催 ・各種講座・教育普及活動を年20回以上実施	文化財課	4

基本目標1 すべての子ども・若者の成長を支援するまちの実現【子ども・若者支援】

施策目標4 地域に愛着を持ち、すすんで行動する若者を創出する環境づくり

基本施策1 地域に根付いた子ども・若者の育成

プラン No.	掲載 場所	区分	事業名	事業概要	対象者								令和2年度 取組内容・成果(見込み)	令和3年度 取組内容(予定)	令和3年度 当初予算額 (千円)	令和8年度末 目標値	担当課	SDGs 関連番号		
					乳幼児	小低	小高	中学	高校	青年	その他	保護者								
204	1-4(1)	継続	登呂遺跡の整備・運営	登呂遺跡を整備し、弥生時代の生活を体験できる体験学習の場を提供します。		●	●	●	●	●	●	●	●	●	・遺跡を活用した体験事業 ・復元水田事業 ・各種講座、教育普及活動:5回	・遺跡を活用した体験事業 ・復元水田事業 ・各種講座、教育普及活動:5回	30	遺跡を活用した各種講座・教育普及活動を年5回以上実施	文化財課	4
205	1-4(1)	継続	文化財資料館の運営	静岡浅間神社が所蔵する資料や、市域の歴史資料などの展示活動を通じて、市民の地域文化に対する意識を高めるとともに、文化財に対する理解を深めます。		●	●	●	●	●	●	●	●	・企画展:2回 ・ミニ企画展:1回	・企画展:3回、*令和3年12月閉館予定	15,338	・常設展示 ・企画展:2回 ・ミニ企画展:1回	文化財課	11	
206	1-4(1)	継続	埋蔵文化財センターの運営	遺跡の発掘調査において出土した数多くの遺物を貴重な文化財として有効に活用することを目的として、整理・保管するとともに、収蔵品の一部を展示し、市の埋蔵文化財・歴史への理解を深めます。		●	●	●	●	●	●	●	●	・出土遺物の整理 ・常設展示 ・企画展3回	・出土遺物の整理 ・常設展示 ・企画展3回	6,924	・企画展:年3回、参加者数700人 ・常設展示:来館者数2,600人	文化財課	4	
207	1-4(1)	継続	三保松原文化創造センター	三保松原を訪れる者に名勝及び世界遺産である三保松原の価値や魅力の発信、松原保全に係る普及啓発を行います。		●	●	●	●	●	●	●	●	・常設展示 ・企画展4回開催 ・主催、連携イベント:24回	・年間を通じた常設展示 ・企画展年4回開催 ・施設の多言語パンフレットの配布 ・松原保全ハンドブックの配布 ・松原保全研修10回以上 ・主催、連携イベント:20回以上	33,518	企画展年4回開催	文化財課	4, 11, 14, 15, 17	
208	1-4(1)	継続	(仮称)静岡市歴史文化施設建設事業	歴史文化のまちづくり拠点として(仮称)静岡市歴史文化施設を令和4年度に開館し、過去を学び今を知ることによって郷土への愛着と誇りを深め、未来を考えることができる人材づくりに寄与していきます。				●	●	●	●	●	●	建築及び展示工事の着工	・建築及び展示工事 ・情報システム整備 ・資料収集及び調査 ほか	4,318,837	令和4年度内の開館	歴史文化課	16	
209	1-4(1)	継続	芹沢銈介美術館の運営	日本を代表する染色家、芹沢銈介の作品・コレクションの企画展示や作品の保存収集、調査研究を通して、芹沢の芸術を広く紹介し、その偉業を後世に伝えていきます。	●	●	●	●	●	●	●	●	●	①企画展示(3回) ②普及活動 出前講座(3回) ワークショップ(2回)	①企画展示(4回) ②普及活動 講演会(1回) 出前講座(2回) ワークショップ(3回)	48,825	①企画展示(3回) ②普及活動 講演会(1回) 出前講座(1回) ワークショップ(3回) 呈茶(3回)	文化振興課	4	
210	1-4(1)	継続	静岡市美術館事業	多様な美術表現の公開、静岡市の特色ある美術文化の創造と発信、美術文化の交流促進により、美術に関する市民の知識及び教養の向上を図ることを目標とした事業を実施します。		●	●	●	●	●	●	●	●	①展覧会事業 年間5～6本の展覧会の開催、ミュージアム教室等展示解説の実施 講演会等展覧会関連事業の開催 ②交流事業(教育普及事業) 各種ワークショップの開催(「しずびオープンアトリエ」「しずびちびっこプログラム」「プレゼントワークショップ」「暦とあそぶワークショップ」)、トークイベント等の開催	①展覧会事業 年間5～6本の展覧会の開催、ミュージアム教室等展示解説の実施 講演会等展覧会関連事業の開催 ②交流事業(教育普及事業) 各種ワークショップの開催(「しずびオープンアトリエ」「しずびちびっこプログラム」「プレゼントワークショップ」「暦とあそぶワークショップ」)、トークイベント等の開催	270,195 (指定管理料の一部)	総来場者数:150万人 展覧会満足度(年平均):85% (令和6年度に目標値の見直し等をする予定)	文化振興課	4	
再掲 (57)	1-1(2) 1-4(1)	終了	全国少年少女スポーツチャンバラ選手権大会in由比	スポーツチャンバラをやっている少年少女が目指す全国大会を開催し、誰もが自由にそして安全に楽しめる生涯スポーツとしてスポーツチャンバラの普及、啓発を図ります。なお、礼儀を学び青少年の健全育成と健康で明るいまちづくりに寄与します。		●	●	●	●					コロナの影響により中止 第46回大会 R3.3.20～21 参加者 小学生～18歳 会場 清水総合体育館	(R2で終了)	(R2で終了)	小中学生の全国大会の開催(年1回)及び入場者数500人以上(補助金は令和2年度で終了予定)	スポーツ交流課	3, 4, 11	

基本目標1 すべての子ども・若者の成長を支援するまちの実現【子ども・若者支援】

施策目標4 地域に愛着を持ち、すすんで行動する若者を創出する環境づくり

基本施策1 地域に根付いた子ども・若者の育成

プラン No.	掲載 か所	区分	事業名	事業概要	対象者								令和2年度 取組内容・成果(見込み)	令和3年度 取組内容(予定)	令和3年度 当初予算額 (千円)	令和8年度末 目標値	担当課	SDGs 関連番号
					乳 幼児	小 低	小 高	中 学	高 校	青 年	そ の 他	保 護 者						
211	1-1(2) 1-4(1)	継続	各種目別全国大会出場 選手補助金	市を代表して全国的な規模及び水準で開催 されるスポーツ競技大会に出場するスポーツ選 手の所属する団体等に対し、補助金を交付し ます。		●	●	●	●	●			年間交付件数 23件	年間交付件数 170件	7,540千円	年間交付件数 170件 (令和4年度にスポーツ推進計画 の見直し等をする予定)	スポーツ振興課	3
212	1-4(1)	継続	静岡市高等学校野球大 会	市内高校の競技力向上とチーム間の交流を通 して、一層の競技力向上を図るため、市内17 校によるトーナメント戦を開催します。									年1回開催	年1回開催	1,100千円	年1回開催 (令和4年度にスポーツ推進計画 の見直し等をする予定)	スポーツ振興課	3
354	1-4(1) 1-2(3)	新規	高山植物保護セミナー	市内の高校山岳部・登山部を対象に、南アル プスユネスコエコパークの豊かな自然や地域の 文化を学ぶ「高山植物保護セミナー」を開催 し、将来の自然保護や文化の伝承等の担い 手育成を図ります。									(R3新規)	・事前学習会(7月上旬) ・現地体験セミナー(8月中旬) ・事後学習会(12月中旬) 全3回での実施を予定	1,507	現地体験学習を含めた高山植物 保護セミナーの実施	環境創造課	4、15
355	1-4(1) 1-2(3)	新規	南アルプスユネスコエコパー ク学習ハンドブックの配布	静岡市内の全小学3年生を対象に環境学習 ハンドブック「しずおかの宝南アルプスユネスコ エコパーク」を配布し、静岡市が世界に認められ た財産である南アルプスやユネスコエコパークの 学習を促進します。		●							(R3新規)	市内の全小学3年生へ配布 (5,500部程度)	209	市内の全小学3年生へ配布	環境創造課	4、15

基本目標1 すべての子ども・若者の成長を支援するまちの実現【子ども・若者支援】

施策目標4 地域に愛着を持ち、すすんで行動する若者を創出する環境づくり

基本施策2 社会性をはぐくむための、多様な体験・交流活動の推進

プラン No.	掲載 場所	区分	事業名	事業概要	対象者								令和2年度 取組内容・成果(見込み)	令和3年度 取組内容(予定)	令和3年度 当初予算額 (千円)	令和8年度末 目標値	担当課	SDGs 関連番号	
					乳幼児	小低	小高	中学	高校	青年	その他	保護者							
【重点事業】																			
再掲 (77)	1-2(2) 1-4(2)	継続	人権教育研修会	年2回、各小中学校の人権教育担当者を集めて、人権教育の研修会を実施します。		●	●	●					道徳・人権教育担当者会を年1回実施した。人権意識や人権感覚を高め、人権課題に取り組めるよう、研修会を開催し、人権教育の推進を図った。	小・中学校の人権教育担当者を対象に、国が主催する中央研修の内容について伝達する。また、教員の人権意識や人権感覚を高め、教育活動の中で人権教育が実施されるよう校内研修等で使用する資料等を配付し情報提供する。		—	道徳(人権)教育担当者会を年2回実施する。人権意識や人権感覚を高めたり、人権課題に取り組めるようにしたりするための研修を行う。時代により対応できるような研修を行っていく。	学校教育課	4
213	1-4(2)	継続	青少年国際親善交流事業	青少年に国際交流の機会を提供することで、外国人との相互理解と友好を深め、広い国際的視野と国際協調の精神を養います。				●	●	●			講座「南米文化を学ぼう！」実施。パラグアイやブラジル出身の在日外国人講師による文化の紹介やサンバのダンス体験を行った。	国際交流事業の開催：1回	100	参加者の満足度 95%		青少年育成課	17
再掲 (195)	1-4(1) 1-4(2)	継続	少年団体(子ども会)運営費補助金	静岡市子ども会連合会の運営費及び事業費を補助します。 活動内容：親子ふれあいわくわくフェスティバル、球技大会、指導者講習会等		●	●	●	●	●	●		補助金交付：1件 静岡市子ども会連合会の行う青少年の心身の健やかな成長及び社会参加の促進のための事業等(補助事業)に対し補助金を交付し、青少年の健全育成を推進。	補助金交付：1件 静岡市子ども会連合会の行う青少年の心身の健やかな成長及び社会参加の促進のための事業等(補助事業)に対し補助金を交付し、青少年の健全育成を推進する。	5,638	延べ参加者数：5,125人		青少年育成課	4
再掲 (196)	1-4(1) 1-4(2)	継続	少年団体(ボーイスカウト)運営費補助金	ボーイスカウト静岡県連盟静岡地区及びボーイスカウト静岡県連盟清水地区の運営費及び事業費を補助します。 活動内容：指導者講習会、救急法講習会、奉仕活動等		●	●	●	●	●	●		補助金交付：2件 ボーイスカウトが行う青少年の健全な成長と人格の形成を目的とした事業(補助事業)に対し補助金を交付し、青少年の健全育成を推進。	補助金交付：2件 ボーイスカウトが行う青少年の健全な成長と人格の形成を目的とした事業(補助事業)に対し補助金を交付し、青少年の健全育成を推進する。	682	延べ参加者数：3,106人		青少年育成課	4
再掲 (197)	1-4(1) 1-4(2)	継続	少年団体(ガールスカウト)運営費補助金	ガールスカウト静岡市協議会の運営費及び事業費を補助します。 活動内容：指導者講習会、キャンプ等		●	●	●	●	●	●		補助金交付：1件 ガールスカウトが行う青少年の健全な成長と人格の形成を目的とした事業(補助事業)に対し補助金を交付し、青少年の健全育成を推進。	補助金交付：1件 ガールスカウトが行う青少年の健全な成長と人格の形成を目的とした事業(補助事業)に対し補助金を交付し、青少年の健全育成を推進する。	565	延べ参加者数：2,835人		青少年育成課	5
再掲 (326)	1-4(2) 3-1(2)	拡充	青少年・乳児ふれあい促進事業	地域の子育て支援拠点施設である地域子育て支援センターや保健福祉センター、学校等の協力を得て、小学生(高学年)や中学生、高校生が、乳児とその保護者との交流や触れ合いを通して、命の尊さや子育てのすばらしさを体験します。	●		●	●	●			●	児童館12館で実施	児童館12館(7月以降は13館)で実施	(240,348の一部)	児童館13館で実施		子ども未来課	4, 16

基本目標1 すべての子ども・若者の成長を支援するまちの実現【子ども・若者支援】

施策目標4 地域に愛着を持ち、すすんで行動する若者を創出する環境づくり

基本施策2 社会性をはぐくむための、多様な体験・交流活動の推進

プラン No.	掲載 場所	区分	事業名	事業概要	対象者								令和2年度 取組内容・成果(見込み)	令和3年度 取組内容(予定)	令和3年度 当初予算額 (千円)	令和8年度末 目標値	担当課	SDGs 関連番号	
					乳幼児	小低	小高	中学	高校	青年	その他	保護者							
【関連事業】																			
再掲 (28)	1-1(1) 1-1(2) 1-4(2)	継続	生涯学習施設における講座	市内生涯学習施設において、乳幼児・小中学生及びその保護者を対象に、各種講座を実施します。	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
再掲 (61)	1-1(2) 1-4(2)	継続	応急手当普及啓発活動の促進	毎年度、市内の小中学校の1学年を対象に学校教育における救命講習を実施することで命の大切さを学ぶ環境を醸成します。				●	●						6,628千円		静岡県内全小中学校での実施体制の構築 市内小学校(公・私89校) 市内中学校(公・私54校)	救急課	3, 11
214	1-4(2)	継続	動物愛護館体験学習受入	動物愛護館における犬猫の世話、館内清掃等、命に係わる職業を経験することで、心豊かな人間性の育成を図ります。				●	●	●	●						— 受入予定人数:35人	動物指導センター	4
215	1-4(2)	継続	学校出前講座「豊かなセクシュアリティ」(中学生対象)	中学生を対象に、男女がお互いの「性と生」を尊重し合い、豊かな人間関係を築くことを目的とした学校出前講座を実施します。				●							60	毎年度7校程度実施	男女共同参画課	5	
216	1-4(2)	継続	中学生向け男女共同参画副読本の作成	男女共同参画に関する副読本(「人と人とのよりよい関係をつくるために」と、「市内相談機関一覧・LGBTQについて」)を作成し、市内中学校に配付します。				●							300	生徒用・教師用 年6,800冊程度作成	男女共同参画課	5	
217	1-4(2)	継続	若者を対象としたDV防止対策の実施	中学生～大学生といった若年層に対して、お互いを尊重する関係を築けるよう、デートDV防止の啓発を進めます。						●						指定管理料を含む	女性会館事業(指定管理事業)において毎年度継続実施。	男女共同参画課	5
218	1-4(2)	継続	心の輪を広げる障害者理解促進事業	障がいの有無にかかわらず、国民誰もが相互に人格と個性を尊重し支えあう共生社会を目指し、障がいのある人に対する国民の理解を図るため、市民を対象に「心の輪を広げる体験作文」及び「障害者週間」のポスターを公募します。	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	14	・ポスター、作文の公募 ・内閣府推薦作品の選出 ・市入賞者の表彰	障害福祉企画課	3, 4	
219	1-4(2)	継続	心のバリアフリーイベント	市民に対し障がいのある人及び障がいの理解と認識を深めるとともに、障がいのある人があらゆる分野の活動に積極的に参加する等障がい者福祉の増進を図ることを目的として、障害者週間にちなみ障がいのある人とない人が交流しふれあうためのイベントを実施します。	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	1,450	(1)交流イベントの実施:1回 (2)啓発品の配付 (3)パネル展示	障害福祉企画課	3, 4	
再掲 (70)	1-2(2) 1-4(2)	継続	国際理解教育の推進	幼稚園、小中学校の行事や学習時間において講師を派遣し、自国や他地域・他国の伝統や文化を学ぶなど、国際理解教育を推進します。	●	●	●								252,708	中学校に配置されているALTを活用し、全小中学校で他国の文化等を学ぶ国際理解教育を実施する。さらに小学校ではGETも活用して国際理解教育の充実を図る。外国の小中学校の子どもを招いての国際交流はコロナウイルスの状況に応じて対応する。	学校教育課	4	

基本目標1 すべての子ども・若者の成長を支援するまちの実現【子ども・若者支援】

施策目標4 地域に愛着を持ち、すすんで行動する若者を創出する環境づくり

基本施策2 社会性をはぐくむための、多様な体験・交流活動の推進

プラン No.	掲載 か所	区分	事業名	事業概要	対象者								令和2年度 取組内容・成果(見込み)	令和3年度 取組内容(予定)	令和3年度 当初予算額 (千円)	令和8年度末 目標値	担当課	SDGs 関連番号	
					乳 幼児	小 低	小 高	中 学	高 校	青 年	そ の 他	保 護 者							
220	1-4(2)	継続	訪日教育旅行誘致事業	海外の学生を対象に教育旅行を誘致し、小中高生との交流を通じて国際相互理解を深めるとともに、外国人観光客の増大を図ります。										・台湾で開催される商談会に出展し、誘致拡大を図る ・バス補助金の周知徹底	・台湾で開催される商談会に出展し、誘致拡大を図る ・バス補助金の周知徹底	300	訪日教育旅行受入件数を前年度実績より増加させる	国際交流課	4
221	1-4(2)	継続	ストックトン市青少年派遣、受入事業(国際交流協会予算)	市内に在住、若しくは市内の中学校・高校に通っている中高生5人を英語スピーチコンテスト上位入賞者の中から面接試験にて決定し、教員の引率者1人と共に夏休みの約2週間を姉妹都市ストックトン市でホームステイし、現地の市民や青少年との交流等を行います。 ストックトン市で作文(静岡へ行きたい理由)、面接で選ばれた5人の派遣生が、7月下旬に来静します。滞在中は市内の家庭にホームステイし、市内の中高生との交流を図ります。静岡市からの派遣生と共にアメリカに帰国します。(静岡市国際交流協会)										【派遣】 令和2年度スピーチコンテストは予選選考まで行ったものの、3月8日の本大会は新型コロナウイルスの感染拡大のため中止とした。その後、関係機関と協議の結果、令和2年度の派遣事業の中止を決定した。 【受入】 令和2年度の受入事業に関し、ストックトン市からは派遣出来ない旨の連絡を受け、中止した。	【派遣】 例年行っているスピーチコンテストについて、令和3年3月の開催は中止とした。ただし、派遣事業について、先方と連絡をとりつつ、令和3年度7月～8月に渡航できるかどうかを中心に実施に向けた調整を継続。令和4年度に向けたスピーチコンテストもストックトン市と調整の上、開催を検討する。 【受入】 令和3年7月下旬にアメリカから日本へ出国できるのかを中心に実施に向けて検討する。	【派遣】 1,139 【受入】 638	継続して派遣、受入れを実施する。	国際交流課	4
222	1-4(2)	継続	シェルビービル市青少年派遣、受入事業(国際交流協会予算)	姉妹都市交流の促進、及び姉妹都市交流を支える人材の育成を図ります。										【派遣】 新型コロナウイルス感染拡大のため中止。 【受入】 新型コロナウイルス感染拡大のため中止	【派遣】 8月中旬に渡航できるのかを検討しながら、派遣予定。 【受入】 6月下旬に来静できるようになるのか検討しながらではあるが、受入予定。	【派遣】 460 【受入】 352	継続して派遣、受入れを実施する。	国際交流課	4
223	1-4(2)	継続	牧野スカラシップ(国際交流協会予算)	元静岡市国際交流協会事務局長故牧野豊氏が、生前に静岡市とオマハ市の姉妹都市交流促進に果たした功績を評し、ネブラスカ大学オマハ校(UNO)で勉学を志す静岡市出身学生に対し正規授業料を減免します。UNOでの勉学に強い意欲を持ち、将来に渡り、国際交流・国際協力の分野で活動することを希望する人材を選考しUNOに推薦します。(静岡市国際交流協会)										令和2年10月から公募し、令和3年1月上旬に面接を実施。派遣は7月から8月を予定。	令和3年10月から公募を実施し、令和3年度12月～1月頃に面接を実施予定。派遣は令和4年7月から8月を予定。	65	毎年1人以上の派遣を実施する。	国際交流課	4
224	1-4(2)	継続	浜石野外センターの運営	青少年をはじめ、広く市民の体育の向上及びレクリエーションの増進を図り、野外活動を通じて健全な青少年の育成その他社会教育の振興を図ります。										・施設利用許可事務(60件見込) ・令和4年度以降の施設の方向性検討	・施設利用許可事務(60件見込) ・令和4年度以降の施設の方向性検討	14,500	年間延べ利用者数 760人の確保	青少年育成課	4
225	1-4(2)	継続	静岡市芸術文化活動発表会参加奨励補助金	芸術文化の振興を図るため、芸術文化活動の発表会に参加する個人・団体へ補助を行います。										申請件数:3件 交付件数:3件(見込み)	予算額を上限に、申請者に対し補助金を交付	1,500	交付割合100%	文化振興課	4
226	1-2(3) 1-4(2)	継続	JFAこころのプロジェクト「夢の教室」	JFAから派遣される様々な競技のスポーツ選手を夢先生として講師に迎え、夢先生の体験談をもとに、夢を持つことの素晴らしさ、それに向かって努力することの大切さを子どもたちに伝える授業を実施します。										市内小学校3クラスで実施 ※実施はクラス単位	市内小学校5クラス程度での実施 ※実施はクラス単位	834	市内小学校5クラス程度での実施	スポーツ交流課	4, 11, 17

基本目標1 すべての子ども・若者の成長を支援するまちの実現【子ども・若者支援】

施策目標4 地域に愛着を持ち、すすんで行動する若者を創出する環境づくり

基本施策2 社会性をはぐくむための、多様な体験・交流活動の推進

プラン No.	掲載 場所	区分	事業名	事業概要	対象者								令和2年度 取組内容・成果(見込み)	令和3年度 取組内容(予定)	令和3年度 当初予算額 (千円)	令和8年度末 目標値	担当課	SDGs 関連番号		
					乳幼児	小低	小高	中学	高校	青年	その他	保護者								
再掲 (56)	1-1(2) 1-4(2)	継続	清水エスパルスホームゲーム小中学生招待事業	子どもがプロスポーツを身近に体感できる機会を創出し、将来の夢や希望を抱きかけとなるよう青少年の健全育成を図るため、市内全小中学生をホームゲームに招待します。		●	●							・市内小学校91校、中学校57校 全校児童・生徒へ招待案内チラシを配布しホームゲームに招待した。 ・小学校3校を選手が直接訪問し、招待試合のPRを行った。	・市内小学校90校、中学校57校 全校児童・生徒へ招待案内チラシを配布しホームゲームに招待する。 ・年間数校程度選手が直接学校を訪問し、招待試合のPRを行う。	— (清水エスパルス交流事業補助金4,500千円の一部)	・市内全小中学校をホームゲームに招待する。 ・年間数校程度選手が直接学校を訪問し、招待試合のPRを行う。	スポーツ交流課	3, 10, 11, 17	
227	1-4(2)	継続	静岡市立小・中学校音楽学習交流会	小学校、中学校の選択・学級・学年・全校による合唱・器楽等の日ごろの音楽学習の成果を発表します。全体交流として、参加者全員による全体演奏を行い、音楽的感動を共有できる音楽交流を行います。また、演奏に関する質疑や意見交換等の教員研修の場を設け、今後の指導に生かしていきます。		●	●	●						新型コロナウイルスの影響により、開催を中止した。	静岡市民文化会館及びマリナートで参加希望のある小学校、中学校の音楽発表会を実施する。合計3日間を予定している。	555	静岡市民文化会館及びマリナートで参加希望のある小学校、中学校の音楽発表会を実施する。	学校教育課	4	
再掲 (52)	1-1(2) 1-4(2)	継続	静岡市子どもミュージカル補助金	静岡市子どもミュージカル実行委員会に対し、補助金を交付します。 (静岡市子どもミュージカルは、公募によって集められた子どもたちが主役のミュージカル公演であり、市民により組織された実行委員会が、ミュージカルの創作を通じて子どもたちに創造する喜びを知ってもらうことを目的に、2年に1回開催します。)		●	●	●						新型コロナウイルス感染症の影響によりR2年度公演は延期。今年度を準備年度とし、来年度を公演年度とする。	8月21日(土)、22日(日) 各2回 公演予定 静岡市民文化会館	7,000	<奇数年度> 出演者オーディション・ミュージカルスクール入校式実施 <偶数年度> 公演を実施(4公演) 来場者数各2,000人以上	文化振興課	4	
228	1-2(3) 1-4(2)	継続	オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業	市内の小中高等学校にオリンピック・パラリンピック教育を推進するために、推進校を指定し、展開します。		●	●	●						実践推進校16校を募集した。	令和2年度で国の事業が一旦終了するので、新たに令和3年度の国の事業に募集する。市内実践推進校15校を募集する。	3,856千円 (センター:918千円 交流課:2,938千円)	実践推進校16校を募集する。(国の同事業にあわせ、令和2年度で終了予定)	教育センター スポーツ交流課	4	
229	1-4(2)	継続	青少年研修センターの運営	教育委員会の承認を受けた団体に対し、次の施設について無料で貸し出しを行います。 ・青少年研修センター(市中央体育館内) 利用者の範囲:市内に居住、若しくは市内の事業所に勤務する者が15人以上で、教養の向上を図る目的で結成した団体				●	●	●				施設の利用許可事務 ・年間合計利用数 600コマ、900人 (新型コロナウイルス感染症の影響で利用減) 施設の維持管理	施設の利用許可事務 (年間合計利用コマ数800コマ以上) 施設の維持管理	192	年間延べ利用者数1,500人の確保	青少年育成課	4	
230	1-4(1) 1-4(2)	継続	市青年団協議会事業補助金	静岡市青年団連絡協議会の運営費及び事業費を補助します。 活動内容:青年スポーツ交流会、ボランティア活動等							●			補助金交付:1件 青年の仲間づくりや交流を活発化し、青年の社会参加の促進や次世代のリーダー育成を目的とした、活動に対する補助金交付事業の実施。	補助金交付:1件 青年の仲間づくりや交流を活発化し、青年の社会参加の促進や次世代のリーダー育成を目的とした、活動に対する補助金交付事業の実施。	200	延べ参加者数:190人	青少年育成課	17	
231	1-4(2)	継続	林業体験教室	高山・市民の森園内でチェーンソー取扱い講習を行い、林業体験(伐採、玉切りなど)を実施します。									●	●	教室開催 4回	教室開催4回	2350の一部	教室開催 累計28回	中山間地振興課	15
再掲 (347)	1-4(2) 1-4(3) 3-1(4)	継続	「市民活動支援システム」活用推進事業	市民と行政がお互いの情報を共有し、地域課題の解決に取り組むために、市民活動に関する情報を収集するとともに、地域課題の解決のために必要な市が保有するデータをあわせて広く市民に向けてウェブサイトに掲載して情報発信を行います。							●	●	●		市民活動支援システム「ここからネット」の運用	市民活動支援システム「ここからネット」の運用	2,839	アクセス件数:224,000件 (令和4年度に市民活動促進基本計画の見直し等をする予定)	市民自治推進課	17

基本目標1 すべての子ども・若者の成長を支援するまちの実現【子ども・若者支援】

施策目標4 地域に愛着を持ち、すすんで行動する若者を創出する環境づくり

基本施策3 自発的なまちづくり活動の促進

プラン No.	掲載 場所	区分	事業名	事業概要	対象者								令和2年度 取組内容・成果(見込み)	令和3年度 取組内容(予定)	令和3年度 当初予算額 (千円)	令和8年度末 目標値	担当課	SDGs 関連番号	
					乳幼児	小低	小高	中学	高校	青年	その他	保護者							
【重点事業】																			
232	1-4(3)	継続	わかものまち推進事業 (高校生まちづくりスクールプロジェクト編)	若者の社会参画を促すことで、自己有用感及び地域への愛着を高めます。										高校生まちづくりスクールの開催 参加者28人が、9つのテーマ(プロジェクト)に分かれ、課題解決に取り組んだ。 実施回数:6回	高校生まちづくりスクールの開催 実施回数:6回	699	①「自分が社会のために何かできるという実感」を得られた参加者の割合 95% ②「これからの静岡市への希望・期待感」を得られた参加者の割合 95%	青少年育成課	11
233	1-4(3)	継続	高校生まちづくりスクール (ビジネス編)	高校生が地域課題をビジネスの手法によって解決する方法について、マーケティングやブランディングを学びながら取り組む講座を通じて、郷土“静岡”に愛着や誇りを持ち、これからのまちづくりの重要な担い手となるよう育成を図ります。										高校生まちづくりスクールの開催 参加者24人が、7つのテーマに分かれ、社会課題解決のためのビジネスプランを発表した。 実施回数:5回	高校生まちづくりスクールの開催 実施回数:5回	1,305	参加者のうち、シチズンシップが身についた人の割合 80%	生涯学習推進課	11
234	1-4(3)	継続	成人の日行事 (実行委員会)	記念式典を新成人自らが企画・運営することで、大人としての自覚を促し、仲間と協働することの大切さや故郷への愛着を育む。										実行委員会の実施:7回 Web会議ツールを利用した実行委員会の開催 新型コロナウイルスの影響により、オンライン配信による式典を開催。	実行委員会の実施:6回 成人式式典の開催	10,325	実行委員会の実施:6回 成人式式典の開催	青少年育成課	17
235	1-4(3) 3-1(2)	継続	子ども・若者のボランティア活動の充実	ボランティア活動は、活動を通して自分が必要とされている存在であることを実感させ、喜びや生きがいを与え、様々な社会問題への問題意識を深め、社会貢献への気持ちを育む効果があることから、地域社会や民間団体等とも協力し、ボランティア活動を推進します。		●	●	●	●	●				新型コロナウイルスの影響により、学校でのボランティア活動は多くの部分で縮小となったが、各学校の状況に応じて、地域清掃、廃品回収、地域防災、各種募金活動等を行い、ボランティア活動を実施した。	各学校の状況に応じて、地域清掃、廃品回収、地域防災、介護施設訪問等の地域交流、各種募金活動等を行い、ボランティア活動を推進する。また、静岡型小中一貫教育の全校実施に向け、地域とのつながりの中でボランティア活動を各グループが状況に応じて計画・実施する。	—	ボランティア活動を通して自分自身の存在価値や社会問題への意識を高め、全小中学校で、より積極的な社会貢献ができるようなボランティア活動を実施する。	学校教育課	4
再掲 (91)	1-2(3) 1-4(3) 1-4(4) 3-1(4)	継続	学生スクールボランティア	学生スクールボランティアが教科指導や総合学習、特別支援教育、放課後の学習相談・あそび、日本語指導などにアシスタントとして参加することで、認定こども園、小・中学校の教育課程実施の充実を支援するとともに、教員志望者の開拓及び資質・能力の向上につなげる。		●	●	●						学生スクールボランティアが教科指導や総合学習、特別支援教育、放課後の学習相談・あそび、日本語指導などにアシスタントとして参加できるよう、HPを充実させるとともに、直接、地元の大学を定期的に訪問し、学生ボランティアの求人活動を展開する。35校に学生スクールボランティアを派遣した。	学生スクールボランティアが教科指導や総合学習、特別支援教育、日本語指導、中学校の部活動等にアシスタントとして参加できるように、HPを充実させるとともに、直接、地元の大学を定期的に訪問し、学生ボランティアの求人活動を展開する。小中学校の4割以上に派遣できることを目標とする。	—	小中学校の半数以上に派遣できるように教育委員会のHP等を通して広報活動に努める。	学校教育課	4
236	1-4(1) 1-4(3) 3-1(3)	継続	地域防災訓練への参加促進	市内の小中高校に対し地域防災訓練への参加を促すとともに、関係団体に対し青少年の訓練参加への協力を依頼します。また、自主防災組織の実施する訓練計画を市HPに掲載し、青少年の地域防災訓練への参加促進のための情報提供を行います。	●	●	●	●	●	●	●			・今年度は、感染症拡大防止の観点から訓練規模を縮小したため、市内の小中学校、高等学校には家庭内防災対策の再確認を依頼した	・市内の小中学校、高等学校に対し地域防災訓練への参加を促す ・関係団体に対し青少年の訓練参加への協力を依頼する ・青少年の地域防災訓練への参加促進のため、自主防災組織の訓練計画を市HPに掲載するなど、情報提供を行う	1,469	地域防災訓練参加者 130,200人	危機管理課	11, 13

基本目標1 すべての子ども・若者の成長を支援するまちの実現【子ども・若者支援】

施策目標4 地域に愛着を持ち、すすんで行動する若者を創出する環境づくり

基本施策3 自発的なまちづくり活動の促進

プラン No.	掲載 場所	区分	事業名	事業概要	対象者								令和2年度 取組内容・成果(見込み)	令和3年度 取組内容(予定)	令和3年度 当初予算額 (千円)	令和8年度末 目標値	担当課	SDGs 関連番号	
					乳幼児	小低	小高	中学	高校	青年	その他	保護者							
【関連事業】																			
237	1-4(3)	継続	静岡市子ども模擬議会	議場を見学するだけでなく、実際に議長、議員、市長、局長などの席に座って本会議の流れを模擬体験することで、参加児童に市議会や市政への興味を持ってもらうとともに、その家族の関心を高めることにもつなげます。										実施校数7校	実施校数14校	—	当該年度前3か年の平均値	調査法制課	4, 16
238	1-4(3)	継続	わたしの主張静岡市大会 開催事業	市内各中学校より主張作文を募集し、書類選考の後に各区代表9人による口頭発表会を実施します。口頭発表会での審査により、代表者2人を県大会に推薦します。										市内各中学校より主張作文を募集(参加19校、応募総数860点)、書類選考で選ばれた9人による審査会実施。代表者2人を県大会に推薦。	市内全54中学校に周知。公開審査会の実施。	88	市内全54中学校に周知。公開審査会の実施。	青少年育成課 児童生徒支援課	4
再掲 (89)	1-1(2) 1-2(2) 1-2(3) 1-4(1) 1-4(3) 3-1(2) 3-1(3) 3-1(4)	継続	地域学校協働活動推進事業	これまで推進してきた学校・地域の連携協力による学校応援団の仕組みを基盤として、放課後子ども教室等の活動に関わる地域人材との共有を図りながら、学校と地域が連携・協働する体制を整えます。										・全小中学校区で地域学校協働活動を実施。 ・放課後子ども教室(地域学校協働活動)の実施。(小学校82校予定)	・全小中学校区で地域学校協働活動を実施。 ・放課後子ども教室(地域学校協働活動)の実施。(小学校82校予定)	103,496	・全小中学校区で地域学校協働活動を実施。 ・放課後子ども教室(地域学校協働活動)の実施。(小学校86校予定)	教育総務課	4
239	1-4(3)	継続	高校生向け啓発事業	高校生向けの啓発冊子を発行、配付し若者の選挙に対する意識の向上を図ります。										刊行物(選挙トリセツ)を市内の高校に15,000冊配布。	刊行物(選挙トリセツ)を市内の高校に14,000冊配布。	297	若年層への効果的な選挙啓発の周知方法が、ネット環境も含め刻々と変化することから、小学生以上大学生までの幅広い年齢層向けに情報発信するため、ホームページに掲載し、年1回更新する。	選挙管理委員会事務局	4
240	1-4(3)	継続	駿河区区民意見聴取事業	区の区域に居住し、通学し、又は通勤する市民の参画により区の魅力ある地域づくりを推進するための区民意見聴取を行います。										新型コロナウイルスの感染拡大防止により事業を見直し。区民アンケートを実施した。	学生と地域住民による意見聴取	817	聴取された意見の区政へのフィードバック実施率100%	駿河区役所地域総務課	11
再掲 (347)	1-4(2) 1-4(3) 3-1(4)	継続	「市民活動支援システム」活用推進事業	市民と行政がお互いの情報を共有し、地域課題の解決に取り組むために、市民活動に関する情報を収集するとともに、地域課題の解決のために必要な市が保有するデータをあわせて広く市民に向けてウェブサイトに掲載して情報発信を行います。										市民活動支援システム「ここからネット」の運用	市民活動支援システム「ここからネット」の運用	2,839	アクセス件数:224,000件(令和4年度に市民活動促進基本計画の見直し等をする予定)	市民自治推進課	17
241	1-4(3)	継続	河川環境アドプトプログラム事業	環境美化ボランティア活動により、安倍川・藁科川・興津川のゴミを取り除き、美しい河川を創出するとともに、川を愛する環境保全の意識付けを図ります。										年間活動回数:50回	年間活動回数:98回	197	年間活動回数:108回	環境創造課	14, 15

基本目標1 すべての子ども・若者の成長を支援するまちの実現【子ども・若者支援】

施策目標4 地域に愛着を持ち、すすんで行動する若者を創出する環境づくり

基本施策3 自発的なまちづくり活動の促進

プラン No.	掲載 箇所	区分	事業名	事業概要	対象者								令和2年度 取組内容・成果(見込み)	令和3年度 取組内容(予定)	令和3年度 当初予算額 (千円)	令和8年度末 目標値	担当課	SDGs 関連番号	
					乳幼児	小低	小高	中学	高校	青年	その他	保護者							
242	1-2(3) 1-4(3) 3-1(3)	継続	市政出前講座・静岡市の防災体制とわが家の地震対策	南海トラフ巨大地震の被害想定。また、居住する地域で発生が予想される自然災害の被害や対策などを具体的に講話することで「自助・共助」の重要性を理解させるため、学校等において地震対策・防災教育に関する教育プログラムを実施する際、関係機関と連携して講師等を派遣します。	●	●	●	●	●	●	●	●	●	市政出前講座の実施	市政出前講座の実施	1,491	年間230回実施	危機管理課	11, 13

基本目標1 すべての子ども・若者の成長を支援するまちの実現【子ども・若者支援】

施策目標4 地域に愛着を持ち、すすんで行動する若者を創出する環境づくり

基本施策4 社会の一員として、自立した若者をはぐむ取組の推進

プラン No.	掲載 か所	区分	事業名	事業概要	対象者								令和2年度 取組内容・成果(見込み)	令和3年度 取組内容(予定)	令和3年度 当初予算額 (千円)	令和8年度末 目標値	担当課	SDGs 関連番号	
					乳 幼 児	小 低	小 高	中 学	高 校	青 年	そ の 他	保 護 者							
【重点事業】																			
再掲 (33)	1-1(2) 1-4(4)	継続	こどもクリエイティブタウンま あ・る運営事業	小学生を中心とした子ども(未就学児童から中 高校生まで)を対象に、仕事とものづくりの体験 の場を提供し、これからの時代に求められる子 どもたちの創造力(将来を描く力、社会とかかわ る力、挑戦する力)を育成します。	●	●	●	●	●					利用者数 7,000人	利用者数 10万人	87,803	利用者数 10万人/年	産業政策課	3
再掲 (74)	1-2(2) 1-3(6) 1-4(4)	継続	キャリア教育の推進	小中学生の社会的・職業的自立に向けて必要 な基盤となる能力や、態度を育てることを目 的としたキャリア教育を推進します。		●	●	●					中学校の職場体験学習は、新型 コロナウイルス感染症の影響によ り、未実施。	市立の全中学校で、学校の実情 に合わせて、職場体験学習を行 う。全小中学校担当者を対象に キャリア教育についての内容の周 知を行う。	79	市立の全中学校で、連続3日間 以上の職場体験学習を行う。全 小中学校担当者を対象にキャリア 教育担当者会を実施する。	学校教育課	4	
243	1-4(4)	継続	次世代育成プロジェクト事 業	民間教育力の活用や本市の第一線で活躍す る様々な専門家を学校に派遣することにより児 童生徒の学習の充実を図ります。 キャリア教育の推進のため、連続3日間以上の 職場体験学習を全中学校で実施します。		●	●	●					・各小中学校ごとキャリア教育年 間指導計画に基づき各事業を実 施した。 ・民間教育力活用事業を実施し た。	・各小中学校ごとキャリア教育年 間指導計画に基づき各事業を実 施する。 ・民間教育力活用事業を実施す る。	3,147	・各小中学校ごとキャリア教育年 間指導計画に基づき各事業を実 施する。 ・民間教育力活用事業の実施と 中学校において職場体験学習を 実施する。	学校教育課	4, 8	
244	1-4(4)	継続	高校生向けキャリア形成 支援事業	市内の高校生を対象に、地域社会で働く社会 人との交流等を通じて、主体性やコミュニケー ション能力を養うとともに、地元企業の理解を 促し、今後の進路決定(キャリア・ビジョン)に向 けた一助とします。								●	●	延べ実施校 10校(見込)	延べ実施校 10校以上	14,565 (他事業と一括で委 託)	将来の選択肢が広がったと回答し た生徒の割合 90%以上	商業労政課	4
245	1-4(4)	継続	高校生企業ガイダンスの開 催	就職を希望する高校生等を対象に、多業種 の市内企業が業務内容を説明することで、高校 生の職業観の育成を図ります。								●	●	新型コロナウイルス感染症の影響 で、開催を中止した。	開催 1回 参加高校生 500人 参加事業所 40社	—	参加生徒の満足度 80%以上	商業労政課	4
246	1-4(4)	継続	大学等起業家育成支援 事業	市内の高校、大学及び専門学校の学生を対 象に、中小企業診断士等の専門家を活用 し、「起業・創業の仕方(ビジネスプランの作成 方法等)」など、起業・創業に関する実践的な 支援を実施します。								●	●	市内高校、大学及び専門学校で の実施件数 12校	市内高校、大学及び専門学校で の実施件数 10校	69,290の一部	市内高校、大学及び専門学校で の実施件数 10校/年	産業政策課 (産業振興課)	3

基本目標1 すべての子ども・若者の成長を支援するまちの実現【子ども・若者支援】

施策目標4 地域に愛着を持ち、すすんで行動する若者を創出する環境づくり

基本施策4 社会の一員として、自立した若者をはぐむ取組の推進

プラン No.	掲載 か所	区分	事業名	事業概要	対象者								令和2年度 取組内容・成果(見込み)	令和3年度 取組内容(予定)	令和3年度 当初予算額 (千円)	令和8年度末 目標値	担当課	SDGs 関連番号						
					乳 幼児	小 低	小 高	中 学	高 校	青 年	そ の 他	保 護 者												
【関連事業】																								
再掲 (83)	1-2(2) 1-4(4)	継続	学校対応事業	①幼児動物教室・ふれあい教室(年長児・特別支援学校等対象の動物とふれあいを通じて命の大切さを学ぶ教室) ②飼育体験学習の受入れ(主に中学生の職場体験等) ③ツアーガイドの実施(園児・小学・中学・高校生を対象にした園内ツアーガイド) ④出張動物園ガイド/講演(飼育担当者が学校を訪問し講演) ⑤校外学習の受入れ(学校の授業の一環として質問への対応等)	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	①150回 ②休止 ③休止 ④20回 ⑤5回	今後の新型コロナウイルス感染症の状況により開催可否を判断	—	①100回 ②30人 ③30回 ④10回 ⑤10回	日本平動物園	4
再掲 (91)	1-2(3) 1-4(3) 1-4(4) 3-1(4)	継続	学生スクールボランティア	学生スクールボランティアが教科指導や総合学習、特別支援教育、放課後の学習相談・あそび、日本語指導などにアシスタントとして参加することで、認定こども園、小・中学校の教育課程実施の充実を支援するとともに、教員志望者の開拓及び資質・能力の向上につなげる。	●	●	●												学生スクールボランティアが教科指導や総合学習、特別支援教育、放課後の学習相談・あそび、日本語指導などにアシスタントとして参加できるように、HPを充実させるとともに、直接、地元の大学を定期的に訪問し、学生ボランティアの求人活動を展開する。35校に学生スクールボランティアを派遣した。	学生スクールボランティアが教科指導や総合学習、特別支援教育、日本語指導、中学校の部活動等にアシスタントとして参加できるように、HPを充実させるとともに、直接、地元の大学を定期的に訪問し、学生ボランティアの求人活動を展開する。小中学校の4割以上に派遣できることを目標とする。	—	小中学校の半数以上に派遣できるように教育委員会のHP等を通して広報活動に努める。	学校教育課	4
247	1-4(4)	継続	職場(消防署)体験学習の実施	消防業務の役割や使命等について理解を深め、思春期を迎えた中学生に対し働くことの大切さや将来の自分を考えるため、中学生を対象とした職場(消防署)体験学習を実施します。															実施校数・受入人数 3校・10人 (内訳) 市内 実施なし 島田・吉田・牧之原地域 3校・10人 ※新型コロナウイルス感染防止のため、各学校より辞退あり。(教育委員会により対応が異なる。)	中学校からの職場体験学習の受け入れ希望に対応する。 新型コロナウイルス感染拡大の状況によるが、状況が落ち着いた場合は平成31年度並実施予定。	—	職場体験学習希望校の100%受入れ	消防総務課	4, 8
248	1-4(4)	継続	ヤングライフセミナー	消費生活相談員や消費者教育推進員が中学校、高校、専門学校、大学等へ出向き、賢い消費者になるために、悪質商法に関する情報、生活設計に関する基礎知識等を提供します。															9回実施	5回実施 ※令和3年度から、事業名を「若者の消費者トラブル対策講座」に変更	198	毎年5回実施 (令和4年度消費者教育推進計画の見直し等をする予定)	生活安心安全課	12
再掲 (144)	1-3(2) 1-4(4)	継続	特別支援教育進路指導協議会による進路支援	中学校特別支援学級及び特別支援学校生徒を対象に進路懇談会や進路説明会等を開催し、卒業後の進路決定を支援します。															進路懇談会1回、進路説明会1回、卒業生激励会1回、内容を変更して開催。	進路懇談会1回、進路説明会1回、卒業生激励会1回開催。	425	進路懇談会1回、進路説明会1回、卒業生激励会1回開催。	学校教育課 (特別支援教育センター)	4, 8
249	1-4(4)	継続	高等学校と企業との情報交換会	市内事業所への就職促進を図るため、高校の就職指導担当教諭と地元企業の人事担当者との情報交換を行います。															新型コロナウイルス感染症の影響で、開催を中止した。	開催 1回 参加高校等 40校 参加事業所 75社 (情報交換会)	—	延べ6回開催 (毎年度1回)	商業労政課	4

基本目標1 すべての子ども・若者の成長を支援するまちの実現【子ども・若者支援】

施策目標4 地域に愛着を持ち、すすんで行動する若者を創出する環境づくり

基本施策4 社会の一員として、自立した若者をはぐむ取組の推進

プラン No.	掲載 場所	区分	事業名	事業概要	対象者								令和2年度 取組内容・成果(見込み)	令和3年度 取組内容(予定)	令和3年度 当初予算額 (千円)	令和8年度末 目標値	担当課	SDGs 関連番号	
					乳幼児	小低	小高	中学	高校	青年	その他	保護者							
250	1-4(4)	継続	大学等・企業担当者情報交換会	新卒者の地元企業への円滑な就職に結びつけるため地元企業人事担当者や県内外の大学等の就職指導者の交流会を開催します。							●	●		新型コロナウイルス感染症の影響で、開催を中止した。	開催 1回 参加事業所 65社(市内) 参加大学等 100校	645	延べ6回開催 (毎年度1回)	商業労政課	4
251	1-4(4)	継続	若者の地元就職・UIJターン就職促進事業(大学生向け市内で働く魅力発見セミナー)	市内企業への就職促進策の一環として、学生に対し、市内企業の認知度を向上を図るとともに、魅力ある就職先があることを伝え、市内企業への就職を促すため、市内企業の経営者等と学生の意見・情報交換会を開催します。							●	●		開催 5回(見込)	開催 5回	14,565 (他事業と一括で委託)	市内企業への就職関心度 90%以上	商業労政課	4
再掲 (200)	1-4(1) 1-4(4)	継続	地場産業後継者育成事業 (クラフトマンサポート事業)	地場産業界での新規就業者促進や後継者育成等を図るため、下記4事業を実施します。 ①地場産業現場実習短期支援事業(技術指導者のもとで3ヶ月間の短期現場実習) ②地域産業現場実習長期支援事業(技術指導者のもとで2年間の長期現場実習) ③地域産業独立支援補助金交付事業(独立や工房等の開業に伴う建物の賃借料に対して補助を行います。) ④伝統工芸技術者雇用奨励金交付事業(市内在住の長期支援修了者を雇用した事業主に対して、雇用奨励金を交付します。)							●	●	●	①現場実習短期支援 1人(295千円) ②現場実習長期支援 5人(4,500千円) ③独立支援 1人(17千円) ④雇用奨励 0人	①現場実習短期支援 5人(1,500千円) ②現場実習長期支援 8人(7,500千円) ③独立支援 2人(720千円) ④雇用奨励 0人	9,720	新規で長期支援制度を利用した者のうち、その制度が終了した後も、その業界に従事している者の割合が80%以上	産業政策課 (産業振興課)	4
再掲 (170)	1-3(4) 1-3(6) 1-4(4)	継続	若年無業者就労支援業務(ニート対策事業)	ニート等働くことに悩みを抱えている本人やその家族等を対象に就労に向けた支援を行うため、ニートの就労支援セミナーや相談会の開催、関係機関等のネットワークの構築などを行います。							●	●		開催 2回 参加者 計70人(見込) 出張相談会 10回(見込) 心理カウンセリング 12回	開催予定 2回 参加者 計70人 出張相談会 10回 心理カウンセリング 12回	988	開催予定 2回 参加者 計70人 出張相談会 10回 心理カウンセリング 12回	商業労政課	4

基本目標2 子育てに喜びや生きがいを感じることができるまちの実現【子育て支援】

施策目標1 喜びと安心感をもって生み育てることができる環境づくり

基本施策1 結婚、妊娠・出産、子育てに至る切れ目のない支援や医療保健体制の充実

プランNo.	掲載か所	区分	事業名	事業概要	対象者								令和2年度 取組内容・成果(見込み)	令和3年度 取組内容(予定)	令和3年度 当初予算額 (千円)	令和8年度末 目標値	担当課	SDGs 関連番号		
					乳幼児	小低	小高	中学	高校	青年	その他	保護者								
【重点事業】																				
252	2-1(1) 3-1(4)	継続	しずおかエンジェルプロジェクト推進事業	出会いのイベントや「婚活」に関する講座を開催し、官民連携により結婚を支援する気運の醸成を図ります。										●	①結婚を希望する男女の出会いの機会創出 ・出会いのイベント:6回 ・親対親の代理婚活:2回 ②婚活サポーターの活用	①結婚を希望する男女の出会いの機会創出 ・出会いのイベント:5回 ・親対親の代理婚活:1回 ②婚活サポーターの活用	1,284	出会いのイベントにおける成立カップル率30.1%以上を維持	青少年育成課	5
253	2-1(1)	継続	不妊治療費助成事業	高額な治療費がかかる特定不妊治療(体外受精、顕微受精、男性不妊治療)、一般不妊治療(人工授精)及び不育症治療に対し、その治療に要する費用の一部を助成し、子どもを持つことを望む夫婦の経済的負担の軽減を図るとともに、少子化対策に繋がります。										●	支給決定対象者に対する確実な助成	支給決定対象者に対する確実な助成	260,900	支給決定対象者に対する確実な助成	子ども家庭課	3
254	2-1(1)	継続	妊婦健康診査事業★	安全・安心な分娩や出産、妊婦の経済的負担の軽減を図るため、母子健康手帳交付時に妊婦健康診査受診票(最大14回分の公費負担)及び妊婦歯科健康診査受診票(1回分の公費負担)を交付し、医療機関等への受診を勧奨します。										●	実人数:4,638人 延べ件数:55,563件 平均受診回数:11.98回	実人数:4,200人 延べ件数:51,325件 平均受診回数:12.22回	390,900	実人数:4,407人 延べ件数:52,795件 平均受診回数:11.98回	子ども家庭課	3
255	2-1(1)	継続	産後ケア事業	出産後の母体の回復や育児等に不安を持つ母親とその乳児を対象として、助産所等での宿泊や通所、助産師等による訪問により、母親の心身両面でのケアや育児指導を行います。	●									●	利用延べ日数:2,530日	利用延べ日数:2,530日	13,393	利用延べ日数:2,530日	子ども家庭課	3, 16
256	2-1(1)	継続	ママケアデイサービス事業	生後4か月以上1歳未満の子どもを持つ母親とその子どもを対象として、母親が休息できる場所を提供し、子育ての先輩が子育てに関する「話し相手」となり、合わせて専門職による相談支援を行うことで、母親の家庭や地域での孤立感を和らげ、安心して子育てできるよう支援します。	●									●	利用組数:520組	利用組数:520組	6,699	利用組数:520組	子ども家庭課	3
257	2-1(1)	継続	子ども医療費の助成	子どもの健やかな成長と子育て家庭の経済的負担の軽減のため、子ども(0歳～高校生世代まで)が病気やけがなどで医療機関に入院・通院したときの医療費の一部を助成します。	●	●	●	●	●						支給決定対象者に対する確実な助成	支給決定対象者に対する確実な助成	2,295,252	支給決定対象者に対する確実な助成	子ども家庭課	3

基本目標2 子育てに喜びや生きがいを感じることができるまちの実現【子育て支援】

施策目標1 喜びと安心感をもって生み育てることができる環境づくり

基本施策1 結婚、妊娠・出産、子育てに至る切れ目のない支援や医療保健体制の充実

プラン No.	掲載 か所	区分	事業名	事業概要	対象者								令和2年度 取組内容・成果(見込み)	令和3年度 取組内容(予定)	令和3年度 当初予算額 (千円)	令和8年度末 目標値	担当課	SDGs 関連番号		
					乳 幼 児	小 低	小 高	中 学	高 校	青 年	そ の 他	保 護 者								
【関連事業】																				
258	2-1(1)	拡充	結婚新生活支援補助金 事業	新婚世帯に対し、住居費や引越費用を補助 することで、婚姻に伴う新生活に対する経済的 負担を軽減し、未婚化及び晩婚化の抑制を 図ります。										●	補助金交付件数:45件 補助金交付金額:1,000万円 補助金上限額 ・29歳以下:60万円 ・30~39歳以下:30万円	補助金交付見込件数:40件 補助金上限額 ・29歳以下:60万円 ・30~39歳以下:30万円	9,000	①自分たちの結婚が地域に応援 されていると感じた利用者の割合: 96%以上 ②結婚新生活に伴う経済的不安 の軽減に役立ったと思う利用者の 割合:96%以上	青少年育成課	11
259	2-1(1)	継続	母子健康手帳の交付と妊 婦保健相談・訪問	各保健福祉センターにおいて母子健康手帳の 交付時に個別面談により妊婦の身体的・精神 的・社会的状況について把握し、母子の健康 管理や育児に対するの保健相談を実施しま す。また、必要に応じて訪問支援を実施しま す。										●	● 交付時の面接相談実施率100%	● 交付時の面接相談実施率100%	17,158	● 交付時の面接相談実施率100%	子ども家庭課	3
260	1-3(6) 2-1(1)	継続	妊娠・出産包括支援★ (利用者支援事業(母子 保健型))	子育て世代包括支援センターでは、妊娠期か ら子育て期にわたるまでの総合的相談支援を 行い、保健師等の専門職が妊産婦等の状況 を継続的に把握し、必要に応じて関係機関と 協力して支援プランを策定することにより、必要 な支援につなげ、切れ目のない支援を実施しま す。										●	● 各区1か所に設置	● 各区1か所に設置	657	● 各区1か所に設置	子ども家庭課	3
261	2-1(1)	継続	妊娠・子育てに係る教室 の開催	安心して出産に臨めるようマタニティ教室や両 親教室を実施します。また、食に関する教室等 を実施します。										●	● 教室参加者の満足度90%	● 教室参加者の満足度90%	17,158	● 教室参加者の満足度90%	子ども家庭課	3
262	2-1(1)	継続	子育て支援ヘルパー派遣 事業	妊娠中や出産直後であるため、又は多子世帯 であるため家事・育児を行うことが困難な家庭 を対象として、子育て支援ヘルパーを派遣し、 家事・育児の支援を行うことにより、子育ての 負担の軽減や育児不安の予防を図ります。										●	● 必要な世帯への完全実施	● 必要な世帯への完全実施	1,544	● 必要な世帯への完全実施	子ども家庭課	5
263	2-1(1)	継続	助産施設措置事業	経済的な理由から入院助産を受けることができ ない妊産婦を助産施設に入所させ、安全に出 産できるようにします。										●	● 必要な対象者への完全実施 (見込9人)	● 必要な対象者への完全実施 (見込14人)	3,679	● 必要な対象者への完全実施	子ども家庭課	1
264	2-1(1)	継続	出産育児一時金の支給	静岡市国保加入者が出産した場合、出産育 児一時金を支給します。										●	● 対象者に出産育児一時金を支 給。支給予定件数358件。支給 予定金額158,177千円	● 対象者に出産育児一時金を支 給。	110,416	● 申請に対する確実な交付 (100%)	保険年金管理課	3
265	2-1(1)	継続	児童手当の支給	次代の社会を担う児童の健やかな成長に資す ることを目的として、児童を養育する者に手当 を支給します。	●	●	●	●							● 支給決定対象者に対する確実な 支給	● 支給決定対象者に対する確実な 支給	9,466,752	● 支給決定対象者に対する確実な 支給	子ども家庭課	1, 3
266	2-1(1)	継続	先天性代謝異常等の検 査の実施	先天性代謝異常等の疾患の早期発見・早期 治療に繋げるため、市内医療機関で出生する 新生児に対し検査を実施します。										●	● 希望するすべての新生児に対して 検査を実施する	● 希望するすべての新生児に対して 検査を実施する	17,007	● 受診希望者への検査の完全実 施	子ども家庭課	3

基本目標2 子育てに喜びや生きがいを感じることができるまちの実現【子育て支援】

施策目標1 喜びと安心感をもって生み育てることができる環境づくり

基本施策1 結婚、妊娠・出産、子育てに至る切れ目のない支援や医療保健体制の充実

プランNo.	掲載か所	区分	事業名	事業概要	対象者								令和2年度 取組内容・成果(見込み)	令和3年度 取組内容(予定)	令和3年度 当初予算額 (千円)	令和8年度末 目標値	担当課	SDGs 関連番号			
					乳幼児	小低	小高	中学	高校	青年	その他	保護者									
267	2-1(1)	継続	新生児聴覚スクリーニング検査	新生児期に聴覚障害を発見し、早期の療育を行うことで、音声言語発達等への影響が最小限に抑えられることから、新生児聴覚検査の費用について助成し、対象者に検査を促し、早期発見・早期療育のための支援に繋がっていきます。	●										受診率:93.4%	受診率:100%	20,680	受診率:93.4%	子ども家庭課	3	
268	2-1(1)	継続	未熟児養育医療の給付	出生時の体重が2,000グラム以下又は未熟児性を有する乳児を対象に、入院医療費及び食事療養費を公費で負担します。	●										申請に対する適正な審査 認定された対象者に対する給付 100%	申請に対する適正な審査 認定された対象者に対する給付 100%	40,100	申請に対する適正な審査 認定された対象者に対する給付 100%	保健予防課	3	
269	2-1(1)	継続	小児慢性特定疾病医療費の給付	子ども(18歳未満)の慢性疾病のうち、特定の疾患について、その医療費の一部を公費で負担します。	●	●	●	●	●	●					申請に対する適正な審査 認定された対象者に対する給付 100%	申請に対する適正な審査 認定された対象者に対する給付 100%	176,000	申請に対する適正な審査 認定された対象者に対する給付 100%	保健予防課	3	
270	2-1(1)	継続	産婦健康診査事業	産後うつ予防や新生児への虐待予防等を図るため、母子健康手帳交付時に産婦健康診査受診票(2回分の公費負担)を交付し、医療機関等への受診を勧奨します。										●	受診率:90.0%	受診率:92.5%	37,930	受診率:90.0%	子ども家庭課	3	
271	2-1(1)	継続	こんにちは赤ちゃん事業★	生後4か月までの乳児がいるすべての家庭を対象に、保健師・助産師・赤ちゃん訪問員が訪問し、子育てに関する情報を提供するとともに乳児及びその保護者の心身の状況を把握し、養育についての相談に応じ、助言その他の援助を行います。	●									●	訪問実人員:4,655人 訪問率:96.9%	訪問実人員:4,100人 訪問率:100%	10,743	訪問実人員:4,423人 訪問率:96.9%	子ども家庭課	3	
272	2-1(1)	継続	育児相談の実施	保健福祉センターの保健師が、0歳児及び6か月児の育児相談、個別相談等の育児支援を実施します。	●									●	実施回数:209回	実施回数:200回	17,158	実施回数:200回	子ども家庭課	3	
273	2-1(1)	継続	乳児健康診査の実施	乳児(4か月児、10か月児)の健やかな成長と保護者が安心して育児できるよう、疾病の早期発見や保健指導が受けられる公費負担の受診票を発行し、医療機関への受診を勧奨します。	●										4か月健診:97.8% 10か月健診:94.1%	4か月健診:97.8% 10か月健診:95.9%	50,663	4か月健診:97.8% 10か月健診:96%以上 (令和4年度に総合計画に合わせて見直し等をする予定)	子ども家庭課	3	
274	2-1(1)	継続	幼児(1歳6か月児、3歳児)健康診査の実施	幼児(1歳6か月児、3歳児)の健康の保持増進を図るため、各保健福祉センターにおいて身体的発育、精神発達等についての健康診査・保健指導を実施します。また、健康診査の結果、疾病又は異常の疑いがある幼児に対し、医療機関への受診の勧奨を実施します。	●										・1歳6か月児健診 受診率:96.9% ・3歳児健診 受診率:96.4%	・1歳6か月児健診 受診率:96.9% ・3歳児健診 受診率:96.4%	38,266	・1歳6か月児健診 受診率:96.9% ・3歳児健診 受診率:96.4%	子ども家庭課	3	
275	2-1(1)	継続	予防接種の実施	感染症の発生やまん延を防ぐため、子どもや高齢者等に予防接種を実施します。また、市独自の救済措置等を実施し、接種の機会を逃した子どもに接種の機会を設けます。	●	●	●	●	●	●	●				●	市独自の救済措置の利用を希望する子どものうち、制度の要件に合致する者に対する予防接種給付100%	市独自の救済措置の利用を希望する子どものうち、制度の要件に合致する者に対する予防接種給付100%	1,889,303	市独自の救済措置の利用を希望する子どものうち、制度の要件に合致する者に対する予防接種給付100%	保健予防課	3
276	2-1(1)	継続	乳幼児むし歯予防教室	市と歯科医師会との協働により、乳幼児とその保護者を対象としたむし歯予防教室を実施します。	●									●	52回実施 参加者1,800人	52回実施 参加者1,800人	4,205	年53回実施 参加者1,800人	健康づくり推進課	3	
277	2-1(1)	継続	9か月児歯の教室	9か月前後の乳児を対象に、むし歯予防やお口の発達に関する教室や相談を開催します。	●									●	59回実施 参加者800人	102回実施 参加者1,300人	838	年102回実施 参加者1,800人	健康づくり推進課	3	

基本目標2 子育てに喜びや生きがいを感じることができるまちの実現【子育て支援】

施策目標1 喜びと安心感をもって生み育てることができる環境づくり

基本施策1 結婚、妊娠・出産、子育てに至る切れ目のない支援や医療保健体制の充実

プラン No.	掲載 か所	区分	事業名	事業概要	対象者								令和2年度 取組内容・成果(見込み)	令和3年度 取組内容(予定)	令和3年度 当初予算額 (千円)	令和8年度末 目標値	担当課	SDGs 関連番号		
					乳 幼 児	小 低	小 高	中 学	高 校	青 年	そ の 他	保 護 者								
278	2-1(1)	継続	歯みがき巡回指導	認定こども園等に出向き、歯みがき教室を実施します。	●									●	歯みがき巡回指導実施園率 89.2%	歯みがき巡回指導実施園率 90%以上	7,691 (委託料、報償費のみ)	歯みがき巡回指導実施園率 90%以上	健康づくり推進課	3
279	2-1(1)	継続	フッ化物洗口法によるむし 歯予防事業	永久歯の萌出時期である子どもを対象に、フッ 化物洗口による歯質強化を行います。	●	●	●							●	フッ化物洗口実施園:136園	フッ化物洗口実施園:130園以上	— (歯みがき巡回指導に 含む)	フッ化物洗口実施園:130園以上	健康づくり推進課	3
280	2-1(1)	継続	子どもの顎関節と歯並びの 健康相談会	歯列、咬合に関する相談及び顎関節に関する 専門医による相談会を、児童・生徒とその保護 者を実施します。			●	●	●					●	新型コロナウイルス感染症感染防 止のため中止	静岡市内の小学校偶数学年及 び中学校の希望者でかつ、これま でに医療機関に相談していない児 童生徒を対象に個別相談会を実 施。	—	静岡市内の小学校偶数学年及 び中学校の希望者でかつ、これま でに医療機関に相談していない児 童生徒を対象に個別相談会を実 施。 :希望者150組	児童生徒支援課	4
281	2-1(1)	継続	肥満傾向の子どもと親の 健康教室	栄養士による個別栄養指導、医師による医療 相談を通し、食事の習慣や生活習慣などに気 を付け、肥満を防止します。肥満を防ぐための 運動を実際に行うことにより、肥満防止に向 けての意識を高めます。			●	●	●					●	肥満度の高い児童生徒を中心に 希望者をつのり、栄養士による栄 養指導、医師による医療相談、 指導主事による運動指導を行う。	肥満度の高い児童生徒を中心に 希望者をつのり、栄養士による栄 養指導、医師による医療相談、 指導主事による運動指導を行う。	—	第1回、第2回健康教室の希望 者 100組実施	児童生徒支援課	4

基本目標2 子育てに喜びや生きがいを感じることができるまちの実現【子育て支援】

施策目標1 喜びと安心感をもって生み育てることができる環境づくり

基本施策2 子育て家庭を笑顔にする支援サービスの充実

プラン No.	掲載 場所	区分	事業名	事業概要	対象者								令和2年度 取組内容・成果(見込み)	令和3年度 取組内容(予定)	令和3年度 当初予算額 (千円)	令和8年度末 目標値	担当課	SDGs 関連番号		
					乳幼児	小低	小高	中学	高校	青年	その他	保護者								
【重点事業】																				
282	2-1(2)	継続	静岡市子育て応援総合サイト「ちゃむ」の運営	子育てに関する行政情報や制度案内をはじめ、サークル紹介、イベント情報などを総合的に掲載したウェブサイト管理運営します。携帯やスマートフォンにも対応するほか、SNSを活用した情報発信を行います。	●	●	●							●	月平均6回更新 (新規ページの作成、季節ごとの情報掲載など) SNSを活用した情報発信	月1回以上更新 (新規ページの作成、季節ごとの情報掲載など)	2,376	全ページビュー月平均46,000ページ	子ども未来課	3,4
283	2-1(2)	継続	「しずおかし子育てハンドブック」の作成・配布	子育てに関する様々な情報を掲載したハンドブックを作成し、主に保健福祉センターで母子健康手帳交付時に配布します。	●	●	●							●	20,000部を作成 保健福祉センター等で配布	20,000部を作成 保健福祉センター等で配布	1,628	年1回20,000部配布	子ども未来課	3,4
284	2-1(2)	継続	子育て支援センターの運営★	子育ての不安感を解消するため、未就園児及びその保護者を対象に、子育てに関する相談、情報提供、親子の交流の場を提供するとともに様々なイベントを実施します。	●									●	21か所を運営し、親子の交流の場を提供、講座の開催などを行う。	21か所を運営し、親子の交流の場を提供、講座の開催などを行う。	203,437	21か所を運営。	子ども未来課	3
285	2-1(2)	継続	子ども未来サポーター・保育コーディネーター★(利用者支援事業)	地域の子育て支援センターに子ども未来サポーターを配置し、認定こども園、保育所をはじめとする子育て支援の利用全般について相談、情報提供を行います。また、各区の子育て支援課に保育コーディネーターを配置し、認定こども園、保育所等の利用申請等に関する相談、情報提供を行います。	●									●	【子ども未来課分】 子ども未来サポーター：12か所配置 【幼保支援課分】 保育コーディネーター：3か所配置	【子ども未来課分】 子ども未来サポーター：12か所配置 【幼保支援課分】 保育コーディネーター：3か所配置	【子ども未来課分】 31,370 【幼保支援課分】 — (人事課歳出)	【子ども未来課分】 子ども未来サポーター：12か所配置 【幼保支援課分】 保育コーディネーター：3か所配置	子ども未来課 幼保支援課 葵区子育て支援課 駿河区子育て支援課 清水区子育て支援課	3,4
【関連事業】																				
286	2-1(2)	終了	「子育てママのための講座」の開催	講師のもと、子育ての不安や悩みをみんなで話し合いながら、不安の軽減や子育ての参考となる講座を開催します。										●	開催回数：2回 「子育てパパのための講座」をママの参加も可能として開催した。	(R2で終了)	(R2で終了)	開催回数：2回	子ども未来課	3,4
287	2-1(2)	継続	「ノーバディズ・パーフェクト」講座の開催	1980年代にカナダ保健省が開発した親支援・虐待予防プログラムで、ファシリテーターのもと、参加者が他人の意見や価値観を尊重・共有し合い、寄り添いながら、子育てにおける様々な悩み・不安への解決方法を見出していく講座を開催します。										●	開催回数：2回	開催回数：2回	441	開催回数：2回	子ども未来課	3,4
288	2-1(2) 3-1(4)	継続	家庭教育学級	各種講座を通じて、子どもの保護者が家庭教育に必要な現代的課題等について学び、仲間をつくることにより、子どもたちの健やかな成長を促し、豊かな人間性を育みます。	●	●	●							●	無人館・山間地を除く32生涯学習施設のうち28生涯学習施設で家庭教育学級を実施、生涯学習推進課で3学級を実施。	無人館・山間地を除く32生涯学習施設のうち29生涯学習施設で家庭教育学級を実施	— (指定管理料に含む)	無人館・山間地を除く32生涯学習施設のうち29生涯学習施設で家庭教育学級を実施	生涯学習推進課	4

基本目標2 子育てに喜びや生きがいを感じることができるまちの実現【子育て支援】

施策目標1 喜びと安心感をもって生み育てることができる環境づくり

基本施策2 子育て家庭を笑顔にする支援サービスの充実

プラン No.	掲載 か所	区分	事業名	事業概要	対象者								令和2年度 取組内容・成果(見込み)	令和3年度 取組内容(予定)	令和3年度 当初予算額 (千円)	令和8年度末 目標値	担当課	SDGs 関連番号		
					乳 幼児	小 低	小 高	中 学	高 校	青 年	そ の 他	保 護 者								
289	2-1(2)	継続	子育て広場事業 (あそび・子育ておしゃべり サロン)	認定こども園、保育所、幼稚園を開放し、地 域の未就園児や保護者にふれあいや遊びの場 を提供するとともに、育児に関する相談・講座 等を実施します。	●									●●	【子育て広場事業】 未就園児と保護者を対象に、幼 稚園の施設などを使って親子遊び や幼稚園行事に参加できる「子 育て広場」の開催、保護者が抱え る乳幼児の発達や子育て、幼稚 園教育などの悩みや相談に応じる 「幼児教育相談」を実施する。 私立幼稚園25園で実施 【あそび・子育ておしゃべりサロン】 市内全公立こども園において実 施。	【子育て広場事業】 未就園児と保護者を対象に、幼 稚園の施設などを使って親子遊び や幼稚園行事に参加できる「子 育て広場」の開催、保護者が抱え る乳幼児の発達や子育て、幼稚 園教育などの悩みや相談に応じる 「幼児教育相談」を実施する。 私立幼稚園17園で実施 【あそび・子育ておしゃべりサロン】 市内全公立こども園において実 施。	【子育て広場事業】 1,953 【あそび・子育ておしゃ べりサロン】 3,154	【子育て広場事業】 完全実施100% 【あそび・子育ておしゃべりサロン】 市内全公立こども園において実 施。	幼保支援課 子ども未来課	3, 4
再掲 (23)	1-1(2) 1-3(6) 2-1(2) 3-1(2)	拡充	児童館の運営	地域における児童健全育成の拠点として、子 どもの健康を増進し、情操を豊かにするため、 各種教室や読み聞かせ、クラブ活動など児童 に健全な遊びを提供します。	●	●	●	●	●	●	●	●	●●	12館の児童館運営を実施	12館(7月以降は13館)の児童館 運営を実施	240,348	13館で実施 小型児童館(7館) 児童センター(6館)	子ども未来課	1, 2, 4, 16	
再掲 (24)	1-1(2) 2-1(2) 3-1(2)	継続	児童館の整備	市域全体の均衡や地域性、地域の児童数な どを勘案し、現在、配置されていない清水北部 地区に新たに整備します。	●	●	●	●	●	●	●	●●	清水北部地区児童館の建設工 事の完了	開館準備(7月開館)	7,000	1館	子ども未来課	1, 2, 4, 16		
290	1-3(1) 1-3(6) 2-1(2)	継続	家庭児童相談室の運営	各福祉事務所に家庭児童相談室を設置し、 子どもに関する様々な問題について、子ども、 家庭又は地域住民などからの相談に応じ、必 要な助言を行います。	●	●	●	●	●	●	●	●●	必要な対象者への完全実施	必要な対象者への完全実施	578	必要な対象者への完全実施	子ども家庭課	16		
291	1-3(1) 2-1(2)	継続	子育て短期支援事業★	育児疲れ・育児不安等の解消、児童の虐待 防止及び子育て家庭への支援を図るため、児 童福祉施設等において短期入所を実施しま す。	●	●	●	●	●	●	●	●●	延べ利用日数:131人日 実施施設:3か所	延べ利用日数:175人日 実施施設:3か所	1,284	延べ利用日数:252人日 実施施設:3か所	子ども家庭課	5		
292	1-3(6) 2-1(2)	継続	養育支援訪問事業★	養育支援が特に必要であると判断した子育て 家庭に対して、専門的資格を有する訪問員等 がその家庭を訪問し、養育に関する指導・助 言、家事援助などを行います。	●	●	●	●	●	●	●	●●	必要な世帯への完全実施 訪問世帯数:23世帯	必要な世帯への完全実施 訪問世帯数:23世帯	2,433	必要な世帯への完全実施 訪問世帯数:23世帯	子ども家庭課	16, 17		

基本目標2 子育てに喜びや生きがいを感じることができるまちの実現【子育て支援】

施策目標1 喜びと安心感をもって生み育てることができる環境づくり

基本施策3 ひとり親家庭への支援(静岡市ひとり親家庭等自立促進計画)

プランNo.	掲載か所	区分	事業名	事業概要	対象者								令和2年度 取組内容・成果(見込み)	令和3年度 取組内容(予定)	令和3年度 当初予算額 (千円)	令和8年度末 目標値	担当課	SDGs 関連番号
					乳幼児	小低	小高	中学	高校	青年	その他	保護者						
【重点事業】																		
293	1-3(6) 2-1(3)	継続	母子家庭等就業・自立支援センター運営事業	母子家庭等の就業・自立を図るため、就業相談、職業紹介、就業支援講習会、特別相談会、養育費等の相談、養育費セミナー、就業支援セミナー等を実施します。	●	●	●	●	●				● 必要な対象者への完全実施	必要な対象者への完全実施	6,403	必要な対象者への完全実施	子ども家庭課	1, 8
294	1-3(6) 2-1(3)	継続	ひとり親就業支援専門員による支援	ひとり親を対象に就業支援を専門に行う、就業支援専門員を配置し、ひとり親への就業支援・転職支援を行います。	●	●	●	●	●				● 必要な対象者への完全実施	必要な対象者への完全実施	2,728	必要な対象者への完全実施	子ども家庭課	1, 8
295	1-3(6) 2-1(3)	継続	母子自立支援プログラム策定事業	児童扶養手当を受給している母子家庭の状況、ニーズ等に対応した自立支援プログラムを策定し、自立と就業を支援します。	●	●	●	●	●				● 必要な対象者への完全実施	必要な対象者への完全実施	1,644	必要な対象者への完全実施	子ども家庭課	1, 8
296	1-3(6) 2-1(3)	継続	母子家庭等自立支援給付金事業	ひとり親家庭の就業自立を支援するため、高卒資格取得費用を支援、就業に役立つ資格取得のために各種講座を受講する場合の受講費用を助成するほか、看護師、保育士等の資格取得のため養成機関で修業する場合には修業期間中の生活費と賃貸住宅の費用を支給します。								● ● ●	● 支給決定対象者に対する確実な支給	支給決定対象者に対する確実な支給	31,676	支給決定対象者に対する確実な支給	子ども家庭課	1, 4, 8
再掲 (180)	1-3(6) 2-1(3)	継続	子どもの貧困対策学習支援事業	ひとり親家庭や生活困窮世帯の子どもを対象として居場所を提供し、学習支援・生活支援を行います。		●	●	●	●				延べ利用者数:5,300人	延べ利用者数:5,300人	21,900	延べ利用者数:9,400人	子ども家庭課	1, 4
297	1-3(6) 2-1(3)	継続	ひとり親家庭生活支援事業	母子家庭や父子家庭の精神的支援や生活の安定を図るため、子どもが悩みを気軽に相談できる大学生等(ホームフレンド)を派遣して、生活面での指導を行います。	●	●	●	●	●				● 必要な対象者への完全実施	必要な対象者への完全実施	1,547	必要な対象者への完全実施	子ども家庭課	1
【関連事業】																		
298	1-3(6) 2-1(3)	継続	児童扶養手当の支給	父又は母と生計を一にしていない子どもが養育される家庭生活の安定と自立の促進に寄与するため、児童扶養手当を支給し、児童福祉の増進を図ります(所得制限あり)。	●	●	●	●	●				● 支給決定対象者に対する確実な支給	支給決定対象者に対する確実な支給	2,141,874	支給決定対象者に対する確実な支給	子ども家庭課	1
299	1-3(6) 2-1(3)	継続	母子家庭等医療費の助成	所得税非課税世帯の母子家庭の母子や父子家庭の父子、両親のいない子どもを対象に、母子家庭等の生活の安定と健康の保持を目的として、医療費を助成します。	●	●	●	●	●				● 支給決定対象者に対する確実な助成	支給決定対象者に対する確実な助成	130,290	支給決定対象者に対する確実な助成	子ども家庭課	3
300	1-3(6) 2-1(3)	継続	母子父子寡婦福祉資金の貸付	母子家庭等に経済的自立の助成と生活意欲の助長を図り、併せてその扶養している子どもの福祉を増進するため、修学資金、生活資金等の各種資金を貸付します。		●	●	●	●	●			● 貸付決定対象者への貸付を完全実施	貸付決定対象者への貸付を完全実施	369,500	貸付決定対象者への貸付を完全実施	子ども家庭課	1, 4
301	1-3(6) 2-1(3)	継続	こども園等におけるひとり親家庭等の優先入所	ひとり親家庭について、こども園等の入所にあたり必要な配慮をします。	●								ひとり親家庭に対し、こども園等の入所にあたり保育利用調整基準において加点をすることで優先的な入所に配慮している。	ひとり親家庭に対し、こども園等の入所にあたり保育利用調整基準において加点をすることで優先的な入所に配慮する。	—	適切な実施	幼保支援課	4

基本目標2 子育てに喜びや生きがいを感じることができるまちの実現【子育て支援】

施策目標1 喜びと安心感をもって生み育てることができる環境づくり

基本施策3 ひとり親家庭への支援(静岡市ひとり親家庭等自立促進計画)

プラン No.	掲載 か所	区分	事業名	事業概要	対象者								令和2年度 取組内容・成果(見込み)	令和3年度 取組内容(予定)	令和3年度 当初予算額 (千円)	令和8年度末 目標値	担当課	SDGs 関連番号
					乳 幼児	小 低	小 高	中 学	高 校	青 年	そ の 他	保 護 者						
再掲 (183)	1-1(1) 1-3(6) 2-1(3)	継続	幼児期の教育・保育の負担の軽減★	令和元年10月から幼児教育・保育の無償化に伴い、3歳から5歳児すべての子どもたちと、0歳から2歳児で住民税非課税世帯の子どもたちの利用が無償化となりました。認定こども園等における幼児期の教育・保育に係る保育料について所得に応じた金額に設定し、低所得世帯の負担を軽減します。また、保育料の算定に当たっては、未婚・非婚のひとり親についても税法上の寡婦とみなして保育料を算定することにより、経済的負担を軽減します。	●								0歳から2歳の子どもたちの保育料を従前より国が定めている保育料の水準と比較して軽減している。また、多子世帯に対する保育料の軽減制度(第2子を半額、第3子以降無償)については、市独自に対象範囲を、国の所得階層よりも拡充している。さらに、未婚のひとり親世帯に対しては、地方税法に規定する控除の対象として保育料を軽減している。	0歳から2歳の子どもたちの保育料を従前より国が定めている保育料の水準と比較して軽減する。また、多子世帯に対する保育料の軽減制度(第2子を半額、第3子以降無償)については、市独自に対象範囲を、国の所得階層よりも拡充する。さらに、未婚のひとり親世帯に対しては、地方税法(令和2年度)に規定する控除の対象として保育料を軽減する。(地方税法の改正により令和3年8月まで)		第2子を半額、第3子以降無償(ひとり親世帯は第2子以降無償)とする減額措置の適用における、第何子かを決定する際の算定対象となる子どもの年齢制限等を撤廃するに当たり、国の規定より適用対象世帯の範囲を拡大して実施する。	幼保支援課	4
再掲 (184)	1-3(6) 2-1(3)	継続	放課後児童クラブの利用者負担の軽減★	低所得世帯、ひとり親家庭、多子世帯などの放課後児童クラブの利用を必要とする家庭が、経済的理由により利用できないことのないよう、世帯の所得の状況や、同時に入会している兄弟姉妹の数に応じて、保護者負担金を軽減します。		●	●						● 対象世帯の負担金を適切に実施	対象世帯の負担金を適切に実施	51,591	対象世帯の負担金を適切に実施	子ども未来課	1, 2, 4, 16
302	1-3(6) 2-1(3)	継続	母子家庭等日常生活支援事業	母子家庭等の福祉の増進を図るため、生活援助(食事の世話、掃除など:1時間単位)や子育て支援(乳幼児の保育など:2時間単位)を行う家庭生活支援員を派遣します。(利用者負担あり。0円~1,800円)	●	●	●	●	●				● 必要な対象者への完全実施	必要な対象者への完全実施	2,006	必要な対象者への完全実施	子ども家庭課	1
303	1-3(6) 2-1(3) 3-1(3)	継続	市営住宅等管理業務(入居者募集に関する業務)	母子世帯・父子世帯を対象に市営住宅入居の優遇措置を行います。	●	●	●	●	●				市営住宅の入居申込受付において、配偶者のいない申込者が、現に20歳未満の子を扶養している世帯を対象に、市営住宅入居の優遇措置を行った。	市営住宅の入居申込受付において、配偶者のいない申込者が、現に20歳未満の子を扶養している世帯を対象に、市営住宅入居の優遇措置を行う。	(指定管理料の一部)	優遇措置の継続実施	住宅政策課	1, 11
304	1-3(6) 2-1(3)	継続	母子生活支援施設措置事業	保護を必要とする配偶者のない女子等やその子どもを母子生活支援施設に入所させ、自立に向けて生活を支援します。	●	●	●	●	●				● 必要な対象者への完全実施(見込延べ190世帯)	必要な対象者への完全実施(見込延べ213世帯)	75,492	必要な対象者への完全実施	子ども家庭課	1, 16

基本目標2 子育てに喜びや生きがいを感じることができるまちの実現【子育て支援】

施策目標2 子育てと仕事の両立を支援する環境づくり

基本施策1 多様なワークスタイルに対応するための支援

プラン No.	掲載 か所	区分	事業名	事業概要	対象者								令和2年度 取組内容・成果(見込み)	令和3年度 取組内容(予定)	令和3年度 当初予算額 (千円)	令和8年度末 目標値	担当課	SDGs 関連番号			
					乳 幼児	小 低	小 高	中 学	高 校	青 年	そ の 他	保 護 者									
【重点事業】																					
再掲 (62)	1-1(1) 1-2(1) 2-2(1)	継続	認定こども園等の運営★	市立こども園において質の高い教育・保育を提供するとともに、子どものための教育・保育給付の円滑な支給等を図り、私立園における質の高い教育・保育を確保します。	●									●	●	市立こども園における教育・保育の実施及び施設の維持管理を図るとともに、国が定めた単価に基づき、私立こども園等に対して、適正に給付費を支弁する。 市立:61園(こども園54、特例保育施設(山間地)4、小規模(待機児童園)3) 私立:154園(幼稚園2、こども園51、保育所56、小規模41、事業所内4)	市立こども園における教育・保育の実施及び施設の維持管理を図るとともに、国が定めた単価に基づき、私立こども園等に対して、適正に給付費を支弁する。 市立:59園(こども園52、特例保育施設(山間地)4、小規模(待機児童園)3) 私立:166園(幼稚園9、こども園53、保育所56、小規模44、事業所内4)	【幼保支援課分】 市立こども園 2,861,918 私立こども園等 16,066,529 【こども園課分】	市立こども園・私立こども園、保育所等における質の高い教育・保育の実施	子ども未来課 幼保支援課 こども園課	4
再掲 (1)	1-1(1) 1-2(1) 2-2(1)	継続	認定こども園等の整備★	待機児童を解消するとともに認定こども園を普及するため、認定こども園等の定員拡大、新設、認定こども園への移行等のために必要な施設整備のための費用を補助します。	●									●	●	既存保育施設の定員増:▲10人 私立幼稚園の認定こども園移行:45人 認定こども園等の新設:0人 小規模保育事業等の新設:126人	既存保育施設の定員増:0人 私立幼稚園の認定こども園移行:45人 認定こども園等の新設:90人 小規模保育事業等の新設:0人	333,197	既存保育施設の定員増:▲8人 私立幼稚園の認定こども園移行:176人 認定こども園等の新設:90人 小規模保育事業等の新設:180人	子ども未来課	4, 5
再掲 (20)	1-1(2) 1-2(3) 1-3(6) 2-2(1) 3-1(2) 3-1(3)	拡充	放課後児童クラブの運営★	保護者が就労等により昼間家庭にいない児童の健全な育成を目的に、小学校や児童館等に専用室を設けて、家庭に代わる遊びや生活の場を提供します。	●	●								●		83か所(198室)での児童クラブ運営を実施	83か所(203室)での児童クラブ運営を実施	1,110,787	239室の運営 (受入可能人数 6,754人) ※民間補助児童クラブ分含む	子ども未来課	1, 2, 4, 16
再掲 (21)	1-1(2) 1-2(3) 2-2(1) 3-1(2) 3-1(3)	継続	放課後児童クラブの整備★	令和7年度当初のニーズ量に対応できるよう児童クラブ室を順次拡充していきます。	●	●								●		4か所(5室、185人分)の児童クラブ整備を実施	1か所(1室、35人分)の児童クラブ整備を実施	8,846	整備後クラブ室数 239室 ※民間補助児童クラブ分含む	子ども未来課	1, 2, 4, 16
305	2-2(1)	継続	一時預かり事業★	保護者の病気等により家庭で保育を受けることが一時的に困難となった乳児又は幼児について、認定こども園、幼稚園その他の場所において、一時的に預かりを実施します。	●									●	●	市立こども園58園、私立こども園・保育園等(幼稚園型48園・一般型79園)、中央子育て支援センターにおいて一時預かり事業を実施する。	【幼保支援課分】 私立こども園・保育所等(幼稚園型I 30園・一般型78園)において一時預かり事業を実施する。 【子ども未来課分】 中央子育て支援センターにおいて一時預かり事業を実施する。 【こども園課分】 市立こども園58園において一時預かり事業を実施する。	【幼保支援課分】 230,632 【子ども未来課分】 80,454 【こども園課分】 -	幼稚園利用 172,061人 その他利用 66,400人 (内訳) 認定こども園・私立保育所等: 19,956人 中央子育て支援センター:14,800人 待機児童園:31,644人	子ども未来課 幼保支援課 こども園課	3, 4
306	2-2(1)	継続	病児・病後児保育事業★	子どもが病中若しくは病気の回復期であり、集団保育が困難な期間に、その子どもの一時預かりを行い、保護者の子育てと就労の両立を支援します。	●	●	●							●		市内3か所(各区1か所)にて病児・病後児保育を実施する。	市内3か所(各区1か所)にて病児・病後児保育を実施する。	30,460	市内3か所(各区1か所)にて実施	こども園課	4

基本目標2 子育てに喜びや生きがいを感じることができるまちの実現【子育て支援】

施策目標2 子育てと仕事の両立を支援する環境づくり

基本施策1 多様なワークスタイルに対応するための支援

プラン No.	掲載 か所	区分	事業名	事業概要	対象者								令和2年度 取組内容・成果(見込み)	令和3年度 取組内容(予定)	令和3年度 当初予算額 (千円)	令和8年度末 目標値	担当課	SDGs 関連番号	
					乳 幼児	小 低	小 高	中 学	高 校	青 年	そ の 他	保 護 者							
307	2-2(1) 3-1(1)	継続	緊急サポートセンター事業 ★	病氣中又は病気の回復期にある子どもの保育や緊急的な預かりなどを必要とする子育て家庭を援助するため、援助を受けたい会員(おねがい会員)と援助を行いたい会員(まかせて・どっちも会員)との連絡・調整等を行うことで、会員の相互援助を支援します。	●	●	●						●	・まかせて会員数:216人以上 ・会員講習会の開催	・まかせて会員数:226人以上 ・会員講習会の開催	9,592	まかせて会員数:256人以上	子ども未来課	3
再掲 (351)	1-1(1) 1-2(1) 2-2(1)	新規	私立こども園・保育所等 運営費補助金交付事業	私立認定こども園・保育所・小規模保育事業における教育・保育環境の向上や職員の処遇改善を図ることにより各施設の円滑な運営と振興を図ります。		●							●	(R3新規)	私立こども園・保育所等が実施する教育・保育環境の改善や職員の処遇改善・資質向上、多様な保育を支援のための事業に係る経費の一部を補助する。 153園(こども園53、保育所56、小規模44)	1,715,898	私立こども園、保育所等における質の高い教育・保育の実施	幼保支援課	4

基本目標2 子育てに喜びや生きがいを感じることができるまちの実現【子育て支援】

施策目標2 子育てと仕事の両立を支援する環境づくり

基本施策1 多様なワークスタイルに対応するための支援

プラン No.	掲載 場所	区分	事業名	事業概要	対象者								令和2年度 取組内容・成果(見込み)	令和3年度 取組内容(予定)	令和3年度 当初予算額 (千円)	令和8年度末 目標値	担当課	SDGs 関連番号		
					乳幼児	小低	小高	中学	高校	青年	その他	保護者								
【関連事業】																				
再掲 (63)	1-2(1) 2-2(1)	拡充	保育士確保対策事業★	保育士等の人材確保のため、保育士・保育所支援センターを設置して求職者と求人者のマッチングを行うほか、潜在保育士等の再就職を支援します。	●									●	求職者と求人者のマッチング支援・出張相談・合同就職説明会・再就職支援研修・現場体験事業等	求職者と求人者のマッチング支援・出張相談・合同就職説明会・再就職支援研修・現場体験事業・現職保育士の相談支援等	9,846	年間マッチング件数16件 就職説明会年1回 潜在保育士再就職支援研修年2回	幼保支援課	4
再掲 (64)	1-2(1) 2-2(1)	継続	幼稚園教諭免許・保育士資格併有促進事業★	保育教諭の確保のため、幼稚園教諭免許・保育士資格のどちらかを有する教育・保育従事者に対し、もう片方の免許・資格を取得するための費用を助成します。										●	幼稚園教諭・保育士資格のどちらかを有している場合、もう片方の免許・資格を取得するための経費の一部を助成する。 【幼保支援課分】 補助金交付：42人 【こども園課分】 補助金交付： ・免許取得40人 ・免許更新58人	幼稚園教諭・保育士資格のどちらかを有している場合、もう片方の免許・資格を取得するための経費の一部を助成する。 【幼保支援課分】 補助金交付：23人	【幼保支援課分】 1,035	・申請に対する確実な交付(100%) ・幼保連携型認定こども園における基準配置上の職員の資格併有率100%	幼保支援課 こども園課	4
308	1-2(1) 2-2(1)	継続	保育補助者雇上強化事業費	新たに保育補助者を雇用することで、保育士の業務負担を軽減し、保育士の離職防止を図ることで、保育環境の向上と施設の円滑な運営を図ります。										●	新たに保育補助者を雇用した私立こども園・保育所等に対し雇上げに係る経費を助成する。 81園(こども園35、保育所35、小規模11)	新たに保育補助者を雇用した私立こども園・保育所等に対し雇上げに係る経費を助成する。 補助人数：124人	80,000	申請に対する確実な交付(100%)	幼保支援課	4
再掲 (22)	1-1(2) 1-2(3) 1-3(6) 2-2(1) 3-1(2) 3-1(3)	拡充	放課後児童クラブと放課後子ども教室の一体的実施★	全ての児童が参加できるように、同一の小学校敷地内等で放課後児童クラブと放課後子ども教室を一体的に(一体型又は連携型により)実施します。	●	●								●	放課後児童クラブと放課後子ども教室を一体的に実施する。(小学校62校)	放課後児童クラブと放課後子ども教室を一体的に実施する。(小学校67校)		放課後児童クラブと放課後子ども教室を一体的に実施する。(小学校71校予定)	子ども未来課 教育総務課	4
再掲 (25)	1-1(2) 1-2(3) 2-2(1) 3-1(2) 3-1(3)	拡充	民間放課後児童クラブへの運営費等補助★	事業量の確保に効果的であると認められる民間放課後児童クラブの運営に対し、その費用の一部を補助します。	●	●								●	民間事業者5団体に対して、運営費補助を実施	民間事業者8団体に対して、運営費補助を実施	65,862	対象となる民間放課後児童クラブに対し、運営費の補助を適切に実施	子ども未来課	1, 2, 4, 16
309	2-2(1)	継続	延長保育事業★	保護者の就労形態の多様化、長時間の勤務等に対応するため、通常の保育時間を超えて概ね午後7時までの延長保育を実施し、子育てと就労の両立を支援します。	●									●	【幼保支援課分】 私立こども園・保育園等85園(標準：70園 短時間：15園)において延長保育事業を実施する。 【こども園課分】 市立こども園58園、待機児童園3園、私立こども園・保育園等107園(標準：80園 短時間：27園)において延長保育事業を実施する。	【幼保支援課分】 私立こども園・保育園等102園(標準：79園 短時間：23園)において延長保育事業を実施する。 【こども園課分】 市立こども園56園、待機児童園3園において延長保育事業を実施する。	【幼保支援課分】 57,600 【こども園課分】 -	受入をする子どもの数 6,063人	幼保支援課 こども園課	4

基本目標2 子育てに喜びや生きがいを感じることができるまちの実現【子育て支援】

施策目標2 子育てと仕事の両立を支援する環境づくり

基本施策1 多様なワークスタイルに対応するための支援

プラン No.	掲載 か所	区分	事業名	事業概要	対象者								令和2年度 取組内容・成果(見込み)	令和3年度 取組内容(予定)	令和3年度 当初予算額 (千円)	令和8年度末 目標値	担当課	SDGs 関連番号	
					乳 幼児	小 低	小 高	中 学	高 校	青 年	そ の 他	保 護 者							
310	2-2(1)	継続	待機児童園での保育★	年度途中において、保育が必要であるにもかかわらず、入所を希望することも園等の定員超過等により入所できない0、1、2歳児を待機児童園で一時的に預かります。(一時預かり及び小規模保育)	●									市内3か所(各区1か所)にて、0～2歳児の小規模保育及び一時預かりを実施する。	市内3か所(各区1か所)にて、0～2歳児の小規模保育及び一時預かりを実施する。	14,170	市内3か所(各区1か所)にて実施	子ども園課	4
311	2-2(1) 3-1(1)	継続	ファミリー・サポート・センター事業★	子どもの一時的な預かりや移動支援などを必要とする子育て家庭を援助するため、援助を受けたい会員(おねがい会員)と援助を行いたい会員(まかせて・どっちも会員)との連絡・調整や、援助者への講習等を行い、会員の相互援助を支援します。	●	●	●							・まかせて会員数:1,110人以上 ・まかせて・どっちも会員講習会:3回開催	・まかせて会員数:1,130人以上 ・まかせて・どっちも会員講習会:3回開催	20,443	・まかせて会員数:1,190人以上 ・まかせて・どっちも会員講習会:3回開催	子ども未来課	3, 4

基本目標2 子育てに喜びや生きがいを感じることができるまちの実現【子育て支援】

施策目標2 子育てと仕事の両立を支援する環境づくり

基本施策2 ワーク・ライフ・バランスの実現に向けた取組の推進

プラン No.	掲載 か所	区分	事業名	事業概要	対象者								令和2年度 取組内容・成果(見込み)	令和3年度 取組内容(予定)	令和3年度 当初予算額 (千円)	令和8年度末 目標値	担当課	SDGs 関連番号		
					乳 幼児	小 低	小 高	中 学	高 校	青 年	そ の 他	保 護 者								
【重点事業】																				
312	2-2(2)	継続	多様な人材の活躍応援 事業所表彰事業	女性をはじめとした多様な人材の活躍を応援し、ワーク・ライフ・バランスの実現に向けた取組を積極的に推進している市内事業所を表彰します。										●	新型コロナウイルス感染症の影響で、表彰事業を中止した。	積極的に取組を行う事業所を表彰する(5社程度)	736	表彰企業延べ80社以上	商業労政課	8
313	2-2(2)	継続	いきいきワークスタイル通信 による情報発信	女性をはじめとした多様な人材の活躍を応援し、ワーク・ライフ・バランスの実現に向けた取組を積極的に推進している市内事業所の取組を市の特設サイト「いきいきワークスタイル通信」に掲載し、情報発信を行います。										●	新型コロナウイルス感染症の影響で、表彰事業を中止したため、特設サイトの更新はしなかったが、サイトのバナーを作成し、受賞企業にリンクバナー設置を依頼することにより、サイトの認知度向上を図った。	積極的に取組を行う事業所をサイトに掲載する(5社程度)	770	掲載企業延べ80社以上	商業労政課	8
【関連事業】																				
314	2-2(2) 2-2(3)	継続	情報誌「パ・ザ・パ」の発行	地域社会や事業所、学校における男女共同参画の推進に関する情報を取り上げ、市民生活における男女共同参画について啓発を進めるため、情報誌「パ・ザ・パ」を年2回発行します。										●●●	年2回発行予定	年2回発行予定	439	年2回発行	男女共同参画課	5

基本目標2 子育てに喜びや生きがいを感じることができるまちの実現【子育て支援】

施策目標2 子育てと仕事の両立を支援する環境づくり

基本施策3 男性の子育てへの参加促進

プラン No.	掲載 か所	区分	事業名	事業概要	対象者								令和2年度 取組内容・成果(見込み)	令和3年度 取組内容(予定)	令和3年度 当初予算額 (千円)	令和8年度末 目標値	担当課	SDGs 関連番号	
					乳 幼児	小 低	小 高	中 学	高 校	青 年	そ の 他	保 護 者							
【重点事業】																			
315	2-2(3)	継続	「子育てパパのための講座」の開催	幼児とふれあいながら遊び、父親同士の交流、子育ての参考となる講座や父親になるための講座を開催します。	●									● 開催回数：2回	開催回数：2回	181	開催回数：2回	子ども未来課	3, 4
316	2-2(3)	継続	女性会館事業「男性の育児参加」に関する事業の実施	市女性会館において、男性の育児参加に関する事業を実施します。										● 女性会館事業(指定管理事業)において継続実施する。	女性会館事業(指定管理事業)において継続実施する。	指定管理料に含む	女性会館事業(指定管理事業)において毎年度継続実施。	男女共同参画課	5
317	2-2(3)	継続	「父親向けハンドブック」の配布	仕事と家庭(子育て)の両立には父親の協力が必要であるため、父親の子育てへの関わり方・役割などを掲載した啓発冊子「父親向けハンドブック」を作成し、配布します。										● 内閣府などから提供された父親向けの啓発冊子を子育て支援センター・保健福祉センターで配布	父親向けの情報提供を年1回以上実施	100	年1回以上の作成及び配布	子ども未来課	4
再掲 (314)	2-2(2) 2-2(3)	継続	情報誌「パ・ザ・パ」の発行	地域社会や事業所、学校における男女共同参画の推進に関する情報を取り上げ、市民生活における男女共同参画について啓発を進めるため、情報誌「パ・ザ・パ」を年2回発行します。										● ● ● 年2回発行予定	年2回発行予定	439	年2回発行	男女共同参画課	5
【関連事業】																			
318	2-2(3)	継続	女性会館事業「子育て関連講座」の実施	市女性会館において、子育て支援に関する様々な講座を実施します。	●									● 女性会館事業(指定管理事業)において継続実施する。	女性会館事業(指定管理事業)において継続実施する。	指定管理料に含む	女性会館事業(指定管理事業)において毎年度継続実施。	男女共同参画課	5

基本目標3 地域全体で子ども・子育て・若者を支援するまちの実現【地域による支援】

施策目標1 地域全体で子ども・子育て・若者を支える環境づくり

基本施策1 地域における子育て応援隊の活動促進

プラン No.	掲載 場所	区分	事業名	事業概要	対象者								令和2年度 取組内容・成果(見込み)	令和3年度 取組内容(予定)	令和3年度 当初予算額 (千円)	令和8年度末 目標値	担当課	SDGs 関連番号		
					乳幼児	小低	小高	中学	高校	青年	その他	保護者								
【重点事業】																				
再掲 (311)	2-2(1) 3-1(1)	継続	ファミリー・サポート・センター事業★	子どもの一時的な預かりや移動支援などを必要とする子育て家庭を援助するため、援助を受けたい会員(おねがい会員)と援助を行いたい会員(まかせて・どっちも会員)との連絡・調整や、援助者への講習等を行い、会員の相互援助を支援します。	●	●	●							●	・まかせて会員数:1,110人以上 ・まかせて・どっちも会員講習会:3回開催	・まかせて会員数:1,130人以上 ・まかせて・どっちも会員講習会:3回開催	20,443	・まかせて会員数:1,190人以上 ・まかせて・どっちも会員講習会:3回開催	子ども未来課	3, 4
319	3-1(1)	継続	静岡市子育て支援団体連絡会の運営	市内で子育て支援活動を行う子育てサークル、NPO法人、企業などの団体や個人等からなる連絡会を運営し、相互理解、情報交換、活動の連携を進めることで、地域における子育て支援活動を促進します。									●	連絡会を3回開催(うち、2回書面開催) 会員数80団体	連絡会を3回開催 会員数80団体	—	連絡会を年3回開催 会員数90団体 (令和4年度に総合計画に合わせて見直し等をする予定)	子ども未来課	17	
320	3-1(1)	継続	子育てサポーターの育成	NPO法人との協働により、「子育てサポーター養成講座」を開催し、地域で活動する子育てボランティアの養成を行うとともに、講座修了者に対して、研修会等を実施します。									●	「子育て∞親育ち学校」開催(全6回) ※令和2年度から、講座の名称を「子育て∞親育ち学校」に変更	「子育て∞親育ち学校」開催(全6回)	608	「子育てサポーター養成講座」開催(全10回)	子ども未来課	3	
321	3-1(1)	継続	子育てサークルの育成	子育て家庭の不安や悩みを解消する場を提供し、子育てしやすい環境をつくるため、地域で活動する子育てサークルの運営費の一部を助成します。									●	市内7団体へ補助金を交付し、活動の充実を図る。	市内7団体へ補助金を交付し、活動の充実を図る。	420	対象となる団体に対し、運営費の補助を適切に実施。	子ども未来課	3	
【関連事業】																				
再掲 (187)	1-3(6) 3-1(1)	継続	民生委員・児童委員及び主任児童委員による地域福祉活動	民生委員・児童委員、主任児童委員が、支援が必要な子ども・家庭に対して行う見守り、相談、専門機関との連携等を支援します。また、民生委員等が必要な技術を習得し、不安を軽減するための研修等を実施します。	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	相談・支援件数(子どもに関すること) 2,700件	相談・支援件数(子どもに関すること) 2,700件	134,506	相談・支援件数(子どもに関すること) 3,000件	福祉総務課	1, 3
再掲 (307)	2-2(1) 3-1(1)	継続	緊急サポートセンター事業★	病氣中又は病氣の回復期にある子どもの保育や緊急的な預かりなどを必要とする子育て家庭を援助するため、援助を受けたい会員(おねがい会員)と援助を行いたい会員(まかせて・どっちも会員)との連絡・調整等を行うことで、会員の相互援助を支援します。	●	●	●							●	・まかせて会員数:216人以上 ・会員講習会の開催	・まかせて会員数:226人以上 ・会員講習会の開催	9,592	まかせて会員数:256人以上	子ども未来課	3
322	3-1(1)	継続	母親クラブの育成	子どもの健全育成を図る母親など地域住民の積極的参加による地域組織活動の促進を図るため、各母親クラブに対して運営費の一部を助成します。									●	市内4団体へ補助金を交付し、活動の充実を図る。	市内4団体へ補助金を交付し、活動の充実を図る。	765	対象となる団体に対し、運営費の補助を適切に実施。	子ども未来課	3	
323	3-1(1)	継続	しずおか子育て優待カード事業	18歳未満の子どものいる「子育て世帯」と妊娠中の方に「しずおか子育て優待カード」を配付し、子ども同伴で優待カードを提示すると、協賛店舗の「応援サービス」が受けられます。	●	●	●	●	●					●	優待カード加盟店の広報等を行い増加を図る。	優待カード加盟店の広報等を行い増加を図る。	216	市内協賛加盟店1,000店	子ども未来課	17

基本目標3 地域全体で子ども・子育て・若者を支援するまちの実現【地域による支援】

施策目標1 地域全体で子ども・子育て・若者を支える環境づくり

基本施策1 地域における子育て応援隊の活動促進

プラン No.	掲載 か所	区分	事業名	事業概要	対象者								令和2年度 取組内容・成果(見込み)	令和3年度 取組内容(予定)	令和3年度 当初予算額 (千円)	令和8年度末 目標値	担当課	SDGs 関連番号
					乳 幼 児	小 低	小 高	中 学	高 校	青 年	そ の 他	保 護 者						
324	3-1(1)	継続	児童福祉週間啓発事業	児童福祉の理念の周知を図るとともに、市民の児童に対する理解と認識を深め、児童愛護の責任を自覚するよう強調することを目的として、毎年5月5日から1週間が「児童福祉週間」と定められており、啓発活動を実施します。	●	●	●	●	●	●	●	●	SNSなどを用いた広報活動を実施	懸垂幕・SNSなどを用いた広報活動の実施	—	年1回の広報活動の実施	子ども未来課	3

基本目標3 地域全体で子ども・子育て・若者を支援するまちの実現【地域による支援】

施策目標1 地域全体で子ども・子育て・若者を支える環境づくり

基本施策2 地域における子ども・若者の健全育成活動の促進

プラン No.	掲載 か所	区分	事業名	事業概要	対象者								令和2年度 取組内容・成果(見込み)	令和3年度 取組内容(予定)	令和3年度 当初予算額 (千円)	令和8年度末 目標値	担当課	SDGs 関連番号	
					乳 幼 児	小 低	小 高	中 学	高 校	青 年	そ の 他	保 護 者							
【重点事業】																			
再掲 (20)	1-1(2) 1-2(3) 1-3(6) 2-2(1) 3-1(2) 3-1(3)	拡充	放課後児童クラブの運営★	保護者が就労等により昼間家庭にいない児童の健全な育成を目的に、小学校や児童館等に専用室を設けて、家庭に代わる遊びや生活の場を提供します。		●	●						●	83か所(198室)での児童クラブ運営を実施	83か所(203室)での児童クラブ運営を実施	1,110,787	239室の運営 (受入可能人数 6,754人) ※民間補助児童クラブ分含む	子ども未来課	1, 2, 4, 16
再掲 (21)	1-1(2) 1-2(3) 2-2(1) 3-1(2) 3-1(3)	継続	放課後児童クラブの整備★	令和7年度当初のニーズ量に対応できるよう児童クラブ室を順次拡充していきます。		●	●						●	4か所(5室、185人分)の児童クラブ整備を実施	1か所(1室、35人分)の児童クラブ整備を実施	8,846	整備後クラブ室数 239室 ※民間補助児童クラブ分含む	子ども未来課	1, 2, 4, 16
再掲 (89)	1-1(2) 1-2(2) 1-2(3) 1-4(1) 1-4(3) 3-1(2) 3-1(3) 3-1(4)	継続	地域学校協働活動推進事業	これまで推進してきた学校・地域の連携協力による学校応援団の仕組みを基盤として、放課後子ども教室等の活動に関わる地域人材との共有を図りながら、学校と地域が連携・協働する体制を整えます。		●	●	●					●	・全小中学校区で地域学校協働活動を実施。 ・放課後子ども教室(地域学校協働活動)の実施。(小学校82校予定)	・全小中学校区で地域学校協働活動を実施。 ・放課後子ども教室(地域学校協働活動)の実施。(小学校82校予定)	103,496	・全小中学校区で地域学校協働活動を実施。 ・放課後子ども教室(地域学校協働活動)の実施。(小学校86校予定)	教育総務課	4
再掲 (22)	1-1(2) 1-2(3) 1-3(6) 2-2(1) 3-1(2) 3-1(3)	拡充	放課後児童クラブと放課後子ども教室の一体的実施★	全ての児童が参加できるように、同一の小学校敷地内等で放課後児童クラブと放課後子ども教室を一体的に(一体型又は連携型により)実施します。		●	●						●	放課後児童クラブと放課後子ども教室を一体的に実施する。(小学校62校)	放課後児童クラブと放課後子ども教室を一体的に実施する。(小学校67校)		放課後児童クラブと放課後子ども教室を一体的に実施する。(小学校71校予定)	子ども未来課 教育総務課	4
再掲 (23)	1-1(2) 1-3(6) 2-1(2) 3-1(2)	拡充	児童館の運営	地域における児童健全育成の拠点として、子どもの健康を増進し、情操を豊かにするため、各種教室や読み聞かせ、クラブ活動など児童に健全な遊びを提供します。		●	●	●	●				●	12館の児童館運営を実施	12館(7月以降は13館)の児童館運営を実施	240,348	13館で実施 小型児童館(7館) 児童センター(6館)	子ども未来課	1, 2, 4, 16
再掲 (24)	1-1(2) 2-1(2) 3-1(2)	継続	児童館の整備	市域全体の均衡や地域性、地域の児童数などを勘案し、現在、配置されていない清水北部地区に新たに整備します。		●	●	●	●				●	清水北部地区児童館の建設工事の完了	開館準備(7月開館)	7,000	1館	子ども未来課	1, 2, 4, 16
325	3-1(2) 3-1(4)	継続	青少年健全育成団体の活動への支援	地域や学校、家庭が連携した地域ぐるみの青少年健全育成活動を推進し、地域住民の意識と関心を高めつつ、青少年の健全育成を図るため、各地域の健全育成団体へ補助金を交付します。		●	●	●	●				●	全ての地区(48地区)での健全育成大会の実施	全ての地区(48地区)での健全育成大会の実施	12,924	全ての地区(48地区)での健全育成大会の実施	青少年育成課	4

基本目標3 地域全体で子ども・子育て・若者を支援するまちの実現【地域による支援】

施策目標1 地域全体で子ども・子育て・若者を支える環境づくり

基本施策2 地域における子ども・若者の健全育成活動の促進

プランNo.	掲載か所	区分	事業名	事業概要	対象者								令和2年度 取組内容・成果(見込み)	令和3年度 取組内容(予定)	令和3年度 当初予算額 (千円)	令和8年度末 目標値	担当課	SDGs 関連番号	
					乳幼児	小低	小高	中学	高校	青年	その他	保護者							
326	1-4(2) 3-1(2)	拡充	青少年・乳児ふれあい促進事業	地域の子育て支援拠点施設である地域子育て支援センターや保健福祉センター、学校等の協力を得て、小学生(高学年)や中学生、高校生が、乳児とその保護者との交流や触れ合いを通して、命の尊さや子育てのすばらしさを体験します。	●	●	●	●					●	児童館12館で実施	児童館12館(7月以降は13館)で実施	(240,348の一部)	児童館13館で実施	子ども未来課	4, 16
【関連事業】																			
再掲 (25)	1-1(2) 1-2(3) 2-2(1) 3-1(2) 3-1(3)	拡充	民間放課後児童クラブへの運営費等補助★	事業量の確保に効果的であると認められる民間放課後児童クラブの運営に対し、その費用の一部を補助します。		●	●						●	民間事業者5団体に対して、運営費補助を実施	民間事業者8団体に対して、運営費補助を実施	65,862	対象となる民間放課後児童クラブに対し、運営費の補助を適切に実施	子ども未来課	1, 2, 4, 16
再掲 (11)	1-1(1) 3-1(2)	継続	エスパルスハロープロジェクト事業	清水エスパルスと連携し、夢に向かって生きる子どもたちの成長をサポートし、子育てで繋がる地域コミュニティの推進を図るために、子育て関連事業を実施します。	●								●	・エスパルスオリジナルベビースタイ配布 約5,000枚 ・エスパルススクールコーチ等による親子ふれあい運動教室 実施予定 3回程度 ・エスパルススクールコーチ等によるファミリー教室 実施予定 1回程度	・エスパルスオリジナルベビースタイ配布 約5,000枚 ・エスパルススクールコーチ等による親子ふれあい運動教室 実施予定 3回程度 ・エスパルススクールコーチ等によるファミリー教室 実施予定 1回程度		・清水エスパルスと連携した子育て関連事業の実施。 ・毎年5回程度の運動教室の実施。	スポーツ交流課	3, 10, 11, 17
327	3-1(2)	終了	静岡市立幼稚園、小・中学校美術展	市立幼稚園、小・中学校に通う子ども達の作品を一堂に会して展示し、子ども・保護者・地域の方等多くの方々に日常の取り組みを見てもらうとともに、各園、学校の取り組みを互いに見合うことで、造形への意欲や技術の向上に役立てます。	●	●	●							令和2年度はコロナウイルス感染拡大により開催中止。令和3年度以降は事業見直しにより終了。	(R2で終了)	(R2で終了)	静岡市民ギャラリー及び清水マリナートで市立幼稚園、小・中学校の作品展示を実施する。	学校教育課	4
再掲 (235)	1-4(3) 3-1(2)	継続	子ども・若者のボランティア活動の充実	ボランティア活動は、活動を通して自分が必要とされている存在であることを実感させ、喜びや生きがいを与えらるとともに、様々な社会問題への問題意識を深め、社会貢献への気持ちを育む効果があることから、地域社会や民間団体等とも協力し、ボランティア活動を推進します。	●	●	●	●	●					新型コロナウイルスの影響により、学校でのボランティア活動は多くの部分で縮小となったが、各学校の状況に応じて、地域清掃、廃品回収、地域防災、各種募金活動等を行い、ボランティア活動を実施した。	各学校の状況に応じて、地域清掃、廃品回収、地域防災、介護施設訪問等の地域交流、各種募金活動等を行い、ボランティア活動を推進する。また、静岡型小中一貫教育の全校実施に向け、地域とのつながりの中でボランティア活動を各グループが状況に応じて計画・実施する。		ボランティア活動を通して自分自身の存在価値や社会問題への意識を高め、全小中学校で、より積極的な社会貢献ができるようなボランティア活動を実施する。	学校教育課	4
328	3-1(2)	継続	ガイドボランティア	ガイドボランティアとして、園内のスポットガイド及びふれあいコーナーでの補助を行います。 ・活動時間:土曜、日曜、祝日(通年) ・活動条件:18歳以下は保護者の許可、小学生は保護者の同伴が必要			●	●	●	●				コロナ禍により開催中止	今後の新型コロナウイルス感染症の状況により開催可否を判断		ボランティア1人あたりの年間活動回数:10回 (登録ボランティアは100人)	日本平動物園	4
329	3-1(2)	継続	高齢者社会参加促進事業	まちづくり推進事業の一環として、清水区の19団体(蒲原・由比地区を除く)が主体となり、自治会内の高齢者をはじめ児童・生徒・一般へ呼びかけ、どんど焼き、グラウンドゴルフ大会、輪投げ大会、地区祭り等の事業を実施することにより、高齢者の社会参加を促すとともに世代間交流を行います。	●	●	●	●	●	●				14団体に交付	19団体に交付	1,387	事業実施地区数 19団体	高齢者福祉課	3

基本目標3 地域全体で子ども・子育て・若者を支援するまちの実現【地域による支援】

施策目標1 地域全体で子ども・子育て・若者を支える環境づくり

基本施策3 子ども・子育て家庭・若者の安全・安心な暮らしやすい地域の確保

プラン No.	掲載 か所	区分	事業名	事業概要	対象者								令和2年度 取組内容・成果(見込み)	令和3年度 取組内容(予定)	令和3年度 当初予算額 (千円)	令和8年度末 目標値	担当課	SDGs 関連番号						
					乳幼児	小低	小高	中学	高校	青年	その他	保護者												
【重点事業】																								
330	3-1(3)	継続	地域防犯活動支援事業	地域ぐるみの自主的防犯活動を促進するため、地域の複数の自治会・町内会組織を中心に結成された地区安全会議が、防犯パトロール、防犯教室、講演会等の地域防犯活動を実施するための立ち上げ費用及び活動費用の一部を助成します。		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	地区安全会議の活動支援 14団体	地区安全会議の活動支援 14団体	1,400	地区安全会議の活動支援累計 98団体以上実施	生活安心安全課	16
331	3-1(3)	継続	青色回転灯車両巡回活動	パトロール車として認定を受けた市公用車を使用し、業務終了後の帰庁時などに学校周辺や通学路などの防犯パトロールを実施します。		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	市公用車による青色防犯パトロールの実施:600回	市公用車による青色防犯パトロールの実施:650回	547の一部	市公用車による青色防犯パトロール累計2,800回以上実施	生活安心安全課	16
332	3-1(3)	継続	静岡市交通指導員会 登校時の立哨指導	児童生徒を交通事故から守るため、また、子どもたちの健やかな育成を目的に、登校時、交差点等で交通指導員が立哨指導を実施します。		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	登下校時の立哨活動の実施 平均週3回以上	登下校時の立哨活動の実施 平均週3回以上	2,512	立哨活動平均実施回数 週3回以上	生活安心安全課	16
333	3-1(3)	継続	通学路の整備又は通学路交通安全対策事業	市内通学路の安全確保を図るため、通学路の危険箇所について関係機関と連携し、対策検討したうえで、歩道整備や路側帯カラー化等の交通安全対策を実施します。		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	通学路の交通安全要対策箇所において、路側帯のカラー化や路面表示による注意喚起等の安全対策を実施する。	通学路の交通安全要対策箇所において、路側帯のカラー化や路面表示による注意喚起等の安全対策を実施する。	372,000	静岡市通学路交通安全対策プログラムに基づき、市内通学路の危険箇所の安全対策を実施:100%	道路保全課	11
334	3-1(3)	継続	インターネット等安全・安心利用研修事業	インターネットや携帯電話の急速な普及により、青少年が事件やトラブルに巻き込まれることを予防するため、青少年健全育成会等が実施する安全利用に関する研修に対する支援(講師紹介、講師謝金助成)を行います。		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	20団体(静岡地域11団体、清水地区9団体)	25団体(静岡地域15団体、清水地区10団体)	350 (静岡200) (清水150)	25団体(静岡地域15団体、清水地区10団体)	青少年育成課	4
335	1-3(6) 3-1(3)	継続	子育て支援期限付き入居制度	公営住宅において、子育てに適した良好な住環境を提供するため、40歳以下の若年世帯で小学6年生以下の子どもを扶養する世帯に対し、期限付き入居制度を実施します。	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	継続実施 目標戸数:15戸 入居戸数:4戸	継続実施 目標戸数:10戸	—	入居件数:100件程度	住宅政策課	1, 4
【関連事業】																								
再掲 (20)	1-1(2) 1-2(3) 1-3(6) 2-2(1) 3-1(2) 3-1(3)	拡充	放課後児童クラブの運営★	保護者が就労等により昼間家庭にいない児童の健全な育成を目的に、小学校や児童館等に専用室を設けて、家庭に代わる遊びや生活の場を提供します。		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	83か所(198室)での児童クラブ運営を実施	83か所(203室)での児童クラブ運営を実施	1,110,787	239室の運営 (受入可能人数 6,754人) ※民間補助児童クラブ分含む	子ども未来課	1, 2, 4, 16
再掲 (21)	1-1(2) 1-2(3) 2-2(1) 3-1(2) 3-1(3)	継続	放課後児童クラブの整備★	令和7年度当初のニーズ量に対応できるよう児童クラブ室を順次拡充していきます。		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	4か所(5室、185人分)の児童クラブ整備を実施	1か所(1室、35人分)の児童クラブ整備を実施	8,846	整備後クラブ室数 239室 ※民間補助児童クラブ分含む	子ども未来課	1, 2, 4, 16

基本目標3 地域全体で子ども・子育て・若者を支援するまちの実現【地域による支援】

施策目標1 地域全体で子ども・子育て・若者を支える環境づくり

基本施策3 子ども・子育て家庭・若者の安全・安心な暮らしやすい地域の確保

プラン No.	掲載 場所	区分	事業名	事業概要	対象者								令和2年度 取組内容・成果(見込み)	令和3年度 取組内容(予定)	令和3年度 当初予算額 (千円)	令和8年度末 目標値	担当課	SDGs 関連番号			
					乳幼児	小低	小高	中学	高校	青年	その他	保護者									
再掲 (89)	1-1(2) 1-2(2) 1-2(3) 1-4(1) 1-4(3) 3-1(2) 3-1(3) 3-1(4)	継続	地域学校協働活動推進事業	これまで推進してきた学校・地域の連携協力による学校応援団の仕組みを基盤として、放課後子ども教室等の活動に関わる地域人材との共有を図りながら、学校と地域が連携・協働する体制を整えます。		●	●						●	●	103,496	・全小中学校区で地域学校協働活動を実施。 ・放課後子ども教室(地域学校協働活動)の実施。(小学校82校予定)	・全小中学校区で地域学校協働活動を実施。 ・放課後子ども教室(地域学校協働活動)の実施。(小学校86校予定)	教育総務課	4		
再掲 (22)	1-1(2) 1-2(3) 1-3(6) 2-2(1) 3-1(2) 3-1(3)	拡充	放課後児童クラブと放課後子ども教室の一体的実施★	全ての児童が参加できるように、同一の小中学校敷地内で放課後児童クラブと放課後子ども教室を一体的に(一体型又は連携型により)実施します。		●	●						●	●	—	放課後児童クラブと放課後子ども教室を一体的に実施する。(小学校62校)	放課後児童クラブと放課後子ども教室を一体的に実施する。(小学校67校)	子ども未来課 教育総務課	4		
再掲 (25)	1-1(2) 1-2(3) 2-2(1) 3-1(2) 3-1(3)	拡充	民間放課後児童クラブへの運営費等補助★	事業量の確保に効果的であると認められる民間放課後児童クラブの運営に対し、その費用の一部を補助します。		●	●						●		65,862	民間事業者5団体に対して、運営費補助を実施	民間事業者8団体に対して、運営費補助を実施	子ども未来課	1, 2, 4, 16		
336	1-3(5) 3-1(3)	継続	情報倫理教育の推進	ITの飛躍的発展によるネット社会の広がりの中で、情報の匿名性に付随する様々な問題に対応するため、情報やコミュニケーションの本質的意味を教え、その中で責任ある行動を取れる資質を育む情報倫理教育を推進します。		●	●									児童・生徒を対象に、SNS利用に関する講座(講師を派遣)を実施した。	児童・生徒、保護者を対象に、SNS利用に関する講座(講師を派遣)を実施する。	—	各学校にて、教員がSNSについての授業を行えるようにする。	教育センター (学校教育課)	4
337	3-1(3)	継続	交通安全リーダーワッペン・手帳の配布	小学6年生への進級時、交通安全リーダーとしての意識啓発を図るとともに、小学6年生一人ひとりの自立を目指し、交通安全リーダーワッペンと手帳を配布します。											253の一部	小学6年生への交通安全リーダー手帳・ワッペンの配付	小学6年生への交通安全リーダー手帳・ワッペンの配付	生活安心安全課	16		
338	3-1(3)	継続	自転車マナー向上に向けての指導・啓発	自転車に関する交通事故を防止するため、警察等と連携し、自転車マナー向上キャンペーンや交通安全指導員による自転車交通安全教室等を実施します。											253の一部	自転車マナー向上キャンペーンの実施 年2回以上	自転車マナー向上キャンペーンの実施 年2回以上	生活安心安全課	16		
再掲 (236)	1-4(1) 1-4(3) 3-1(3)	継続	地域防災訓練への参加促進	市内の小中高校に対し地域防災訓練への参加を促すとともに、関係団体に対し青少年の訓練参加への協力を依頼します。また、自主防災組織の実施する訓練計画を市HPに掲載し、青少年の地域防災訓練への参加促進のための情報提供を行います。	●	●	●	●	●	●	●	●	●		1,469	・今年度は、感染症拡大防止の観点から訓練規模を縮小したため、市内の小中学校、高等学校には家庭内防災対策の再確認を依頼した	・市内の小中学校、高等学校に対し地域防災訓練への参加を促す ・関係団体に対し青少年の訓練参加への協力を依頼する ・青少年の地域防災訓練への参加促進のため、自主防災組織の訓練計画を市HPに掲載するなど、情報提供を行う	地域防災訓練参加者 130,200人	危機管理課	11, 13	

基本目標3 地域全体で子ども・子育て・若者を支援するまちの実現【地域による支援】

施策目標1 地域全体で子ども・子育て・若者を支える環境づくり

基本施策3 子ども・子育て家庭・若者の安全・安心な暮らしやすい地域の確保

プラン No.	掲載 場所	区分	事業名	事業概要	対象者								令和2年度 取組内容・成果(見込み)	令和3年度 取組内容(予定)	令和3年度 当初予算額 (千円)	令和8年度末 目標値	担当課	SDGs 関連番号		
					乳幼児	小低	小高	中学	高校	青年	その他	保護者								
再掲 (242)	1-2(3) 1-4(3) 3-1(3)	継続	市政出前講座・静岡市の防災体制とわが家の地震対策	南海トラフ巨大地震の被害想定。また、居住する地域で発生が予想される自然災害の被害や対策などを具体的に講話することで「自助・共助」の重要性を理解させるため、学校等において地震対策・防災教育に関する教育プログラムを実施する際、関係機関と連携して講師等を派遣します。	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	市政出前講座の実施	市政出前講座の実施	1,491	年間230回実施	危機管理課	11, 13
再掲 (17)	1-1(1) 3-1(3)	継続	児童遊び場整備への補助	自治会や町内会が管理運営している児童遊び場の整備や遊具等の新設・修繕などへの補助を行います。									●		年間修繕等補助件数 10件	年間修繕等補助件数 10件	1,220	年間修繕等補助件数 10件	子ども未来課	3
339	3-1(3)	継続	都市公園バリアフリー化事業	誰もが快適に利用できる公園の形成を図るため、ベビースーツ等を設けた車いす対応トイレを設置するとともに、園路等の段差解消を図ります。	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	整備実施 2箇所	整備実施 4箇所	40,000	公園施設(園路・広場・駐車場・便所)のバリアフリー化率61%	公園整備課	6, 9, 10
340	3-1(3)	継続	学校の安全対策	児童・生徒が安全で安心して生活が送れるよう、学校保健安全法に基づく安全点検を実施します。		●	●	●							児童・生徒の安全で安心な学校生活のための、学校保健安全法に基づく安全点検の実施	児童・生徒の安全で安心な学校生活のための、学校保健安全法に基づく安全点検の実施	—	学校保健安全法や各学校の安全対策マニュアルに基づき実施: 100%	児童生徒支援課	4
341	1-3(5) 3-1(3)	継続	違法広告物等撤去活動	電柱、街灯柱などに掲出される、はり紙、はり札、立看板などの違法広告物を除却することにより、青少年の健全育成を図ります。		●	●	●	●	●	●	●	●	●	違反広告物等の除却件数: 369件	違反広告物等の除却件数: 50件	39	違反広告物等の除却件数: 累計 350件以上	建築総務課	11
342	3-1(3)	継続	犯罪被害者等支援総合案内窓口	犯罪被害者等支援のための総合案内窓口にて、相談者への適切な対応及び情報提供に努めるほか、総合窓口を周知します。		●	●	●	●	●	●	●	●	●	支援団体と協働で、総合案内窓口周知のための街頭広報を1回実施する。	支援団体と協働で、総合案内窓口周知のための街頭広報を1回実施する。	683の一部	広報計7回実施	生活安心安全課	5
343	3-1(3)	継続	特定優良賃貸住宅子育て支援制度	特定優良賃貸住宅において、子育てに適した良好な住環境を提供するため、新規入居世帯で所得基準を満たし、小学6年生以下の子どもを扶養している世帯に対し、家賃減額補助を実施します。	●	●	●							●	継続実施 目標戸数 9戸 入居戸数 5戸	継続実施 目標戸数 9戸	2,957	目標入居数 延べ30戸程度 (令和6年度で終了予定)	住宅政策課	11
344	3-1(3)	継続	子育て世帯優先宅地分譲事業	公営住宅の建て替え等で生じた跡地について、子育て世帯に優先的に提供することにより、個人住宅を購入しやすい環境を整えます。	●	●	●							●	継続実施 目標区画 5区画 売払区画 5区画 (R1年度継続区画除く) 売払い契約 2区画	継続実施 目標区画 5区画 (R2年度継続区画除く)	7,465	分譲区画数 延べ47区画程度 (令和6年度に目標値の見直し等をする予定)	住宅政策課	11
345	1-3(6) 3-1(3)	継続	子育て世帯等への居住支援情報の提供	セーフティネット住宅などの居住支援の情報を集約し、情報提供を行うことにより、住宅の購入及び賃借をしやすい環境を整え、子育て世帯等の市内定住の促進を図ります。	●	●	●							●	継続実施 HPの随時更新 窓口案内	継続実施 HPの随時更新 窓口案内	—	HPの随時更新 窓口案内	住宅政策課	11
再掲 (303)	1-3(6) 2-1(3) 3-1(3)	継続	市営住宅等管理業務 (入居者募集に関する業務)	母子世帯・父子世帯を対象に市営住宅入居の優遇措置を行います。	●	●	●	●	●						市営住宅の入居申込受付において、配偶者のいない申込者が、現に20歳未満の子を扶養している世帯を対象に、市営住宅入居の優遇措置を行った。	市営住宅の入居申込受付において、配偶者のいない申込者が、現に20歳未満の子を扶養している世帯を対象に、市営住宅入居の優遇措置を行う。	(指定管理料の一部)	優遇措置の継続実施	住宅政策課	1, 11

基本目標3 地域全体で子ども・子育て・若者を支援するまちの実現【地域による支援】

施策目標1 地域全体で子ども・子育て・若者を支える環境づくり

基本施策4 子ども・若者の生活の場におけるネットワークづくりの推進

プラン No.	掲載か所	区分	事業名	事業概要	対象者								令和2年度 取組内容・成果(見込み)	令和3年度 取組内容(予定)	令和3年度 当初予算額 (千円)	令和8年度末 目標値	担当課	SDGs 関連番号				
					乳幼児	小低	小高	中学	高校	青年	その他	保護者										
【重点事業】																						
再掲 (89)	1-1(2) 1-2(2) 1-2(3) 1-4(1) 1-4(3) 3-1(2) 3-1(3) 3-1(4)	継続	地域学校協働活動推進事業	これまで推進してきた学校・地域の連携協力による学校応援団の仕組みを基盤として、放課後子ども教室等の活動に関わる地域人材との共有を図りながら、学校と地域が連携・協働する体制を整えます。			●	●	●					●	●		全小中学校区で地域学校協働活動を実施。 ・放課後子ども教室(地域学校協働活動)の実施。(小学校82校予定)	全小中学校区で地域学校協働活動を実施。 ・放課後子ども教室(地域学校協働活動)の実施。(小学校82校予定)	103,496	全小中学校区で地域学校協働活動を実施。 ・放課後子ども教室(地域学校協働活動)の実施。(小学校86校予定)	教育総務課	4
再掲 (188)	1-3(6) 3-1(4)	継続	子ども食堂交流事業	「子ども食堂」の参画団体に横のつながりを持たせてネットワークを形成し、運営スタッフ等の従事者の質の向上を図るため研修会を開催する等、地域全体で子どもを育てる機運の醸成を図ります。										●			・従事するスタッフやボランティアへの研修会兼交流会(書面開催): 1回 (新型コロナウイルス感染拡大の影響で、対面での研修・交流会ができなかったため書面開催を行った。)	・運営団体等の交流会開催: 3回 ・従事するスタッフやボランティアへの研修会開催: 1回	174	・運営団体等の交流会開催: 年3回 ・従事するスタッフやボランティアへの研修会開催: 年1回	子ども未来課	1, 4, 8, 16
346	1-3(4) 1-3(6) 3-1(4)	継続	静岡市子ども・若者支援地域協議会	子ども・若者育成支援推進法に則り、社会生活を円滑に営むうえで困難を有する子ども・若者への支援を推進するため、関係機関との連携を図ります。										●	●		代表者会議: 1回(紙面開催) 実務者会議: 4回 (支援機関視察・事例研究等)	代表者会議: 1回 実務者会議: 4回 (支援機関視察・事例研究等)	40	会議参加者による協議会の有意義度(アンケート調査)90%	青少年育成課	17
再掲 (325)	3-1(2) 3-1(4)	継続	青少年健全育成団体の活動への支援	地域や学校、家庭が連携した地域ぐるみの青少年健全育成活動を推進し、地域住民の意識と関心を高めつつ、青少年の健全育成を図るため、各地域の健全育成団体へ補助金を交付します。			●	●	●	●				●			全ての地区(48地区)での健全育成大会の実施	全ての地区(48地区)での健全育成大会の実施	12,924	全ての地区(48地区)での健全育成大会の実施	青少年育成課	4
再掲 (171)	1-3(4) 3-1(4)	拡充	ひきこもり対策推進事業	ひきこもりに特化した相談窓口を設け、ひきこもり当事者及びその家族等からの相談に応じ、必要な助言、情報提供等を行うとともに、関係機関と連携を図り、早期回復に向けた取組を行います。										●	●	●	面接・電話相談、訪問・同行支援、居場所活動、家族教室、啓発活動等の実施。 ・相談件数: 1,600回(清水区115回) ・訪問・同行支援: 100回 ・居場所活動: 65回 ・家族教室: 8回 清水区出張相談の実施。ひきこもりサポーターの活用。 ・ひきこもりサポーター養成数20人 派遣延べ45人 ・ひきこもり改善率61%	面接・電話相談、訪問・同行支援、居場所活動、家族教室、関係機関との連携等の実施。 清水区出張相談の実施。ひきこもりサポーターの養成及び活用。	28,372	ひきこもり状態が改善している相談者の割合 ひきこもり改善率 61%以上を維持 ひきこもりサポーター養成数49人	青少年育成課	3
347	1-4(2) 1-4(3) 3-1(4)	継続	「市民活動支援システム」活用推進事業	市民と行政がお互いの情報を共有し、地域課題の解決に取り組むために、市民活動に関する情報を収集するとともに、地域課題の解決のために必要な市が保有するデータをあわせて広く市民に向けてウェブサイトに掲載して情報発信を行います。										●	●	●	市民活動支援システム 「ここからネット」の運用	市民活動支援システム 「ここからネット」の運用	2,839	アクセス件数: 224,000件 (令和4年度に市民活動促進基本計画の見直し等をする予定)	市民自治推進課	17

基本目標3 地域全体で子ども・子育て・若者を支援するまちの実現【地域による支援】

施策目標1 地域全体で子ども・子育て・若者を支える環境づくり

基本施策4 子ども・若者の生活の場におけるネットワークづくりの推進

プラン No.	掲載 場所	区分	事業 名	事業 概要	対象者								令和2年度 取組内容・成果(見込み)	令和3年度 取組内容(予定)	令和3年度 当初予算額 (千円)	令和8年度末 目標値	担当課	SDGs 関連番号		
					乳幼児	小低	小高	中学	高校	青年	その他	保護者								
【関連事業】																				
再掲 (288)	2-1(2) 3-1(4)	継続	家庭教育学級	各種講座を通じて、子どもの保護者が家庭教育に必要な現代的課題等について学び、仲間をつくることにより、子どもたちの健やかな成長を促し、豊かな人間性を育みます。	●	●	●	●						無人館・山間地を除く32生涯学習施設のうち28生涯学習施設で家庭教育学級を実施、生涯学習推進課で3学級を実施。	無人館・山間地を除く32生涯学習施設のうち29生涯学習施設で家庭教育学級を実施	(指定管理料に含む)	無人館・山間地を除く32生涯学習施設のうち29生涯学習施設で家庭教育学級を実施	生涯学習推進課	4	
再掲 (91)	1-2(3) 1-4(3) 1-4(4) 3-1(4)	継続	学生スクールボランティア	学生スクールボランティアが教科指導や総合学習、特別支援教育、放課後の学習相談・あそび、日本語指導などにアシスタントとして参加することで、認定こども園、小・中学校の教育課程実施の充実を支援するとともに、教員志望者の開拓及び資質・能力の向上につなげる。		●	●	●						学生スクールボランティアが教科指導や総合学習、特別支援教育、放課後の学習相談・あそび、日本語指導などにアシスタントとして参加できるように、HPを充実させるとともに、直接、地元の大学を定期的に訪問し、学生ボランティアの求人活動を展開する。35校に学生スクールボランティアを派遣した。	学生スクールボランティアが教科指導や総合学習、特別支援教育、日本語指導、中学校の部活動等にアシスタントとして参加できるように、HPを充実させるとともに、直接、地元の大学を定期的に訪問し、学生ボランティアの求人活動を展開する。小中学校の4割以上に派遣できることを目標とする。		小中学校の半数以上に派遣できるように教育委員会のHP等を通して広報活動に努める。	学校教育課	4	
再掲 (181)	1-2(2) 1-3(3) 1-3(5) 1-3(6) 3-1(4)	継続	スクールソーシャルワーカー活用事業	小中学校にスクールソーシャルワーカーを配置又は派遣し、いじめ、不登校又は暴力行為その他の学校生活における諸問題を抱える児童生徒に必要な支援を行い、学校生活上の諸問題の解決を図ります。		●	●	●						●	学校生活上の諸問題の背景にある家庭環境や生活環境の調整及び改善に努める。就学前、中学校卒業後においても切れ目のない支援を行う。 【配置状況】 スクールソーシャルワーカー：12名	学校生活上の諸問題の背景にある家庭環境や生活環境の調整及び改善に努める。就学前、中学校卒業後においても切れ目のない支援を行う。 【配置状況】 スクールソーシャルワーカー：12名	22,669	スクールソーシャルワーカー12人を拠点校12校(1支部1人)に配置し、週2時間勤務。拠点校以外には、要請に応じて随時派遣及び定期巡回。	児童生徒支援課	1, 4
再掲 (164)	1-2(2) 1-3(2) 1-3(3) 1-3(5) 1-3(6) 3-1(4)	拡充	スクールカウンセリング事業	いじめ、不登校又は問題行動など、児童生徒の心の問題に対応するため、スクールカウンセラーや教育相談員を小中高等学校に配置し、児童生徒、保護者などへの相談活動を実施します。		●	●	●						●	スクールカウンセラー 40人 小学校は週4、中学校は週8時間 高等学校は隔週4時間 教育相談員 33人 生徒数200人以上の中学校に1日5時間×週3日	スクールカウンセラー 40人 小学校は週4、中学校は週8時間 高等学校は4時間×月3回 教育相談員 39人 生徒数200人以上の小中学校に1日5時間×週3日	101,591	スクールカウンセラー 40人 小学校は週4、中学校は週8時間 高等学校は隔週4時間 教育相談員 33人 生徒数200人以上の中学校に1日5時間×週3日	児童生徒支援課 教育総務課	4

基本目標3 地域全体で子ども・子育て・若者を支援するまちの実現【地域による支援】

施策目標1 地域全体で子ども・子育て・若者を支える環境づくり

基本施策4 子ども・若者の生活の場におけるネットワークづくりの推進

プランNo.	掲載か所	区分	事業名	事業概要	対象者								令和2年度 取組内容・成果(見込み)	令和3年度 取組内容(予定)	令和3年度 当初予算額 (千円)	令和8年度末 目標値	担当課	SDGs 関連番号
					乳幼児	小低	小高	中学	高校	青年	その他	保護者						
348	1-3(3) 1-3(4) 1-3(6) 3-1(4)	継続	子ども若者相談事業	<p>【面接相談】 ○相談受付:(土日祝・年末年始を除く)8時30分～17時15分 相談対象者:39歳までの子ども・若者及びその保護者・関係者</p> <p>【電話相談】 ○こころのホットライン 相談受付:(土日祝・年末年始を除く)毎日9時～17時 相談対象者:39歳までの子ども・若者及びその保護者・関係者 ○24時間いじめ電話相談 相談対象者:いじめに悩む子ども・若者及びその保護者・関係者 ○ユースサポート事業 様々な困難を抱える高校生世代に対し、交流できる場を提供する。</p>	●	●	●	●	●	●	●	●	<p>①面接相談 相談受付:平日8時30分～17時15分 相談件数:420件 のべ相談回数:4,856回</p> <p>②こころのホットライン 相談受付:平日9時～17時 相談件数:249件</p> <p>③24時間いじめ電話相談 相談受付:毎日24時間 相談件数:294件</p> <p>④ユースサポート事業(高校生ぶらっとサロン) 年間108日実施</p>	<p>①面接相談 相談受付:平日8時30分～17時15分</p> <p>②こころのホットライン 相談受付:平日9時～17時</p> <p>③24時間いじめ電話相談 相談受付:毎日24時間</p> <p>④ユースサポート事業(高校生ぶらっとサロン)年間100日程度</p>	10,988	相談状況改善率70%	青少年育成課	3
349	3-1(4)	継続	青少年対象事業に関する情報提供	青少年を対象とする事業等に関する情報をホームページ等で提供します。	●	●	●	●	●				当課事業や各青少年団体等が実施する事業等のホームページへの掲載	当課事業や各青少年団体等が実施する事業等のホームページへの掲載	—	HPへの随時更新	青少年育成課	17
350	3-1(4)	継続	青少年育成員・指導者研修会	青少年の指導方法や事業の企画運営等に関する研修会を開催します。 対象:青少年育成に関わる指導者等					●	●	●	●	1回実施	1回実施	100	年1回実施	青少年育成課	17
再掲 (252)	2-1(1) 3-1(4)	継続	しずおかエンジェルプロジェクト推進事業	出会いのイベントや「婚活」に関する講座を開催し、官民連携により結婚を支援する気運の醸成を図ります。								●	<p>①結婚を希望する男女の出会いの機会創出 ・出会いのイベント:6回 ・親対親の代理婚活:2回</p> <p>②婚活サポーターの活用</p>	<p>①結婚を希望する男女の出会いの機会創出 ・出会いのイベント:5回 ・親対親の代理婚活:1回</p> <p>②婚活サポーターの活用</p>	1,284	出会いのイベントにおける成立カッブル率30.1%以上を維持	青少年育成課	5